

1982

淀江

DENKO

大阪経済大学同窓会

同窓会も一丸となって「経大創立五十周年事業」の促進をはかろう 同窓会会長 磯野寮…… 2  
五十周年を契機としてさらなる飛翔を!! 学長 鈴木亨…… 3

**同窓会本部だより** 母校創立五十周年前に審議も円滑に進行 …… 4

📖 尽きせぬうたかたの記 📖 比企重 …… 8

**同窓会支部だより** …… 9

多彩な催しを各地で展開/9 五十周年に思う/16 経大同窓会総会と澁江に寄せて/20 北海道支部誕生/22

学園の近況

創立五十周年事業の実現をめざして/23	事務機構の改革と人事異動/24
新規採用・退職・役職・海外出張者一覧/24	江口グラウンドを整備/25
就職特別講演会/26	入試制度の改革を推進!/29

特集 座談会

明日の経大はどこへ行く …… 34  
〈出席者〉川野群平/山村恭造/奥山正美/谷口一郎/西本集一/水納敏也/  
逸見啓/森政彦/片山剛征/比企重

グラビア

☆キャンパス ナウ&ゼン ☆CAMPUS SNAP  
☆キャンパス イラストマップ

ゼミ短信 …… 43

☆キャンパスホットライン・クラブ活動状況 …… 49  
旧昭和商剣道部員が感激の再会 梶村文弥/50 軟式野球部OB会遂に熱烈発足!! 山中良夫/57

**事務局から** …… 58  
きっとお役に立ちます同窓会名簿/同窓会総会ごあんない/文鎮・レコード・キーホルダーがあります/探しています

▷▷ 自著紹介 ◁◁ 『マルクス信用論の解明』を出版 伊藤武 …… 60

▷▷ 新刊紹介 ◁◁ …… 61  
模索する現代社会主義/生きる根拠を求めて/第四紀/経営経済/わが国における戦後ボランティア・チェーンの生成と発展/管理会計の発展/記念講演と論文集出版される

同期生会 …… 62

北から南

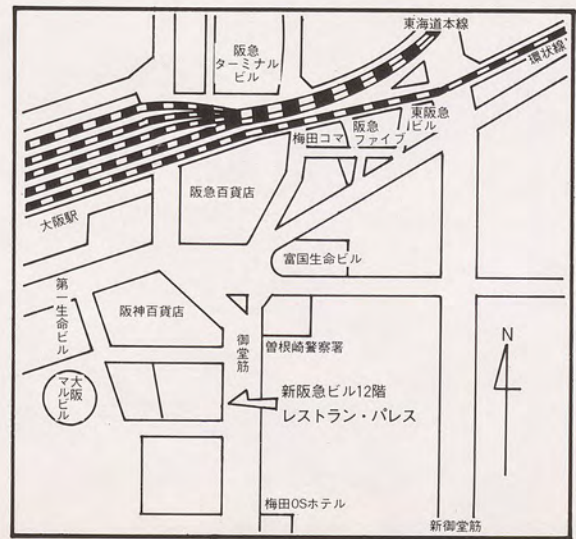
繁れ大樟 榊喜作/69 硬式野球部の活躍に母校発展の兆を観た 田中伸幸/70  
同窓生のお店拝見・漁火/72 茅/75 やわら鮎/76 リーナ/79



# 総会で逢いましょう!!

お誘いあわせのうえ 楽しくやりましょう

**とき** 昭和57年11月3日(文化の日)  
**ところ** レストラン・パレス  
(大阪梅田 新阪急ビル12F)  
11:00~14:00



# 五十周年を契機として さらなる飛翔を!!

学長 鈴木 亨



ここに於いてわれわれは従来に増して質的充実を計り、将来計画を十分に練り、出来ることを一つ一つ着実に実現してゆかねば、本学の一層の発展を見ることはできません。その最初の一步として昨年の「澁江」でご紹介しましたように、商業科推薦入学を実施いたしました。本年はさらに一歩進めて普通科の推薦入学を来年度から行うことを教授会で決定しました。同時に特技（スポーツ）推薦入学も決めました。これら三種の推薦入学によって、従来、ただ一回の〇×

同窓会の皆さん、ご壮健にてそれぞれ各界においてご活躍のこと、大慶に存じます。同窓生も今年で四万名以上になりました。これらの人びとが日本全国津々浦々はもとよりグローバルな地域まで活動の場を拡げておられるご様子はおもうに壯観であります。われわれ経大人にとっても心強い限りであります。

本学は創立以来、今年で満五〇周年を迎えることになりました。この間、本学はその規模において小さく、地味とはいえ、内容においては良心的で誠実な教育を行って参りました。それは四〇万冊に近い図書有する図書館や、経済学、経営学に限定されない人文、社会、自然科学におよぶ幅広い七十に近いゼミナールの開設において、その一端が伺われるであります。また日本経済の大動脈ともいえるべき大阪市内にあって、日日その経済活動を実際に学生諸君が肌で感じられることは、社会科学を学ぶ者にとってきわめて有益なことで申せましょう。しかし逆に、市内にあることによってキャンパスの狭隘さ、道路事情などの環境条件には恵まれておりません。さらに最近、比較的新しく出来た諸大学がキャンパスの大きさ、建物の美しさなどをPRの武器として躍進して来ましたが、われわれがいかに良心的な教育をしていると言っても、今日の学生気質に必ずしも適合しえない状況となって参りました。

ここに於いてわれわれは従来に増して質的充実を計り、将来計画を十分に練り、出来ることを一つ一つ着実に実現してゆかねば、本学の一層の発展を見ることはできません。

その最初の一步として昨年の「澁江」でご紹介しましたように、商業科推薦入学を実施いたしました。本年はさらに一歩進めて普通科の推薦入学を来年度から行うことを教授会で決定しました。同時に特技（スポーツ）推薦入学も決めました。これら三種の推薦入学によって、従来、ただ一回の〇×



方式を中心とする入試と異なった、秀れた素質をもつ、个性的な巾広い人材を受け入れ、それらの個性をそれぞれに生かして、将来の社会で広い活動のできる人間を育ててゆきたいと念じております。

本年は昭和七年の創立以来、丁度、五〇年に当たりますので、今秋、五〇周年の「宣言」を行い、そこで種々の記念行事を行うことを発表します。来年に向けて種々の記念事業を計画しておりますが、主なものには五〇周年記念式典、黒正記念館の建設、五〇周年史編纂、記念論文集の出版などが考えられます。来年秋には記念式典を挙げる予定になっておりますし、黒正記念館の建設にもとりかからねばなりません。

これらの記念行事を契機として、さらに一層の将来計画を進めてゆきたいと考えておりますので、同窓会の皆さまにおかれても、今年は特に、大学との連絡を密にし、強力なご支援を賜りたく存じます。

# 同窓会も一丸となって 「経大創立五十周年事業」 の促進をはかろう

同窓会 磯野 齊



最近における内外の諸情勢はますますその複雑さを加え、貿易不均衡をたてに、アメリカをはじめ西欧諸国のわが国に對する風当りは強くなるばかりで、国内経済に及ぼす影響も甚大であります。不況からの脱出は、遅々として進まず、私達の身辺にもひしひしと不景気の長期化を感じさせるものがあります。同窓生の皆さんには、あらゆる障害を乗り越えられ、各業界で活躍になっていくことを拝察しご同慶にたえませぬ。

昨年、同窓会総会の席上において藤田理事長先生は、昭和五十年創立当時のデータをもとに、一九八二年をもって創立五十周年を迎える旨を鮮明にされました。そしてその後、大当局においては、如何にして五十周年事業を企画し、実行するかについて、学長、理事長、学内理事の諸先生を中心に鳩首協議を重ねておられました。その内容については、未だ知るすべもありませんが、大体次のようなおおまかな組織造りができたようであります。すなわち、記念事業中央委員会を中心としたスタッフ的存在として顧問会を、そして、ライン的組織として(1)記念事業実行委員会(2)記念式典等実行委員会(3)年史編纂委員会(4)募金委員会を設けることとあります。

学者の方々がものを決めにするには、実業家のようにはいりません。考究し、検討し、納得し、合意し、実行するというプロセスに相当時間をおかけになるようです。ご職業柄やむを得ないことだと思っております。しかし、大当局の骨組みが、出来たようであり、具体的な内容の確立も間近かであろうと思われまます。同窓会といたしましては、大学の計画に沿って、準備委員会、諸実行委員会、等の組織造りを早急に確立し万全を期したいと思っております。大学との対応につきましては、常任理事会にご一任いただきたく存じます。また組織造りにあたり、理事会は勿論のこと、支部長会、各回同窓会、OB会等の開催をお願いするこ

ともあろうかと考えますので、その節は、是非、特別のご配慮をいただきたいと今からお願ひ申しあげておきます。

学齢五十年を経て会員四万を超え、同窓会の存在も強固となり、現在同窓会から選出された学校法人の経営に参画する理事、監事、評議員はようやく十四名を数えて、大当局との意見交換の場を持つておりますが、この機会に、大学の将来に對する展望を新たに、前進発展する大学たらしめるため、同窓会の熱意ある発言により計画の促進と実現に尽力したいと思っております。

聞くところによれば、第二臨調、行政改革によって私大助成金の削減措置が考えられているようであり、わが大当局にとって人件費の二五%にもあたる助成金の抑制措置は、実に重大であります。このような問題についても、大当局の要請をまっぴらで協力したいものであります。

また、去る六月二十六日(土)に開催されました昭和五十七年度理事会には全国各地より支部長はじめ百名近くの理事の方々のご参集をいただき昭和五十六年度決算、昭和五十七年度予算(案)について慎重にご審議をたまたわり、万場一致でご承認いただきましたことを、ここに厚くお礼申しあげます。

最後に、全国の同窓生の皆さま方のご健勝と、今後一層、同窓会の運営にお力添えいただきまますようお願いいたしますとともに、きたる十一月三日の昭和五十七年度同窓会総会には、色々趣向を考えておりますので、是非、ご出席いただきまますようお願いいたします。なお、全国の同窓生の皆さんの唯一のコミュニケーションの役目を果たしている「澁江」が一人でも多くの会員の手に届くことを念願しております。本号の発行にご協力いただいた大学の各関係部課の方々、ご寄稿いただいた同窓生の皆さん、および毎年のことながらご苦勞願った編集委員各位に感謝を申しあげ私のご挨拶にかえたいと思ひます。

# 同窓会 本 だ よ り

## 母校創立五十周年を前に 審議も円滑に進行

〈理事会〉  
 ◇昭和五十七年六月二十六日(土)  
 ◇新阪急ビル十二階、レストラン・パレス

◇議案  
 第一号議案  
 昭和五十六年度決算について  
 第二号議案  
 昭和五十七年度予算(案)について  
 第三号議案  
 その他

司会 比企事務局長  
 定刻 司会者より開会宣言  
 磯野会長挨拶  
 「内外における諸情報厳しき中、大阪経済大学卒業生が各界でご活躍されておられるご様子はまことに同慶にたえません。」

大阪経済大学が昭和高商として建学されて以来、一九八二年をもつて創立五十周年を迎えることとなりました。大学側ではこの五十周年記念事業の実行にあたり諸委員会を設置されて、鋭意準備を進めておられるようであります。同窓会といたしましても、大学のご計画に沿って組織づくりをしてゆきたいと考えております。大学との対応につきましては常任理事会にご一任願いたいと存じます。また組織づくりに当たりましては、同窓会はもちろん、同窓生の各組織の全面的な協力とご配慮を切に願います。」という主旨の挨拶のあと、ただちに議案審議に入る。

第一号議案  
 萩原企画部長(10)が会計部長を代行して(当日、平尾会計部長、中村会計副部長、大西会計部担当常任理事、いずれも所用で欠席のため)、昭和五十六年度収支決算につき各項目別に説明、引き続き比企事務局長より各項目についての補足説明がされた。  
 長尾監事(8)より監査報告がされた。

第二号議案  
 谷口総務部長(2)より昭和五十七年度収支予算(案)につき各項目別に詳細に報告がされた。  
 第一号、第二号議案につき一括審議に入る。  
 審議の結果、第一号議案、第二

号議案とも満場一致で承認、可決された。  
 第三号議案 その他  
 については特別審議事項なく本年度の理事会の議案審議を終了した。

本年の理事会は理事各位のご協力により円滑に議事進行ができ、懇親会までに若干時間的余裕があったので自由討論に入る。

榊喜作氏(2)および水上敏夫氏(3)(三重支部長)両氏より、母校への愛校心に燃える貴重なご発言があり、満場拍手で両氏に対し賛意と謝意を表わした。

引き続き、当日、ご出席の各支部長の自己紹介を兼ねたご挨拶があった。

当日ご出席の支部は、  
 東京、東海、岐阜(代)、大阪市役所、西宮(代)、神戸(代)、姫路、岡山、広島、山口、南九州、福井、丹有、奈良(代)、三重の十五支部であった。

続いて事務局より  
 一、レコード、文鎮、キーホルダー、名簿の販売にご協力をいただきたい。特に名簿(一冊五千円)の販売については各支部長、各回幹事のご協力をお願い

いたしました。  
 二、北海道支部が二十七番目の支部として発足。支部長 田中喜三郎氏(10)  
 事務局 北海道札幌市  
 三、滋賀支部が全然活動をし

ていないので、適任者があれば事務局までご連絡下さい。  
 などの事務連絡があった。  
 司会者の閉会宣言でなごやかなうちに昭和五十七年度理事会を終了した。

別室で懇親会に入り大いに歓談のあと散会した。

## 意義深い本年度総会

昨五十五年度の同窓会総会は硬式野球部の関西六大学リーグ優勝という快挙で、忘れることのできない総会でした。それが昨日のように思い出されます。

本年、すなわち、昭和五十六年度同窓会総会は、来年創立五十周年を迎えるという意味で、これも、また、忘れることのできない総会です。

総会は谷口一郎(2)総会特別委員長を中心に西本集一(23)式典委員長、水納敏也(2)パーテイ委員長をはじめ、諸委員のご尽力により、

本年も恒例通り十一月三日(文化の日)、レストラン・パレスで鈴木亨学長先生、藤田敬三理事長先生および多数のご来賓の諸先生方をお迎えして盛大に挙行されました。

式典は、西本委員長の「開会のことば」で幕をあげ、母校のグリー・クラブ諸君の「学歌斉唱」、磯野会長挨拶、ご来賓のご祝辞をいただいた後、つづいて表彰が行われました。

今年、開学の祖、故黒正厳先生とは切っても切れない岡山支部

を創設され、永年にわたり公私ともに同窓会の発展のため、また、母校の発展に多大の貢献をされ、かつ、支部長の重責を果されて後進に道を譲られた大森喜太志前支部長に、グリー・クラブの学園歌のハミングが流れる中、会長より感謝状が贈呈されました。今後とも母校・同窓会のために、また、後進の指導のためにご尽力をいただきたいと願ってやみません。

次に、同窓会のために、事情の許す限り、地方支部総会にご出席いただき、大学と同窓会の絆をよ



り一層強くしていただいた玉置保前学長先生に同窓会より心ばかりの記念品を贈呈して謝意を表しました。また、永年、本学の発展と学生の指導にあたられ、名誉教授になられた喜田義雄先生、田岡嘉寿彦先生、北里武三先生（田岡・北里両先生は当日ご欠席のため、ご代理の泉谷勝美先生）にささやかな記念品を贈呈し今後ともご健康で母校の発展のため、また、子弟の育成のためますますのご尽力を願いつつ謝意を表しました。ついで、今回の役員改選で相談役に就任された世良錬次前会長(3)、広田実前副会長(1)に対し、母校ならびに同窓会のために永年にわたり多大のご尽力をいただいた功績をたたえ記念品の贈呈を行いました。渡辺達好名誉会長をはじめ両相談役には、今後とも、母校・同窓会のために、ますます頑張ってください、後進の指導を願う次第です。世良前会長より謝辞があり、記念品贈呈を終わりました。

式典も終りに近づき、比企事務局長より、当日ご出席いただいた同窓会各支部長、ならびに万障お繰合せのうえご臨席いただいたご来賓の諸先生の紹介があり、列席

者全員拍手で謝意を表しました。その後、同局長より同窓会の近況報告があり、一応、式典を終了し、同席した母校のグリー・クラブの日頃の練習の成果を心ゆくまで楽しみ、式典を無事終了しました。

東京で行われた第十二回山野ビュグバンド・ジャズコンテストで特別賞を獲得してきた母校・軽音楽部の諸君が、その輝しいトロフィーと賞状を飾りながら演奏する軽快なメロディーを聞きながら式典会場からパーティ会場へ移動。しばらくは軽音楽部諸君の演奏を聞き、パーティの雰囲気盛りあがったところで、水納パーティ委員長の「開会のことば」を合図に、鈴木亨学長先生、藤田敬三理事長先生、渡辺達好名誉会長による鏡開きでパーティの幕が切られて落されました。

まず、磯野会長の音頭によるピールの乾杯でいよいよパーティに入りました。そこには、もはや過去の先生と学生、あるいは先輩、後輩ではなく、大樟のもと同じ学舎で、という融和そのものの存在が大きくクローズ・アップされ、あちらに一団、こちらに一組

とビール片手に大いに談笑あるのみでした。このような時間は、前半の式典時間と違って、アツという間に過ぎ去るものです。会場正面の舞台では、二、三いやそれ以上のグループが背を組み、学生気分丸出しで蛮声をはりあげての歌がとび出し、パーティの雰囲気は最高潮に達しましたが、最早、定められた時間を少し過ぎています。グリー・クラブの逍遙歌が流れる頃には、いつしか互に隣同志肩を組み、その輪がゆれる。無情にも水納パーティ委員長の「閉会のことば」がマイクを通して流れるが、それは全員の歌う逍遙歌に消されがちである。渡辺名誉会長の「万歳」に合わせて、全員が三唱。グリー・クラブ諸君の「螢の光」のハミングで去り難い会場を、あらで、また、こちらで、「また来年」、「お元気で」と握手、あるいは、肩を叩き合いながら一人、一人と去ってゆく。来年こそ、皆さんお元気でこの楽しい総会に参加して下さい。

最後に、総会特別委員会の方々はじめ、当日お手伝い下さいました皆様に対し、ともに心から謝意を表したいと思えます。

昭和56年度収支決算書

自 昭和56年 4月1日～至 昭和57年 3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	6,768,693	6,768,693	総会費	3,850,611	4,000,000
会費収入	30,385,000	29,000,000	役員会費	1,343,190	1,500,000
總會収入	682,500	500,000	支部費	2,063,555	3,500,000
名簿収入	5,808,000	10,000,000	事務費	392,530	600,000
利息収入	1,263,326	400,000	人件費	5,372,990	5,350,000
雑収入	736,400	0	旅費交通費	1,865,300	1,700,000
名簿取崩	5,000,000	0	減江編集費	9,754,796	10,000,000
			名簿追跡調査費	1,458,676	1,000,000
			名簿編集費	11,942,155	13,000,000
			学対費	2,690,000	2,500,000
			慶弔費	624,000	500,000
			50周年記念積立金	1,000,000	1,000,000
			予備費	(960,966)	2,018,693
			次期繰越金	8,286,116	0
合計	50,643,919	46,668,693	合計	50,643,919	46,668,693

昭和57年度収支予算表(案)

自 昭和57年 4月1日～至 昭和58年 3月31日

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
前期繰越金	8,286,116		総会費	5,000,000	
会費収入	30,000,000		役員会費	1,500,000	理事会・常任理事会・各支部会
總會収入	500,000		支部費	4,000,000	運営費、支部総会援助
名簿収入	1,000,000		事務費	600,000	
利息収入	500,000	普通預金利息	人件費	5,850,000	事務局人件費
			旅費交通費	2,000,000	
			減江編集費	12,000,000	
			名簿追跡調査費	1,650,000	
			学対費	2,750,000	大学祭・クラブ活動援助
			慶弔費	500,000	
			50周年記念積立金	1,000,000	
			名簿発行積立金	1,000,000	
			予備費	2,436,116	
合計	40,286,116		合計	40,286,116	



「ゆく河のながれはたえずして、しかももとの水にあらず。よどみにうかぶうたかたはかつきえかつむすびて、ひさしくとどまる事なし。……」

これは鴨 長明によるといわれる『方丈記』の書き出しの一節であり、私の愛好する文章の一つである。なぜなら、私は、この一節にわれわれの人生そのものが集約、表現されていると思うからである。

この一節をふまえて、「同窓会と私」を回顧してみたい。思えば、私が同窓会とのかかわりあいを持ったのは、昭和十六年三月、昭和商を卒業し、当時の同窓会会長黒正 巖校長から同窓会評議員（現在の理事）を命ぜられたときからであり、昭和二十三年、同窓会が独立してから数えても三十四年の歳月が流れ去ったことになる。そして、同窓会本部の事務をお引き受けしてからも、早いもので十四年になる。

この間を振り返ってみても、正に『方丈記』の書き出しの一節をほうふつさせるものがある。そして、それらが走馬燈のように頭の中を駆けめぐってゆく。

その一つの走馬燈の中から同窓会の支部に関する影絵だけを追っ

てみたい。戦後の混乱期に、外海波吉先輩(1)、長谷川平八郎先輩(6)、三好悌彦先輩(6)のご支援をえ、昭和二十三年夏、黒正先生のご臨席をいただいたの神戸支部の発会が、やはり一番印象に残っている。

さらには、バラックの建ちならぶ徳島銀座での故谷 俊一郎君(9)との出会いが契機となった徳島支部の結成。まだ原爆後遺の異臭のただよう広島での田辺忠司君(7)、新田正信君(7)との会談による広島支部の結成。人力車が唯一の交通機関であった戦後の高松での松原 範幸君(7)との話し合いで結成した高松支部（現香川県支部）。故新家 繁君(7)との文通と電話による丹波支部（現丹有支部）の結成。

また、四国・土讃線の二等車（現グリーン車）での内田 甫先輩(6)との偶然の出会いが契機となって結成された福井支部。さらに、横田憲介君(7)とともに藤原先生を囲んで結成した高知支部。それぞれいづれも筆舌に尽せぬ思い出が残る。

そして、いわゆる高度経済成長期に入ってから、伊藤欣治君(7)との話し合いにより、当時の岡田佐市東海支部長(6)のご援助をえて独立させた岐阜支部。八木米次先輩(1)（現西宮市長）と西宮市役所在勤経大生とともに、当時の三好悌彦神戸支部長(6)のご協力により独立させた西宮支部。母校の入試監督応援のため鹿児島に行つた時、伊伏 彰君(23)ら鹿児島県人会の諸君らと話し合い、当時の荒牧博之九州支部長(6)のご理解あるお計いにより独立させた南九州支部。早川由次君(7)と再三にわたる会合のうえ設立した富山県支部。武川茂夫君(9)とともに永川仁一姫路支部長(6)のご尽力を得て独立させた東播磨支部。電話連絡だけで結成していただいた鳥取支部など、その一駒一駒が思い出の中を走る。

ただ、私の脳裡を去らないのは、難産の島根県支部の一日でも早い結成であり、小池勝彰君(32)が中心になって開催された福山地区の同窓生の会合を支部として結成へ前進させたことである。

およそ私に生のある限り、私の心の中の走馬燈に、一つ、また一つと新しい絵を加えて行くことが私の願望であり、それが止まるときは「よどみにうかぶうたかた」が消えるときでもあろう。

思えば、私は同窓会馬鹿の一人であり、ひいては経大馬鹿の一人でもある、と自己批判をしながらも、母校への愛着だけは何物にもかえ難いものを持つ一人であると自己満足している。いいかえれば、年をとった部類に属する引退族の一員でもあると自己認識している。今日この頃である。

# 同窓会支部だより

## 多彩な催しを各地で展開

### 北海道支部誕生

東京支部の昭和五十六年度総会は、昨年十月十六日（支部規約により毎年十月の第三金曜日）に開催されました。場所は、こゝ数年すっかりおなじみになった新橋駅に近い「新橋亭」で、今回も三回卒業の川崎さんにお世話をいただきました。

当日は、大学から藤原先生、同窓会本部からは新会長の磯野さんと常任理事の萩原さんがご遠路ご参加いただき、大学や同窓会本部および地方支部の現況等のご説明があり、約八十名の出席者は三時間余り和気藹々の会合を持つことが出来、盛会裡に無事終了いたしました。

昨年夏に同窓会本部で発行された新名簿によると、関東地区在住の同窓生は、八〇〇名以上と推定されますが、実数は仲々把握出来ず、東京支部幹事会としても連絡に頭を痛めている次第です。関東地区へ転勤・転宅された同窓生の皆様は、ご面倒でも東京支部宛、連絡先をご一報いただきたく紙上

### 東京支部

### 支部長 鮫島圭

## 同窓の交誼を深める努力を……

を借りてお願いいたします。

東京支部幹事会の連絡困難はさておき、年一回の支部総会がマスターキーとなり、同窓生の親睦の効果は大きいと思われれます。お互いの仕事内容がわかることによる取引上の結び付き、あるいは年齢も、仕事も全く異なる人達が、ちよつと声をかけあって、酒席やゴルフ会等が集まる楽しさも格別の味があります。今後は、集会者数の増加をはかると同時に、交際の密度の濃さにも努力したいと思

ますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

最後に、大学当局へお願いを申し上げます。運動部等のクラブが全国大会等で上京する場合は、出来るだけ早く日程・会場・宿泊場所を東京支部へ通知くださるよう、各クラブへご伝達願います。昨年は、軽音楽部から連絡はありましたが、大会前夜の通知であった為、会場にも行けず失礼したケースがありました。東京支部としては、微力ではありますが出来るだけの応援も行いたいと考えておりますのでよろしくご配慮下さい。

### 東海支部

### 支部長 加藤正秋

## 「支部同窓生名簿」作成へ

### ●支部総会(11月下旬)で配布を予定

よく知人から「愛知県下に卒業生が何人ぐらいいえますか」と尋ねられるが、「三百人ぐらいじゃないでしょうか」と答えていた。このほど同窓会本部事務局から送って頂いたコンピューター名簿によると、本年度の卒業生を省いて

ちょうど二百八十人だった。案の定という感じである。同じ空の下にこれだけ仲間がいると思えば、たのしい気持ちがある。さて、こうした仲間たちから、最近よく支部名簿はありませんかという問い合わせがくる。商売に

利用したい向きもあれば、同好の士を募りたいという同窓生もあるだろう。もっともな話である。そこで二、三の役員と相談したところ、不足分は広告費で賄うとして、早速製作に取りかかろうということになった。年末の支部総会には、同窓各位へお配りできることと思う。乞うご期待だが、住所確認の手紙類にはぜひご回答を頂けるよう、よろしくお願いしてきたい。



さて東海支部にはいろいろ博士の士が多いが、世間学に関しては岡田前支部長（昭和十五年卒）の独壇場となる。この岡田さんが、

「最近ひよんなことから黒正先生を思い出しましてなあ……」と耳よりな話をうかがった。  
講演会好きの岡田さんは、このほど犬山モンキーセンター所属の京大霊長類研究所長・江原昭善先生のお話を拝聴された。テーマは人骨で、考古学の分野として発掘される骨相で、男女はもとより弥生時代か平安朝時代かまで判別されるという興味深いものだったそうである。江原先生の話をうかがっておられるうちに、岡田さんは、ふと黒正先生を思い出されたという。  
そして、講演会のあと、早速「あなたは岡山県のご出身ではありませんか」とお尋ねされると、「あなたは人相をご覧になれるのですか」と先生の方がびっくり。話が黒正先生に及ぶと、「私が六高の学生時代の校長でした。いろいろお世話になりました」と、二度びっくりされたそうである。  
岡田さんは得意の相好を崩したポーズで、「昔の女優で英百合子というのがいたでしょう。私の家の母もちょっと似ています。どちらも岡山県人。黒正先生もや

や下アゴが張っておられたでしょう。あれですわエッヘッヘ……」ということである。  
ことしの東海支部総会は例年ど

京都支部

支部長 木下隆徳

旧交をあたためあう楽しい一刻

五十六年度京都支部総会は、例年の通り、五十六年十一月七日（土）に岡崎の洛陽荘において開催されました。

学校側からは大学院科長の倉辻平治先生、同窓会本部からは名誉会長渡辺達好氏のご臨席を賜り、三十余名の出席者が学校および同窓会の近況を聞き、出席者一同、お互いになつかしく旧交をあたためあひ楽しい一刻を過ごしました。毎年のことながら、案内状発送

大阪市役所支部

幹事 藤川保治

会員二〇〇余名の転域支部としてさらなる発展を期す

当大阪市役所支部は、大阪市へ奉職する職員並びに大阪市立高等学校教職員を会員とする唯一の職

域支部で、創設以来三十有余年の歴史を持っています。創設当初の第一回卒業生広田支

おり十一月下旬に行う予定である。場所も会費もまだ未定だが、支部名簿と岡田先輩の名スピーチをご期待頂きたいものである。

のわりに参加者の少ないのが残念でなりません。この会合を楽しみにしておられる方もあり、ますますの発展を願うものであります。会合は楽しいなごやかな会でございますので、次回にはぜひご出席を賜り、ご歓談下さいませ。お待ちしております。また、支部総会の運営その他についてご意見がございましたらご教示下さいますようお願い申し上げます。

東京支部	支部長 鮫島 圭	北九州	嶋原 正孝
東海	加藤 正秋	南九州	宮田順一郎
岐阜	丹羽 好輝	福井	内田 甫
滋賀	野田 邦弘	石川	柚木 繁
京都	木下 隆徳	富山	重松 尚
大阪市役所	金子 昭典	香川	和田 憲明
西宮	八木 米次	徳島	横田 憲介
神戸	町田 達治	高知	横田 憲介
東播磨	永井 宏	丹有	梶村 文弥
姫路	永川 仁一	奈良	平尾義之助
岡山	村上 一夫	三重	水上 敏夫
広島	佐々木一義	和歌山	松本 旬弘
山口	串田 一	鳥取	亀井 寛
		北海道	田中喜三郎



部長以下歴代支部長並びに諸先輩は、全て大阪市をご退職されましたが、現在もご健在で、特別会員として当支部の発展のためご支援ご協力を賜わっています。  
恒例の昭和五十六年度の支部総会は、昨年十一月二十五日大阪市立労働会館において同窓会本部から磯野会長並びに比企事務局長、

西宮支部

副支部長 黒才 洋

藤田理事長を来賓に迎え盛大に

年度末も間近い昭和五十七年三月十九日（金）午後六時三十分か

ら、昭和五十六年度西宮支部総会を西宮市役所に隣接する市民会館

学校から井手口就職課長並びに黒正氏をお招きし開催しました。  
当日は、歴代支部長全員がお顔をお揃えになり、創設当初の想い出話に花が咲き、私どもに貴重なアドバイスを賜わり、今後の支部運営に生かして行きたいと考えています。  
当支部は、金子支部長以下十三名の幹事で種々お世話させていただきました。現在二〇〇名を超す会員で、支部活動をを行うにしても大仕事となり、会員諸兄からのご要望等にお答えすべきところ、つい停滞気味となり、深く反省をいたしているところです。  
今後、活発な活動を行い、この伝統ある大阪市役所支部を、同じ職場で働く同窓生として、職場に大いに活用し、支部の発展を期して行きたいと考えている次第です。

四階中会議室で開催いたしました。

今回は、八木支部長が西宮市長に就任されて以来始めての総会という事で、冒頭にもありますように、是非共出席して支部長の市長就任に対してお祝いの言葉を述べたいと、八十八歳の高齢にもかかわらず藤田理事長がかけつけて下さいました。

同窓会事務局のお話では、理事長が支部の総会にご出席されたことは未だかつてなく、異例のこと



だそうで、大いに感激するとともに恐縮したことを報告申しあげたいと存じます。

当日は、藤田理事長先生をはじめ稲原康雄教授、内海健一教授、黒正明事務職員（故黒正学長のご令息）を大学側より、磯野会長、比企事務局長を同窓会本部よりご来賓としてお迎えし、加えて、日頃お世話になっている藤原光治郎教授（宝塚在住）、田中健一教授（西宮在住）をご招待申しあげ総会を盛会裡に運営することが出来ました。

今まで、支部だよりの中で人集めの気苦労をいつもぼやいてきましたが、支部長が西宮市長になられたということで、二度是非出席してお祝い申しあげたいという会員

### 神戸支部

## 組織の強化を図りマンネリ化を排除

支部長 町田達治

同窓の諸兄諸姉にはますますで健勝にてご活躍のこととお慶び申しあげます。さて、昭和五十七年度の神戸支部総会を開催することについて、五月十四日、タワーサイド・ブーンにて、①開催日時、

が多数出席され、今回は、出席者五十九名（会員五十二名、来賓・招待者七名）とはるかに予想を上廻りうれしい悲鳴をあげる始末で、支部長のお陰と喜んでいきます。特に、十三回、十四回卒の妙齢？のご婦人方が六名も出席され、彩り鮮やかに色を添えていただきうれしき限りでした。

弘（二十七回）大西義幸（三十回）で、協議の結果、七月十日（土）午後一時三十分より会費五千元、タワーサイドホテル五階「パールの間」にて開催することいたしました。

②場所、③会費その他を決定するための役員会を開きました。出席者（敬称略）は、支部長町田達治（十二回）、世話人三好梯彦（六回）、小山弘（二十二回）奥村儀弘（二十四回）武内和

したがいました、同窓会の澱江の原稿締切が、六月十二日である関係から一年後となりますので「神戸支部だより」としては、旧聞に属し、誠に恐縮に存じますが、神戸支部は会員各位のご協力をいただきながら、支部長と八名の世話人役員で運営いたしております。そこで今後の課題として、支部組織の一層の強化を図りたいと思っております。毎回の総会を更に有意義なものとするため、まず、マンネリ化の排除、すなわち、総会参加者が、いつも同じ顔ぶれとなる弊害を打破しなければなりません。具体的には各区毎に新しい組織を作り世話人役員の増員をするなどの方策があるかと存じます。いづれ総会の折に、諸兄諸姉にご意見をお伺いし躍動的な神戸支部を育てあげたいものです。それらのことをふまえて、七月十日、二年ぶりに支部総会を開き

ます。いつもながら同窓会本部、大学側のご出席をいただき、一同が若き学窓の日々を回想しながら歓談のひとつときをともにし、そしてまた、新卒間もない新会員の若い方々とも語らい深い感動を覚えています。古くから大輪田の泊兵庫津として知られ、すでに開港し

て百十五年目を迎えている「国際港湾都市 神戸」に在住され、各界にてご活躍の諸兄諸姉、願わくば、一人でも多くのご参加を期待しつつ、そして、ますますのご多幸をお祈りして、神戸支部だよりといたします。

### 東播磨支部

## 地域社会への貢献を誓う

56年度総会西脇市で開催

支部長 北井清之

東播磨支部は、東は明石市、西は姫路市、そして、北は西脇市、南は高砂市に接するという広地域のため、また、できるだけ多くの同窓生が気軽に総会に参加出来るために、支部総会の開催は輪番制になっております。そして、各主要都市の世話人にご苦勞をいた

した。まず、藤原教授より、学校の近況を、磯野会長より各地同窓会の活躍の様子などをお聞きし、会員一同なごやかな雰囲気の中で、近況報告等を行い、相互の親睦を一層深めました。

昭和五十六年度総会は、日本の「へそ」といわれております、播州織物の生産地、西脇市福祉センターで、八月三十日、母校より藤原教授、同窓会本部より磯野会長、比企事務局長をお迎えして、暑い季節でしたが盛大に開かれま

特に、本年は西脇市の会員の皆さんに、格別のお世話になり、また、各地で会員が元気で活躍されていることを聞き誠に力強く感じました。今後、更に一致協力して、よりよい社会人として、また、大経大同窓生としての誇りを持つて地域社会に貢献することを誓いあい、過ぎた青春に思いをは

### 岡山支部

## 支部運営に活発な意見が続出

支部長 村上二夫

とき 六月六日（日）  
ところ 岡山市駅前町、みよし

し、多数の参加を期待しておりますので、格別のご支援をお願い致します。

参加者 同窓生三十三名・大学三名・本部一名、計三十七名

参加を目標にしていたわれわれ世話人一同はがっかりしました。

懇親会 十三時～十五時  
世話人会 十五時三十分～十六時  
昨年支部長をお引き受けして、私にとっては始めての岡山支部総会の為、三月頃から諸準備に取りかかり、世話人一同が、「いかにして、岡山支部らしい参加者数（五十名以上）、特に、若い同窓生に、より多く参加してもらえるか」を重点にして準備を進めて参りました。そして、一応、今年、県下全員（約一、〇〇〇通）に案内状を出しましたが、締切期限時の参加申込者は二十名にも及ばなかったため、当初四十名～五十名

総会数日前、また、総会の当日早朝から電話があるたびに、「参加取り消しか？」との不安がありました。追参加の電話ばかりで、ほっとしながらも、準備の変更、変更で、うれしい多忙をいたしました。

そして、総会当日は、朝から一点の曇もない日本晴の上天気だったので、「これは、大丈夫、ゆける」と勇気百倍、会場へ着くや変更事項の処理（会場、記念品、名簿、名札、人数等）にてんやわんやしていたところへ、「おはよう



の声とともに、一番乗りは、やはり、同窓会本部の比企事務局長（七回卒）さんでした。

それから、十一時三十分の集合時間までに、ぞくぞくと大半の方がかこれ、また、当日初めてご出席の若い会員も数名こられて、うれしいやら、反面、世話人一同多忙をきわめました。そして、結果的には、「今日は四十名になるだろう」との予想が実現しました。

定刻前に、大学側より、今回初めてご来会いただいた鈴木亨学長、鈴木正里教授、また、われらが尊敬している故黒正蔵先生のご子息であり、現在、母校就職部に



勤務しておられる黒正明氏のお顔も見え、一度に花が咲いたような気持ちで感激しました。バックミュージックの流れる中、定刻十一時四十分、塩尻司会（三十五回卒）による開会宣言があり総会が始まりました。まず、村上支部長（十二回卒）から「支部長を受けて初めての総会開催にいたった経緯の説明。および、鈴木学長先生の初めてのご来会に対する謝辞。出席者が若い人を中心し満遍なく出席されたこと。大学五十周年とともにマンモス支部である岡山支部も母校ならびに同窓会の発展のために今後も頑張ろう。」との趣旨の挨拶がありました。次に、同窓会本部の比企事務局長より本部の近況と各地区支部の状況についてユーモアたっぷりのご報告があり、また、きたるべき大学創立五十周年記念行事への協力、および名簿訂正についての協力などのご説明がありました。そして、また、同窓会収入基金の一助である同窓会製作の（キーホルダー、一〇〇〇円）の購入依頼もあり、一同直に協力させていただき、十コが、またたく間に売切れました。

で、同窓のみなさまも何卒よろしくご協力をお願いします。との趣旨のお話がありました。さらに、鈴木正里先生からは、五十周年の諸行事は、すべて中規模で行う予定である、ということについて詳細なご説明がありました。最後に、岡山にとっては親しい黒正明氏より、最近の母校卒業生の就職状況（志望別、就職人数、その他）などについての説明と、卒業生に対する従来通り岡山地区の強い協力要請がありました。

以上で、ご来賓のご挨拶を終り議事に入りました。そして、支部総会は、もちろん、岡山マンモス県にふさわしい支部運営はいかにあるべきか、について、先輩数名と、若い同窓会員多数にマイクを向け、ご意見（とき、ところ、会費、内容、運営の方針、その他について）をお聞きし、十数名の方から貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。その結果、支部総会は、恒例として、来年度も、六月第一日曜日と決定し、「澱江」にも掲載することになりました。

以上をもって、本年度の支部総会は大野副支部長（三十五回卒）

の閉会の辞で、予定通り定刻十二時四十分を終了しました。

続いて、恒例の「出席者記念撮影」を小野カメラマンにより行い、小休憩の後、十三時より、例によって美人ホステス数名が入場し、まず、大森顧問のご挨拶と「乾杯」の音頭に始まり、第二部の懇親会に入りました。

当日は、特に、むし暑かったので、ビールの売れゆきも上々、酒宴たけなわ、名刺交換や昔話、または、お互いの職業を通じての近況など、話が進むにつれ、「自己紹介」も始まり、一部の若手会員より、今、流行の「カラオケ」による美声も次々と披露され、会もクライマックスとなりました。時、十四時三十分、昼の最中であるのに、夜の雰囲気さえ感じさせられたほどでした。

やがて、お別れの時刻（十五時）も近づいた頃、学歌、学園歌、逍遙歌のメロディーが流れ出すと、小倉副支部長（二十四回卒）の音頭で、参加者一同、歌詞を見ながら、昔を思い出し、そして、学生気分に戻って、声高らかに合唱しました。「歌の終り」とともに、なぜか、一瞬、会場は静

昭和57年度 姫路支部総会

10月30日(土)に決定

昭和五十七年度姫路支部総会  
左記の通り開催致しますのでお誘い合わせの上進んでご出席下さい。

日時 十月三十日(土)午後六時三十分より  
場所 北京閣  
会費 六千円也  
来賓 大学側、同窓会本部側若干名

昭和五十六年度姫路支部総会報告  
日時 昭和五十六年十月二日(土)午後六時より約二時間  
場所 北京閣  
来賓 大学より 成瀬洋教授  
同窓会より 磯野会長、比企事務局長

出席者 四十五名

備考 (一)姫路支部会員数は約六〇〇名。  
(二)毎年一回秋に総会開催。  
姫路支部長 永川仁一

続いて、ご多忙の中を、特に、初めてご来席いただいた鈴木学長先生より、「大学の今後の方針、特に、推薦入学、学部増設、定員増の方針および、五十周年記念行事

まりかえりましたが、定刻、十五時、村上支部長の「閉会の言葉」で、楽しかった支部総会を終り、一同別れをおしめ、来年の再会を約しつつ、解散しました。

終りにのぞみ、鈴木先生をはじめ、ご来賓、ならびにご参加いただいた同窓会のみなさまに心から感謝申しあげるとともに、世話人一同に厚くお礼を申しあげま

富山支部  
「創立五十周年に結集しよう!!」  
を合言葉に.....

顧問 早川由次

。昭和五十七年五月二十二日(土)午後四時  
。名鉄トヤマホテル、十階・久遠の間

われわれ富山県支部では、五十四年度に母校の吹奏楽部が行った愛知学院大学との盛大な交歓演奏会で、県民からかつてない人気を頂き、ますます会員も有頂天になっており、今日を迎えた次第です。

昨今は、色々の事情から総会を開催することが出来ませんでした。が、会員から今年是非総会を開

す。  
来年六月第一日曜日をお忘れなく。

追記 山田録二郎氏（十一回卒）が、来春の岡山市議会議員に立候補を予定されています。地区のみなさま方のご支援と、山田氏の勝利を祈念いたします。

くようにとの強い熱心な声飛び出し、早速、その要望に応じて開催しました。

当日は、ご多忙にもかかわらず、同窓会本部からはお馴染みの磯野会長、母校からは、大槻先生をはじめ、初めてご参加いただいた就職部の黒正主任のご出席を頂きましたが、黒正主任は本学を開学された故黒正蔵学長のご令息と聞いて、正に錦上花を添えるにも似た和やかな会合となりました。集まったメンバーは、総勢十五名でしたが、今回は、安田君（三



いる「百姓一揆」の発祥地の出身だから勉強もしろよ」とお叱りを受けたものだ。黒正主任を前にして語っておられた姿も印象的でした。

さて、本番の総会は小泉事務局長の司会で始まり、まず、重松支部長が本部および母校からの遠来の諸先生方に感謝の意を表しながら、「先の吹奏楽部の演奏会でわれわれが一致団結して盛りあげたあの闘志を再び結集し、支部を盛りあげよう」と、あいさつのあったあと、磯野会長から全国二十六年の支部の活動状況と創立五十周年記念行事の抱負などのご報告とご説明がありました。また、大槻先生からは、五十四年度以来の富山県下からの母校への志願状況や合格、入学に関するデーターを配布された資料によりご説明があり、そのご熱意に対し改めて感謝する反面、毎年全国的に志願者が約七パーセント減少してゆく状況の中で、富山県も大きく落ち込んでいくことを指摘され、一同汗顔の至りと頭を下げる中で、富山第一高校の先生である高橋努氏（三十四回）から、「母校の入試事務局はもっとPRをお願いします」と自分

重松支部長も「これからは誘い合ってどんどん出てくれ」と上機嫌でした。また、早川顧問（七回）は黒正主任のことを初めて知られたようで、かつての昭和商柔道部在籍時代に、お父さんの黒正先生から「お前は私の研究して

# 五十周年に思う

広島支部長 佐々木 一 義

創立以来半世紀という母校の年輪は、われわれ同窓生にとっても同じ年輪であり、精神的には黒正イズムを軸とした年輪でもある。そして、未来永遠に年輪を刻んでいくものと思う。

過ぎ去りし過去の年輪は、幅広く躍進した年、苦難に耐えた年、地味ではあるが内容の充実した年等々、そこには谷あり、坂ありの様々な年輪の積み重ねによって五十年を迎えたことであり、「まことにおめでたい」の言葉に尽きるものといえよう。

そこで、未来へ発展していくための夢として、これからの大学経営の在り方について一言私見を述べてみたい。  
キャンパス問題について  
国公立を問わず、戦後、

とくに、最近になってキャンパスの移転が活発である。広島大学も今年から東広島市に大移動を始めており、早稲田も巷間に種々話題をまいていく。大経大の場合も、私個人として、戦後歴代の理事長先生、学長先生にこのことについて進言を申しあげてきたが、中途半端な茨木グラウンドの購入が実現しただけではないだろうか。

ここで、大学当局にアドバイス申しあげたいことは、  
(1)茨木グラウンドについて  
各部、特に野球部、サッカー部、ラグビー部等が最強チームになるための要素として

早急に整備をお願いしたい。最もポピュラーなスポーツが強くなることはコミュニティ紙のPRからみて大学の発

展に直結するものである。(郷土を代表する広島カープのV4達成を信じ、広島人は鼻高々である)

## (2)高商時代の校舎の改築

戦前のあの建物は、私達高商時代の同窓生にとっては「懐かしい」の一言に尽きることで、永久に残してもらいたい気持ちには言葉に尽くせないものがある。しかし、建物の効用からみて改造の時期に来ているものと考えられる。そこで、これを高層ビル(建ぺい率、容積率等の建築基準法の最高限度)に改めること。仮に、それが二十五階以上のビルともなれば、新幹線からのながめの名物の一つにもなるのではないかと思われるし、また、最大限のPRに役立つのではないだろうか。さらにまた、私は、現代のネオンを設置したらどうか、と強く提案したものの一人であるが、現状は余りにもちゃちであり、知っている人ではないと目に止り難いのではないだろうか。

学部の増設  
今更云々する問題ではないが、理事長先生も学長先生も検討していただいていることと承っており、一日も早く実現のメドをつけてほしいものである。なお、この場合、国際的感覚のあるものと、女子学生が希望するものが望ましい。

以上いろいろと述べたが、要は創立五十周年を記念し、これを起点として現状に満足することなく、何らかの形で、前向きに前進してほしいということである。今後通減傾向にある志願者の歯止め対策、入学者の質の向上による大学のレベルアップをはかることなど、それが大学経営の安定となり、わが国でもユニークな存在として知られる大学になると思うのである。そして、大学と同窓会とが一体となり、母校の発展に直結するものと信じ、あえて投稿した次第である。

## 57年度総会は7月から8月を予定

香川支部

支部長 和田憲明

今年の総会は、気分を変えて、夏にビアパーティースタイルで開催するという事を決定しておりますが、まだ確実な日程を決めておりません。七月か、八月に開催を予定しておりますので楽しみにして下さい。

支部の現況について申しあげますと、約六百名の会員がおります。昨年度の一九八一(十七号)「激江」の記事を見て、支部長のところへ、月に一件くらい、「今年度の総会はいつですか?是非、出席します。」というよう

うれしい声がかかっております。香川県在住の会員の皆さん。当日は是非ご参加下さい。大いに飲み、大いに語り、楽しみたいと思えます。



北九州支部

支部長 嶋原正孝

若い会員に感動与えた  
大坪・松瀬(一回卒)両氏の出席

北九州支部総会は、同窓会本部より磯野会長、大学より竹林教授他職員お二方をお招きして、二月十日盛大に開催致しました。近年同窓生の皆様が、北九州支部の存在と同窓会の意義を良く理解していただく様になりました。本年度も五十数名の方々に御出席いただきました。

特に第一回卒で佐賀、川副町在住の大坪さん、福岡市在住の松瀬

さんがお元氣なお姿でご出席いただきましたことは、当日の場を盛り上げた事は言うまでもなく、また、若い同窓生の皆さん方の感動を呼び起させた様でした。

北九州支部総会は、ここ数年五十名前後の参加があり、大体定着したかと思えますが、同窓会発展の為なお一層の努力を致したいと思えます。

支部長 梶村文弥

丹有支部  
待望の支部会員名簿が完成し  
役員会・総会に活気あふれる

川岸にすすきの穂がなびき、庭の萩は乱れ咲いて、秋色は次第に濃くなってまいりました。同窓会員の皆様いよいよ多祥のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、当支部は昨年の激江でも述べましたが、こしはらくいろいろの事情により、ほとんど活動

ができていませんでした。「なんとか往年の隆盛を」と考え、昨年の秋ごろから同窓会名簿や本部のコンピュータで作成していただいた支部名簿等を参考に、名簿の整理に取りかかりました。しかし、当支部の会員は丹有地区の高校を経て母校を卒業した者

あると思えました。もちろん、われわれもその原因を追求し、いろんな立場からご支援をいたしたいと思っておりますが、大学当局におかれましては、その起因するところを十分究明されて、母校ならびに同窓会が心一つにして多面的かつ多角的な対策を講ずるようご配慮いただきたいと痛感いたしました。

ご来賓ごあいさつの後、支部役員選出、名簿作成、会則改正等の議事はとどこおりなく終了しました。

待望の懇親会では、若い人たちの出席が多かったこと、大阪から帰郷された数名の方々をはじめ各地から参加者があったこと、しばらく振りの総会であったこと等により、文字通りの大盛況でした。

あちらこちらで話はずみ、自慢のども引きも切らず、時のたつのも忘れるほどのにぎわいでしたが、無情にも惜別の時がきたり、なごりを惜しみながら、学生時代の思い出に浸りつつ、逍遙歌に感慨を込め、次回の再会を約束して総会の幕を閉ぢました。

あらためて、多くの方々のお陰により、このたびの支部総会が成

と、当地に居住または勤務している者ということになっておりますので、まず、本部で当地区の高校卒業者を調査してもらうことから始めました。

その結果、約六百名の氏名が判明したものの、不明者が多数あり、支部名簿としての機能をなさないことがわかりました。それからが大変でした。各高校の同窓会名簿をはじめ、電話帳や電話局案内係に尋ねるなどして、電話で次々と連絡を取り続けました。その間、いろいろなこともありましたが、たくさんの方々の協賛と、特に、同窓会本部事務局の山口さんのご尽力により、ほとんど完全に会員の消息がわかりました。そして、比企事務局長のご好意により、支部会員名簿が完成いたしました。本当にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

このような経緯を経て、念願の支部総会開催へと準備を進めました。まず、二月七日(日)、篠山町農協マーケット会議室で役員会を開き、総会出席者数の確保が同窓会支部活動の最重要課題という意見をまとめ、地区委員を中心に連携して努力しようと話し合いま

功いたしましたことを深く感謝申し上げます。

おわりにりましたが、会員各

丹有支部

昭和57年度第一回支部役員会開催

新しく選ばれた支部役員の本年度第一回目の会合が、周囲の縁がしたたるような会場で、ご多忙の中を集まっていたいた多数の方々のご出席を得て、次のとおり開催されました。

当日は、会員のための支部活動のあり方や、同窓会と母校の進展を願って、熱心に協議が続けられました。お陰で、今後の支部運営に大きな指針を得ることができました。

なお、過日、本部のご配慮により作成していただきました支部会員名簿は、可能な限り、役員が手配けして、各会員に手渡すことになりました。それにより、一層会員相互の連携を緊密にすることに努めようかと存じております。重ねてお礼申し上げます。

また、本年度の支部総会は、昭和五十八年二月二十日(日)、三田地区と決まりました。いずれそ

した。その後、何回か委員連絡会を開き最善を尽してまいりました。そして、待望の支部総会の開催を迎えることができました。

記

とき 三月十四日(日) 十一時三十分

ところ 兵庫県多紀郡篠山町、たんば荘

出席者 六十名(大学・本部来賓者四名)

久方振りの総会は大きく盛りあがり学歌斉唱、支部長のあいさつで幕をあげました。本部よりご来席いただいた萩原常任理事から、まず、出席者の多いことに賛辞を述べられ、同窓会を代表してごあいさつがありました。次に、母校を代表したご来賓の大槻先生から、大学創立五十周年のことをはじめ、大学の状況のご説明がありました。そのご説明の中で、特に、丹有地区の高校から毎年多数の入学生があったのに、ここ三、四年急に少くなったが、これは何に原因があるのだろうか、プリントを用意されての問いかけがありました。この問題は、われわれにとって非常に重大な問題提起で

位のご多幸と、同窓会ならびに母校のますますのご発展をお祈り申し上げます。



の節にはご連絡いたしますが、会員の皆様、あらかじめご予約に入っておいていただき、ふるってご出席くださいますようお願いいたします。

記

とき 六月十三日(日) 十一時

ところ 兵庫県水上郡柏原町、吉祥苑

出席者 二十五名



三重支部

支部長 水上敏夫

日本三大名泉で  
しばし恍惚

56年度総会

榊原温泉で開催

在県の三百有余名の同窓会々員  
諸士、日夜ご健闘のことと拝祭し  
大慶至極に存じあげます。

年一回の澱江でのご挨拶を謹し  
んで申しあげますとともに、三重  
県支部の昭和五十六年度総会の模  
様や三重県支部の組織ならびに地  
区幹事諸士の住所氏名等をご報告  
申しあげ、職務に、日常生活に相  
互の連絡をはかり、親睦を強め  
て、わが郷土三重の発展に寄与さ  
れ、ひいては母校、大阪経済大学  
の発展と隆昌に励まれんことをお  
願いたします。

昭和五十六年度総会はすでにご  
案内でご連絡しましたが、昭和五  
十六年十一月八日、午前十一時よ  
り久居市榊原温泉、神湯館で開催  
しました。



大学より大槻教授(母校理事)、  
磯野同窓会会長をはじめ比企事務  
局長のご台臨を得ました。

まず、磯野同窓会会長のご挨拶  
に始まり、大槻先生のご挨拶と母  
校の現況報告、特に、県内高校よ  
りの本学受験生の実態、ならびに  
本学設立五十周年記念事業の件等  
の報告がありました。続いて、比  
企事務局長よりの同窓会事務連絡  
の後、懇親会に入りました。懇親  
会出席者十八名。和気藹々談笑の  
後、日本三大名泉、榊原七葉の湯  
につきり、しばし恍惚、明日への  
エネルギーの蓄積と保養を心ゆく  
まで味わいました。

また、三重県支部の組織および

経大同窓会総会と澱江に寄せて

福井支部長 内田 甫

懐かしい澱江が送附される  
と同時に、いつも私が思いま  
すことは、その時々におかれ  
た経大同窓会のことでありま  
す。卒業以来、私は、同窓会  
総会には毎年顔を出させてい  
ただいております。近年、同  
窓会総会は、十一月三日、い  
わゆる文化の日ということに  
落つておることでもあり、  
私は、いつも、澱江とともに  
に、この日が私の脳裡より離  
れたことはありません。もし  
て、毎年のことながら、万難  
を排し、また、あらゆる予定  
を変更して、出席することに  
している経大卒業生の一人で  
もありません。それでは、私  
が、なぜ、このように経大同  
窓会総会に深い思いを寄せる  
のだろうか、ということをお  
えてみますと、それは先ず第  
一に、諸先生方を始めとし、  
同窓会員皆様のご尊顔を直接  
に親しく、あるいは遠くから

拝することが出来るからで  
す。さらにまた、学長先生、  
理事長先生、ならびに、同窓  
会会長より直接、それぞれの  
ご挨拶を静かに拝聴すること  
ができることを唯一の楽しみ  
としておるからであります。  
思えば、特に、昨年の総会  
時に、藤田理事長先生の(ご自  
身が八十何歳とか申ししてお  
られました)将来に対する信  
念を、若者顔負けの情熱のこ  
もった堂々たるお話振りに接  
しました時は、われわれ同窓  
生ならずとも、聞き入るもの  
は何びとといえども、その信  
念と、年齢を超越された若さ  
に對して、万人とも頭の下が  
る思いだったことだと感ぜら  
れました。人間、若いものは  
もろろんのこと、特に、経大  
同窓生ならば、先輩、後輩を  
問わず、あらゆる部門で、今  
や、それぞれの立場から、そ  
の業務についてご活躍を続け

られ、経大魂を最大に発揮さ  
れておられることだと思っ  
ております。しかし、私の毎日  
の職掌柄かも知れませんが  
いわゆる、年金受給等の年齢  
に到達すると、何びともはや  
や老人気分が転換してしまっ  
て、実に思いもよらぬ程の情  
ない、淋しい言葉を聞かされ  
ることがあります。それだけ  
に私は、藤田理事長先生のあ  
の情熱をこめられた信念のお  
言葉に勇気百倍、思いを新に  
させられたものであります。  
考えてみますれば、青春と  
いうものは、人それぞれの立  
場の中で、年齢を問わず、二  
十歳には二十歳の青春、五十  
歳には五十歳の青春、七十歳  
には七十歳の青春、八十歳に  
は八十歳の青春というべきも  
のがあるはずであります。す  
なわち、人世に対しても生き  
甲斐を感じ、それに向って絶  
えず精進を続けておられる方

は年齢を超越したもの、すな  
わち、それがその人の青春で  
あると思います。

それだけに私は、同窓会総  
会に出席して、毎回その感を  
深くいたし、われわれはいつ  
も青春、すなわち、自分に對  
して生き甲斐ある生活をもつ  
て、日々を賢明に力強く送ら  
ねばならないと深く感じるも  
のであります。また、同窓会  
総会に出席することによつ  
て、人それぞれに色々な友情  
が生れてくるのではないかと  
思います。学生時代の友人や  
恩師、かつての同僚、そして  
長い間逢っていない人達など  
との出会いや、親しくしてい  
た頃のあれこれの思い出、そ  
れだけで実に懐かしさを感じ  
るものであります。そこには  
何のこだわりもなく、打算も  
ない一人の人間と人間とのつ  
ながりの純粹さが、あたかも  
空気のよう私達を包みこん  
でくれる瞬間であります。  
この無念無想の純粹さこ  
そ、総会出席に導かれる大き

な基礎となり、毎日の生活に  
對してさらにその生き甲斐を  
支えてくれる一つの道につな  
がるものと思えます。私はこ  
の一年に一回の貴重な総会  
は、わが経大同窓生の友情と  
して、誰もが大切にしてい  
なければならぬ大きな一つ  
の行事でもあり、経大卒業生  
として、大切な恵まれた機会  
ではないかと存じておりま  
す。そして、それと同時に、  
われわれ経大同窓生は、澱江  
を通じ見えざる一つの糸の線  
で結ばれ、各自が思い思いの  
立場の中で自己を大事にしな  
がら、わが経大という母校を  
絶えず直視しつつ、深い友情  
のきずなを年々大きく発展さ  
せることだと思えます。個人  
的にも、どんな苦難な時とい  
えどもそれを乗り越えて、こ  
れからも、毎年送付されるで  
あろう澱江そのものを大切に  
自己の蔵書の一つとして、ま  
た、たえず我が心の糧として  
経大同窓生としての意識を高  
めるように心がけ、わが母校

経大発展のため、私共一同  
が、常に、有意義な社会生活  
を続けて行かねばなりません。  
このように考える時、澱  
江はその為にも、いつの時  
も、無言の良き激励を一人一  
人に与えてくれるものである  
と思ひ、本当にさわやかな気  
持ちに打たれると同時に、改  
めて経大同窓生としての大き  
な誇りと、自覚を強く感ずる  
ものであります。

最後に、同窓会総会に余儀  
なく参加出来得ない善意ある  
多くの方々の思いを無視した  
独断的な暴言を、特にご幻  
賜りたいと存じます。ま  
た、駄文を深くお詫びし、母校  
経大の益々の隆盛と諸先生方  
ならびに同窓会員皆様の今後  
におけるご発展と、ご健勝、  
ご多幸の程を遥かに心からお  
祈り申しあげます。

(昭和五十七年五月新縁子  
供の日、自宅において)

地区幹事の諸氏をご報告します。是非、ご連絡の上ご利用下さい。

支部長 水上敏夫(3)  
上野市田端町一〇〇四

副支部長 山辺富己生(4)

副支部長 山本利夫(5)

会計幹事 山本靖夫(30)

北勢幹事 水谷 直(32)

中勢幹事 伊藤和広(2)

南勢幹事 伊藤 孝(8)

伊賀幹事 木戸 薫(6)

紀州幹事 今西春也(6)

追記

昭和五十七年度総会は十一月の第一または第二日曜日に開催予定です。

詳細は支部長よりご連絡申し上げますので心ずご返事を下さい。本年は伊賀方面を予定(名張市)しています。

支部長 田中喜三郎

支部設立準備会を開催  
近い将来の結実を決議

昭和五十六年十一月二十八日(土)十七時、札幌のフジヤサントスホテルにおいて大阪経済大学北海道支部設立準備会を開催いたしました。今回の準備会発足にさししましては、柳幸治郎氏(二十

九回卒)(本部事務局注・その後柳氏は転勤され、現在は姫路に在住されています。)の働きかけにより、全道各地に居住するOBに呼びかけたところ、全員の賛同を得て、無事開催することができま

した。しかしながら、時節柄、九名のみのご出席でしたが、当日出席できなかった四名の方々からも祝電をいただき、わずか三時間余りの会合でしたが、出席された方々の自己紹介をかねながら経大在学中の思い出を語り合い、皆なつかしく当時は振り返っていたようです。最後にお互いの健康と健闘を誓い合い、また、次回の第一回北海道支部総会(期日は未定)での再会を約束して散会いたしました。次回にはOBの皆さんの希望にそえるような日程をくんで盛大に支部総会を開催したいと思っておりますので、ぜひともご参加、ご出席をお待ちしております。なお、今回の会合において、下記の通り役員が決定いたしましたので、あわせてご連絡いたしました。

顧問 磯谷 俊大(三回卒)  
会長(支部長) 田中 喜三郎(十回卒)  
事務局(幹事) 中明 英彦(三十八回卒)  
事務局連絡先

(本部事務局付記)  
このおめでたい二十七番目の支部である北海道支部発足のご連絡を昭和五十七年三月にいたって間もない五月二十日に事務局をご担当されることになっていた中明英彦氏(三十八回卒)が三十五歳の若さで急逝されました。北海道支部結成に努力された功績に感謝の意を表しますとともに心からご冥福を祈ります。中明学兄、「安らかに……」あなたのご努力は必ず近い将来に結実させますから……。なお、次期事務局(幹事)が決定いたしますまで、支部長の会社、すなわち

を仮の連絡先といたしますので、よろしくお願い申し上げます。

学園の近況



創立五十周年事業の実現をめざして

昨年十一月三日、同窓会総会の席上で来賓として挨拶に立った藤田理事長は、本学創立五十周年を目前にして、創立年を浪華高商開設の昭和七年とすることについて同窓生の合意を求めた。

その後、理事長は、法人の役員会、大学の教授会に対しても同じ趣旨の理解を深めながら、一方で、事務機構改革後の広報部に指示して、他の大学の記念事業実施の状況の調査を進められた。

本年三月以来、藤田理事長、鈴木学長が中心となって、学内理事と教学の主要メンバーによる、五十周年記念事業準備委員会が組織され記念事業の構想、実現のための組織等の立案が進められた。これと並行して、学内外の総力をあげて実現するために、法人の役員会、大学の教授会、更には、同窓会理事會、後援会役員会とも慎重に理解を深めてきた結果、ほぼ構

想等についての合意に達した。創

立五十周年事業案の概要は次のようなものである。

- ① 記念式典の実施、② 記念館の建設、③ 教育研究・学術振興事業の実施、④ 記念事業実行のた

創立五十周年事業の実現をめざして

事務機構の改革と人事異動

新規採用・退職・役職・海外出張一覧

江口グラウンドを整備

就職特別講演会

入試制度の改革を推進!!

めの募金、⑤ 年史編さん  
記念事業準備委員会は、以上の基本的方向を打ち出した時点で解散し、十月にはあらたに、同窓会・後援会のメンバーを加えた記念事業委員会が発足し、各事業の実施にむけて準備が進められている。

同窓生各位の積極的なご支援が期待される。

## 事務機構の改革と人事異動行わる

昨年十月、学校法人大阪経済大学理事長名により事務機構の改革と人事異動の基本方針が発表され、十一月十六日付をもって実行に移された。

その概要は次のとおりである。

### 一、機構改革

#### 〈新設部課〉

教研事務室（本館二階）  
学長・学部長の秘書的業務、教代会に関する連絡・通達等の業務、その他。

#### 電算事務室（本館二階）

教育・研究並びに事務用コンピュータの管理、事務処理など。

#### 〈改組〉

#### 広報部（本館西棟三階）

従来の入試広報業務を入試部に移管し、学内・外に対する広報活動全般、その他。

#### 入試部（本館西棟三階）

教務部長傘下にあった入試事務室を入試部として独立させ発足。入試業務全般ならびに入試広報業務。

### 二、人事異動（含昇格、課長以上）

総務部長 玉岡 浩  
(庶務課長兼務解嘱)

総務部長 田所清市  
(旧学生課長)

人事課長 野村正澄  
(旧経理課長)

同 管財課長 住井 讓  
(旧入試事務室課長心得)

経理部長 桜井弘志  
(旧広報課長)

教務部教務課長(兼)電算事務室課長 中田伊織  
(旧管財課長)

教務部教研事務室課長心得 香積弘晟  
(旧図書係長)

教務部教職課程事務室課長 米田玉男  
(旧同室課長心得)

入試部長 中谷和一  
(旧教務課長)

課長 細羽由三  
(旧体育館課長)

学生部長 山下博三  
(旧人事課長)

広報部長 石井敏雄  
(課長兼務)

図書部長 井手口茂美  
(課長兼務)

## 昭和五十七年度の新規採用は、教員八名、事務職員二名

本年四月、左記の方が新規採用となり着任しました。今後の活躍が期待されます。

経済学部 講師 吉田秀明  
(日本産業論)

同 講師 吉村幸男  
(経済原論)

同 特任教授 木村敏男  
(日本産業論)

経営学部助教授 香川尚道  
(貿易経営論)

同 講師 青水 司  
(産業技術論)

同 講師 樋口克次  
(証券市場論)

教養部 講師 瀬戸賢一  
(英語)

同 特任教授 尾崎彦朔  
(社会科学概論)

事務職員 井川知子  
(人事課)

同 三木寿美子  
(中小企業研究所)

また、昇格人事は次のとおりです。

経済学部 教授 土井乙平  
(社会政策、五七、六、一付)

同 教授 松村文武  
(米国経済事情、五七、六、一付)

経営学部助教授 鈴木滋  
(労務管理論、五七、五、一六付)

教養部 教授 住友一次  
(生理学、同、二、一六付)

同 講師 中尾美喜夫  
(体育実技、同、五、一付)

◇左記の方が退職されました。永い間どうもご苦労さまでした。

経済学部 教授 倉辻平治  
(定年により五七、三、三二付)

経営学部 教授 玉置 保  
(同)

大学院特任教授 富永祐治  
(同)

人事課職員 小田川和子  
(願により五七、四、三〇付)

なお、倉辻、玉置両先生はひきつづき特任教授として教鞭をとっておられます。

## 役職者一覧

(昭和五十七年七月一日現在)

法人理事長 藤田敬三  
学 長 教授 鈴木 亨  
経済学部長 教授 山田達夫  
経営学部長 教授 稲原康雄  
教養部長 教授 里上讓衛  
大学院委員長 教授 井上清夫  
教務部長 教授 千葉勇夫  
入試部長 教授 岡本正夫  
学生部長 教授 泉谷勝美  
就職部長 教授 高城 寛

図書館長 教授 元濱清海  
体育館長 教授 浜田幸策  
広報部長 教授 松尾竹彦  
日本経済史 教授 黒羽兵治郎  
産業経済 教授 岡本 正  
研究所長 教授 藤田敬三  
中小企業経営研究所・経営研究所長 教授 藤田敬三  
総務部長 玉岡 浩  
経理部長 内田三良

## 海外出張者は、建林教授ほか四名に決定

本学の「海外出張規程」に基づいて左記の通り出張者が決定した。

### 記

経済学部 教授 建林 隆喜  
(昭五十七年七月から一年間)  
ドイツ民主共和国  
社会主義経済統合の調査研究  
同 助教 竹本 洋  
(昭五十七年四月から一年間)  
アイルランド

重商主義の歴史的、理論的研究  
経営学部助教授 渡辺 大介  
(昭五十七年四月から一年間)  
イギリス

イギリスにおける一九世紀の管理  
会計の調査及び中世イタリア商人  
の会計帳簿の閲覧  
教養部 助教 森川 滋  
(昭五十七年四月から一年間)  
イギリス  
イギリスにおける地域問題と地域

## 六、〇〇〇万円をかけ

### 江口グラウンドを整備

第二学舎、江口グラウンド(摂津市別府 面積一七、二四四㎡、五、二二六坪)は、多目的グラウンドとして体育実技授業と硬式野球部、ラグビー部、サッカー部等学生課外活動の中心としてフルに活用されてきた。しかし、従来から地形上排水不良で、降雨がある

円をかけ、約六、二〇〇㎡の盛土(ダンブ七〇〇台、最高六一cmかさ上げ)によるグラウンド改修工事を行い、今年三月完成した。現在はグラウンド状態は良好で、本学体育活動のより一層の充実と発展のため、多くの学生諸君に利用されるものと期待される。

と極端にグラウンド状態が悪くなり、雨後二、三日は使用不能となり、学生及体育関係者の長年の悩みの種となっていた。このたび昨年十二月より総工費六、〇〇〇万

## 就職特別講演会

五月十一日(火)午後二時から、D館十六号教室において、野村証券株式会社専務取締役井阪健一氏(19)をお迎えして、「最近の経済状況と就職について」と題して就職特別講演会を開いた。大教室は学生たちの熱気で充満、なかにはテープをとったり、ノートをとる顔も



真剣そのもの、終始井阪先輩からの社会人になる心構え、自分の一生を託すべき会社を選べ、など懇情あふれる講演に、学生たちは魅了されていた。講演の要旨は次の通り。

ご紹介をいただきました井阪でございます。先ほど映画をご覧いただきました。これは証券界だけの話しをするのがいいのか、野村証券の話しをするのがいいのか、色々と考えたのでありますが、証券界から見た「日本の産業・日本の会社」、こういった点にやや視野を広めてお話しした方が、皆さんのご理解がいただけるでしょうし、皆さんの就職先として、選択する幅が広がるのではないかと、いうことで、あの映画(エレクトロニクス・イン・ジャパン)をご覧いただいた次第であります。これは日本の企業、日本の社会が、今後十年二十年先にどういうふうに変っていくだろうか。そして特に今、半導体を中心として、マイクロチップレポリューションと言

われておりますが、非常に小さな素材が世の中を大きな勢いで変えていく、この様を描いた映画であります。それから、これを作っている企業が、これからの成長産業になるだろうというふうには、私は確信をもって見ております。この波は、十年二十年ぐらいで終わるのではなくて、今後五十年とか六十年とかのかなり長い期間にわたって、この技術革新はつながらざるであろう、そういう前提で私どもは考えております。そういうことで、これが発展すればするほど、社会の構造の仕組みも変わるので、ようし、企業のあり方も変わってくるだろうと思えます。ということを進めてまいりたいと思えます。

自分の一生を捧げる会社を選べ  
最初に、就職に対する考え方でも申しますが、やや堅い話をいたしますが、就職というのは男の人生にとって大きな節目だろうと思えます。男は生きていく上で自ら進んで選択し、決断しなければならぬ時が、二回あると思えます。一つは就職の問題、もう一つは結婚の問題だろうと思えます。

経営哲学に一本の筋が通っている会社でないと、私は自分の一生を捧げるには、どこか物足りないものを感じるのではないかと思えます。

将来性のある企業を選ぶ  
次に、これからの成長産業は、何かあるだろうかということでもあります。一つはエレクトロニクスで、産業用エレクトロニクスの将来性というのは、非常に大きなものがあります。そして今、バイオテクノロジーとか、バイオケミカルとか、遺伝子工学とか言われておりますが、遺伝子を置き換えることによって、種を変えよう、新しい製品を出そう、新しい薬品を出そうというような企業が、これから大きく出てくると思えます。薬品会社とか、化学会社はこの範疇に入ります。そしてこの分野は、食品にも大きく広がっていくと思えます。こういう技術革新にのる企業を考えられることが必要だろうと思えます。成長産業を選ぶということとは、西暦二〇〇〇年になると皆さんは四十歳になると思いますが、男の働き盛りの時に、自分がこの会社を盛り立てて

きたんだと、自分が働いたからこの会社は大きくなったんだと、自分の貢献と会社の発展が同じ道を辿るように、そういう会社を選ぶことが必要だろうと思えます。そして、その会社の発展に貢献できるといふこと、その会社の仕事を通じて自分が成長できるということ、この二つを満足させる会社は、小さい会社であっても、今は未だ名前が売れていない会社であっても、皆さんが一所懸命働くことによって、その会社をよくすることが出来ます。

### トップ・マネジメントは文科系が多い

次に、文科系の人、どういう会社を選んだ方がいいのかと言いますと、技術革新にのる会社で、特に営業は皆さん方が活躍する大きな舞台であると思えます。こういった技術の会社であっても、物を作る会社であってもトップになるのは、文科系の人と技術系の人と、大体半々か、六対四で文科系の方が多くトップになっております。つまり、技術系の人にはスペンヤリストとしては非常に優秀であり、新しい技術を開発されるので

す。しかも日本の社会環境の中では、就職の占めるウェイトは非常に高いわけであります。途中で変わるということとは、どうもあの人間は尻が軽いか、気まぐれであるとか、その人の信用が問われたりする場合があります。今の世の中では、そういう風潮もやや変わりつつありますが、未だ日本の企業は終身雇用制であります。終身雇用制なるがゆえに、日本の企業の発達も発展も、最近アメリカの企業を追い抜いて、隆々と伸びているのであります。私は終身雇用制というのは、大きくあずかって力があるというふうには思いません。そういったことで、最初の就職とを占めますので、このあたりのことはあらゆる情報を集めて、慎重に選択されることが必要かと思えます。そして、企業というのは一つの社会構成単位です。上は会長・社長・年齢でいえば七十歳から、下は今年卒業した十八歳ぐらいの女子社員に至るまで、あらゆる年齢層の人間が、それぞれ考え方も時代も違う、人生経験も違う、そういう人たちが集まって構成しております。それから、一番

ありますが、ゼネラルスタッフとして、またトップ・マネジャーとしての平衡感覚とか、世の中の動きとか、大局感、それと労使関係、人と人との人間関係、このあたりの調和をうまくやるのは、やはり文科系の人が得意のようでもあります。もちろん技術系の人でも、そういう分野が得意の方もおられますが、一般的には文科系の人がいまいいようであります。一方、商社とか流通関係とか金融、こういった業種も非常に活躍する範囲が広いようでもあります。また証券会社も、私は一度じっくりと研究される必要があるかと思えます。

### 面接では自分を強く印象づける

次に、面接の受け方といいますが、そういうことを若干お話ししたいと思えます。私も採用試験に立ち会っておりますが、面接の時に我々は何を見るか。それは学校の成績ばかりではありません。元気のいい学生は魅力がないのであります。元気があるということ、声が大きければいいのかというところで、大声を出す人がいます。これはそうではなくて、何か一つ学生時代に自分の情熱をぶち

こんでおった、ぶちこんで自分はこれをやってきたんだというような、何かを持っている学生が欲しいわけでありませぬ。それは野球でも結構です。サッカーでも結構です。ラグビーでもスキーでも結構です。ポートでも何でも結構です。そういう青春というものは、何かをかけてきて、かけてきた中で何かを掴んでいるはずであります。そういうものが欲しいわけです。あります。自信を持って相手に伝えられる何かを持っている人は、面接では有利だろうと思います。かといって今から急に、野球を始めめるわけにもいかないでしょうが、学生生活で自分はこれをやっただと、はっきり相手に言えるようなものを持って下さい。そして、そのことが期せずして元気を感ぜさせるだろうと思います。それから結果が悪くても、くよくよしないことです。試験を受ける前から結果のことを言うのも何ですが、あまりくよくよする必要はないのであります。というのは、企業は同じタイプの人間を十人も二十人もいらぬわけでありませぬ。個性を欲しているのでありますから、その意味で自分をストレ

ートに出せば、会社がその人となりを汲み取ってくれると、私は思います。必ず諸君を必要とする会社が出てくるだろうと思います。それから、態度はハキハキした方がよろしいし、語尾は最後まではっきりと言うことが、面接で自分を強く印象づけるコツだろうと思います。皆さん方は何社か受けられると思いますが、一回目のところであまりいかなくても、早く負け戦を忘れることであります。我相場の世界で、相場がうまいと言われる人は、負け戦をうまく忘れることが上手な人であります。精神的なスタミナを回復して、次に進みりカバリもするわけでありませぬ。男の人生とは、そういう要素もあろうかと思ひますので、取上げて申し上げた次第であります。

#### 入社したら積極的な気構えで

最後に、会社へ入ってからどうか、社会人になってからのことについて、二、三話しておきたいことがあります。一番目は、常に自己啓発をしていくことだろうと思ひます。会社は勉強せよ、勉強せよとあまり言いません。それだ

## 推薦入学の充実など 入試制度の改革を推進!

文部省は、大学設置計画分科会の答申「高等教育の計画整備」の趣旨に基づき、大都市での私立大学の設置、学部学科の増設、又は定員増は、特に必要と認められる場合を除いて認可しないとの厳しい方針を今後もとっていくという状況の中で、本学が将来の発展計画を樹立することはそう容易なことではない。

しかし学内では、本学のより一層の発展を願ひ、理事会と教授会とが連絡をとりながら将来の計画について話しをすすめているところであり、具体策の一つとして定員増(実員の定員化)等が、目下、学内関係機関の討議に付されているところである。

また、従来からの課題となつてある私学の質的充実については(1)学生定員超過の是正、(2)教員の増員、(3)教育・研究条件の改善、(4)奨学金貸与制度、給費制度の拡充、(5)学生の課外活動と厚生施設への援助など、その実現に向つて

鋭意努力を重ねている。

去る六月、自民党文教部会会「高等教育問題小委員会」が行つた大学入学者選抜に関する提言の中で、「私立大学は独自の学風、建学の精神を確立するため、多様な推薦の方法を採用し、各種の資料や小論文、面接、実技検査等を一層活用すべきである」と述べ、文部省、私大関係者の間に賛同の動きが見られるが、偶然にも本学は、そのような趣旨のもとで、昭和五十七年度には商業科推薦入学を実施し、さらに五十八年度から指定校制推薦入学並びに特技(スポーツ)推薦入学制度を実施することを決め、入試制度の改革にも取り組んでいるところである。

今年には本学創立五十周年にあたることから、これを記念していくつかの記念事業が計画(三年計画)されつつあり、全学挙げて飛躍の一ステップにしたいと関係者一同意気込んでいるところである。

## 57年度入試結果

### 1. 志願者・受験者・合格者・入学手続者数および倍率

#### (1) 一般入試

1・2部	学部	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数	倍率
第1部 (昼)	経済	6,318(35)	6,166(34)	1,679(14)	662(4)	3.7
	経営	6,044(40)	5,901(38)	1,757(13)	634(7)	3.4
	計	12,362(75)	12,067(72)	3,436(27)	1,296(11)	3.5
第2部 (夜)	経済	833(4)	807(4)	265(2)	120	3.0
	経営	652(6)	636(5)	284(2)	144(2)	2.2
	計	1,485(10)	1,443(9)	549(4)	264(2)	2.6
合計		13,847(85)	13,510(81)	3,985(31)	1,560(13)	

( ) は女子内数

#### (2) 推薦入学(商業科対象)

学部	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数	学数
第1部 (昼)	経済	8	8	8	8
	経営	15(2)	15(2)	13(2)	13(2)

( ) は女子内数

### 57年度 入試結果

本年度の志願者数は、昨年と比べ第一部で一、〇三八人の減少、第二部で三二人の減少となりました。五十三年の一八、九八八人をピークに減少傾向が続いています。また、初めての推薦入学制度である「商業科を対象とする推薦入学」を実施しました。もちろん今後の追跡調査の結果を待たなければなりません。非常に厳しい出願資格であったため、それぞれの高校でのトップクラスの優秀な学生が応募し、とりあえず所期の目的は達せられたと思ひます。

## 三回生への就職講演会



けに、自分で本を読むとか、この仕事についてはナンバー・ワンになるんだとか、そういう気概を持って社会生活することだろうと思ひます。二番目には、間違いを恐れなさいと聞いています。これは若さです。特に若い時は、積極的な気構えで仕事にぶちあたるとだと思ひます。三番目には、自分の評価は自分でしないことでもあります。会社に任せて、会社の目

を信頼することだろうと思ひます。そうしますと、自ずからいい運が向いてくるはずであります。私はそういうふうに確信いたします。終りに、皆さん方がすばらしい会社を見つけれられて、すばらしい会社に入社されて、よい人生を歩まれることを期待して、私の話しを終わらせていただきます。(拍手)

昭和五十六年十二月十一日(金)午後二時から、D館五十一号教室において、小林経営研究所所長小林靖和氏(2)を迎えて、三回生向け就職講演会が行われた。どのようにして就職戦線を切り抜け立派な社会人になるか」と題して、求人情報のとらえ方、営業報告書の分析の仕方、経済情報マンとしての深い知識を、後輩の学生たちに懇懇と話され、面接の受け方などはゼスチャアを交えながら、巧みに話を進め、学生たちは熱心に聞き入っていた。



2. 府県別合格・入学手続状況（全学部）

府県	志願者	合格者	入学手続者	府県	志願者	合格者	入学手続者
北海道	3	1	1	近畿	兵庫 3,286(20)	1,065(10)	408( 3)
青森				奈良	479( 1)	127	52
岩手				和歌山	489( 1)	124	56
宮城	3			小計	11,610(62)	3,388(19)	1,320( 8)
秋田				全体比	83.8%	85.0%	84.6%
山形	2			鳥取	121( 1)	30	11
福島	1			島根	100	21	8
茨城	1			岡山	435( 2)	140( 1)	58( 1)
栃木	2			広島	303( 1)	61( 1)	25( 1)
群馬	1			山口	112( 3)	29( 2)	10( 1)
埼玉	5	1		小計	1,071( 7)	281( 4)	112( 3)
千葉	10	3	1	全体比	7.7%	7.1%	7.2%
東京	18	10	1	徳島	109( 1)	16	5
神奈川	8	1		香川	268( 5)	93( 2)	30
小計	54	16	3	愛媛	80( 3)	17( 2)	10( 1)
全体比	0.4%	0.4%	0.2%	高知	59( 1)	10( 1)	4
新潟	6	1	1	小計	516(10)	136( 5)	49( 1)
富山	40( 1)	13( 1)	3	全体比	3.7%	3.4%	3.1%
石川	97	28	15	福岡	50	14	5
福井	102	28	11	佐賀	12	4	2
山梨				長崎	46( 1)	9	5
長野	3	1	1	熊本	33	17	8
岐阜	34	8	6	大分	36( 1)	10( 1)	5
静岡	23( 1)	6	3	宮崎	14( 1)	4	1
愛知	50	13	5	鹿児島	30( 1)	3( 1)	2( 1)
小計	355( 2)	98( 1)	45	沖縄	4	1	1
全体比	2.6%	2.5%	2.9%	小計	225( 4)	62( 2)	29( 1)
三重	130( 1)	40	14	全体比	1.6%	1.6%	1.9%
滋賀	329	95	43	検定・外国	16	4	2
京都	1,042( 8)	258( 1)	95( 1)				
大阪	5,855(31)	1,679( 8)	652( 4)	合計	13,847(85)	3,985(31)	1,560(13)

\* 出身高校所在地別（ ）は女子内数

志願者の地元志向の傾向が強くなっており本年度入学手続者の約85%が近畿地区でした。5年前と比べて10%増です。

58年度  
推薦入学要項

昨年の全国の商業高校および商業科のある高校を対象とする推薦入学に続いて本年度より指定校制による普通科高校対象の推薦入学と新潟県・長野県および静岡県以西の高等学校に依頼する特技（スポーツ）推薦入学を実施することになりました。

〔商業科対象〕

- 一、募集学部・募集人員  
経済学部 第一部 経済学科 十名  
経営学部 第一部 経営学科 十名
- 二、推薦依頼校  
商業高等学校および商業科のある高等学校
- 三、被推薦者数  
各依頼校より各学部一名。

四、出願資格

ただし、同一人が両学部に重複して推薦を受けることはできない。

- (一) 昭和五十八年三月に商業科卒業見込みの者
- (二) 本学当該学部を第一志望とする者
- (三) 向学心に燃え、かつ人物優秀で健康な者
- (四) 高等学校三年一学期までの学業成績が商業科学年全体の上位5%以内の者
- (五) 日本商工会議所主催の簿記検定二級以上または全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定一級（工業簿記・会計の両者を含む）を取得している者

五、出願期間

十一月十九日（金）～二十六日（金）（郵送に限る）

六、選考方法

- (一) 書類選考
  - (二) 小論文
  - (三) 面接
- 七、選考期日および合格発表  
(一) 選考期日 十二月五日（日）  
(二) 合格発表 十二月十一日

八、入学手続  
十二月十三日（月）～十七日（金）

九、選考料  
一万八千円

〔普通科対象〕

一、趣旨

本学で勉学することを強く希望する優秀な生徒を高等学校長の推薦によって入学させ、本学の学風振興の一助とし、あわせて従来の入学試験に伴う弊害の軽減に寄与することを目的とする。

二、募集学部・募集人員

経済学部 第一部 経済学科 四十名  
経営学部 第一部 経営学科 四十名

三、推薦依頼校

本学が指定する高等学校各依頼校より当該学部一名

四、出願資格

- (一) 昭和五十八年三月に普通科高校卒業見込みの者
- (二) 本学当該学部を第一志望とする者

七、選考方法

- (一) 書類選考
  - (二) 小論文
  - (三) 面接
- 八、選考期日および合格発表  
(一) 選考期日 十二月五日（日）  
(二) 合格発表 十二月十一日（土）

九、入学手続

十二月十三日（月）～十二月十七日（金）

十、選考料

一万八千円

〔特技（スポーツ）〕

一、趣旨  
本学での勉学を強く希望し、かつ高等学校で涵養された秀れた素質を持つ者を適正に評価することによ

推薦入学の充実を



特技（スポーツ）推薦入学出願資格(3)の基準

種 目	成 績		備 考
	個人成績	団体成績 (正選手に限る) 府県大会	
柔 道	8 位	府 県 大 会 16位	86kg 級以上を対象とする。 ただし新人大会のみは体重に関係なく 1・2年生の部を対象とする。
剣 道	8 位	府 県 大 会 16位	
陸 上 競 技	6 位 (駅伝のみ)	府 県 大 会 6位 地区駅伝大会区間タイム6位	
競 技 ス キ ー		府 県 大 会 6位	
硬 式 野 球	8 位		府県大会5位から8位までの者に限って は個人打率3割以上、守備率8割以 上、防御率3.00以内の者とする。 ただし打率については打席数、守備率 については試合数、防御率については 投球回数を記入すること。
※ 準 硬 式 野 球	8 位		
硬 式 庭 球	8 位	府県大会シングルス 16位 府県大会ダブルス 8位	
軟 式 庭 球	8 位	府 県 大 会 8位	
卓 球	8 位	府県大会シングルス 16位 府県大会ダブルス 8位	
バドミントン	8 位	府県大会シングルス 16位 府県大会ダブルス 8位	
サ ッ カ ー	8 位		
ラ グ ビ ー	8 位		
バスケットボール	8 位	府県レベルで選抜された優秀 選手、強化選手、および国体 候補選手。	
バレーボール	8 位		
ハンドボール	8 位		

※ 高等学校での競技成績は硬式野球のものとする。

(注) 団体競技（硬式野球・準硬式野球・サッカー・ラグビー・ハンドボール・バスケットボール・バレーボール）で表にかかげる成績以下であっても、特にすぐれた素質を有する者については下記による出願をみとめる。

- 府県高等学校体育連盟各専門部の部長および委員長の推薦する者。
  - 府県高等学校野球連盟の会長および理事長の推薦する者。
- 上記(1)・(2)により出願する者は別紙「推薦所見」を添付すること。

58年度入試要項

(1) 学部・学科・入学定員

学 部	学 科	入学定員
経済学部 第1部 (昼間部)	経済学科	400名
経営学部 第1部 (昼間部)	経営学科	400名
経済学部 第2部 (夜間部)	経済学科	100名
経営学部 第2部 (夜間部)	経営学科	100名

(2) 試験日・科目・時間・配点

試験日	教 科	科 目	時 間	配 点
経済学部 (1・2部) 2月9日 (水)	外国語	英語 B	70分	150点
	国 語	現代国語 古典 I 乙	70分	150点
経営学部 (1・2部) 2月10日 (木)	選 択 科 目 (1科目)	政治・経済、日本 史、世界史、地理 (A・B共通) 簿記会計 I・II	70分	150点 (計450点)

- ① 地理 (A・B共通) は地理A、地理Bの共通分野から出題する。
- ② 簿記会計 I・II は簿記会計 I および簿記会計 II (ただし工業簿記、原価計算を除く)。

(3) 試験場

試験地	試 験 場	所 在 地
大 阪	大阪経済大学 (第1部)	大阪市東淀川区大隅2
	大阪北予備校 (第1部)	大阪市淀川区十三東1-20-10
	夕陽丘予備校 (第2部)	大阪市天王寺区堀越町6-3
姫 路	姫路市農業協同組合 姫路予備校	姫路市北条220 姫路市東延末211-5
高 松	高松国際ホテル大ホール	高松市木太町2191-1
広 島	広島英数学館	広島市中区小町8-32
福 岡	水城学園長浜校舎	福岡市中央区長浜1-3-1
金 沢	北陸放送MROホール	金沢市本多町3-2-1
名古屋	河合塾名古屋校	名古屋市中村区亀島2-6-6

(4) 出願手続・合格発表・入学手続

- ① 入学案内書 (願書) 11月上旬発売  
〒共900円
- ② 検 定 料 18,000円
- ③ 出願期間 1月13日(木)~1月27日(木)必着  
郵送に限る。
- ④ 合格発表 2月19日(土)
- ⑤ 入学手続 ①入学金締切 2月28日(月)  
②学費等締切 3月23日(水)

て、本学の学風振興の一助とすることを目的とする。

二、募集学部・募集人員  
経済学部 第一部 経済学  
科 三五名  
経営学部 第一部 経営学  
科 三五名

三、推薦依頼校  
新潟県・長野県および静岡県以西の各府県の全日制高等学校

四、被推薦者数  
各依頼校より各学部一名。  
ただし同一人が両学部に重複して推薦を受けることはできない。

五、出願資格  
(一) 昭和五十八年に高等学校卒業見込みの者  
(二) 本学当該学部を第一志望とする者  
(三) 高等学校在校中、課外活動

六、出願期間  
動としてスポーツを行い、その成績が顕著であり(別表参照)、スポーツマンシップに富んだ心身ともに強健な者で、入学後当該課外活動を引き続き行う意志強固な者  
(四) 高等学校三年一学期までの学習成績概評がC段階以上の者

七、選考方法  
十月五日(火)~十二日(火)  
(一) 書類選考  
(二) 小論文  
(三) 面接

八、選考期日および合格発表  
(一) 選考期日 十一月五日  
(金)  
(二) 合格発表 十一月十三日  
(土)

九、入学手続  
十一月十五日(月)~十九日(金)

十、選考料  
一万八千円

## 新制大同窓生から一言

### 座談会

# 明日の経大はどこへ行く

共通一次試験実施以来「共通一次世代」といわれ、とくに経大生は覇気がないとか、冒険心が足りない、ユニークさが無い、いい子ぶりの若ものがふえているとか批判され、また地盤沈下の大学危機に立っているとも叫ばれている昨今、大学は五十周年を迎えようとしています。この時、新大卒生はOBとして、明日の経大に何を求め、何を訴えようとしているのか、自分たちの通ってきた学生時代と対比させながら、現在をみつめ、さらに未来の経大像を築き上げるため、一堂に会して、熱気こもるフリートークを行いました。

## 社会人OBから 見た経大生

私の会社には経大卒がたくさん入って来ておりますが、私たちが入社当時は、時間の許す限りは何か仕事を探してやったもので。最近はこちらも忙しいから放っておくと、何もしない。最近の新卒生は自分から積極的に仕事を探してやるという気がまずない。指示すれば、その範囲内のことはするが、自分から探してまでやるという事はない。これは何も経大生だけに限ったことではありません。

——今月の初め頃でしょうか。七時頃、食事をしていたら電話がかかってきて、後輩の卒業生からだという。電話口には私が出ると、即、金儲けの話なんです。われわれの時代ですと、一度挨拶して、お会いしてからという

話にもっていったと思います。だが電話の主は、すぐ〇〇を買ってくれという話にもっていくので、その言いかたはおかしいと注意した途端「ハア、そうですか。さようなら」がチャンです。金になるなら先輩を利用し、金にならなかったら、さようなら。われわれの時には、まず会いたいという気持がありました。なのに。クラブは先輩・後輩のけじめがきちんとしてましたから、そういう問題にはならんと思います。クラブ活動もしない。ゼミにも入らない。単位だけとって卒業した人には、先輩後輩のけじめもない傾向があるのではないかと、残念に思いました。クラブとか、授業以外のところでも頑張っているものかと希望します。

——率直に言います、私は現在、自動車ディーラーとして人から嫌がられている職種の一つについておりますが、その中から見ている限り、今の若い人の資質は、私大卒であるうと、超一流といわれている国立大卒であるうと、同じような若もの像といえるので、経大生だから、とくにどうこうと一概にいえません。色いろいろあります。最近の学生は自己本位だとか、色いろいろありますが、それは今日の時代と、今日の企業がそうさせているのだと感じています。

——私のところには自動車部の学生が、年二回ほどくるんです。私が顧問している関係上、くると遠征とか色いろいろ相談するわけですが、その連中に話を聞いても、私は自分が卒

### 出席者

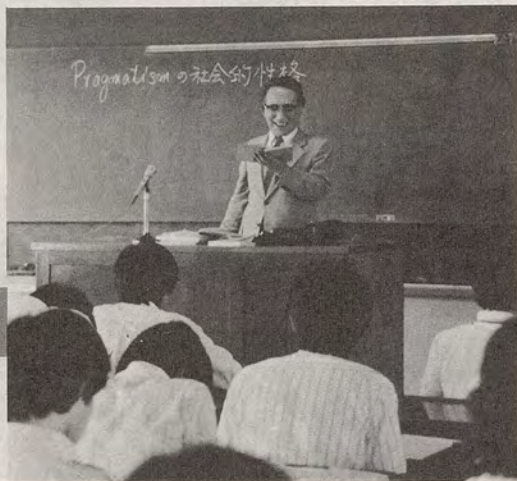
川野群平	(20)
山村恭造	(20)
奥山正美	(21)
谷口一郎	(22)
西本集一	(23)
水納敏也	(25)
逸見啓	(32)
森政彦	(33)
片山剛征	(36)
司会者 比企重	(7)

業してから今日まで付合っている学生と変わらないし、むしろ非常にしっかりした学生がいる。頼もしいと逆に考えることがよくあるんです。しかし、そのしっかりした学生でも、「今、学長さん誰や」「理事長さんは誰や」「さあ」で、やはり無関心なのか、また大学ではそんなことは教えておかないのか、と先輩の立場からすれば、情ないと思います。

——お聞きしていると、かなり悪い面の話がありました。私はベケでない、マルの話をします。ここ十数年の間に、母校のいくつものクラブから企業広告を出してくれといってくる。ところが、これが先程の「さようならガチャン」でがっかりさせたベケの学生と同じ大学の学生だろうか、と思えるほど、心情的にも、社会人としてのマナーよろしく懇切丁寧で、感心している人たちがいる。クラブの部長は年々交替していくが、代々そのクラブは、気風が受継がれていって、僅か一、二万円の広告代を貰うために、足繁く、礼を尽して先輩のところへ頂きにくる。まさしく頂きに何うという姿勢であります。さすが、わが経大だ。母校の学生だと思っております。それからもう一つ、マルの話。私の五年、或いは十年位後輩が、メイン取引先の会社に課長として。また、メイン取引銀行の支店長に。この二人を見てみると、商法上、社会通念上からみても、先輩後輩というつながりからみてもきちんとしているし、なお、仕事の面でもよく頑張っている。経大



五十七年六月二十日(日)北区トキワビル二階で編集部長の招集により、標記座談会を行いました。  
紙面の都合上、要約したものです。



の伝統精神であるガンバリズム、バイタリテイ、研究心、まさしくそれを地でやっている人で、マルをつけたい。経大生も、私の知らないところでは、危惧の面もありましようが、企業から見た後輩という面では余り悲観しておりません。大変だ。大変だという感じは受けていないのです。

### 経大は上位ランク

この考え方の参考として、今年四月十一日号の『サンデー毎日』に、「昭和生社長群像」というのが載っているんですが、それを見た方は「よくぞ経大を出た」という感じを受けられたと思う。全国で、小企業まで入れると数万、いや数十万の会社のあるなかで、経大卒の社長は三六九名、三十八番目に多い。経大卒がそういうランキングのなかに堂々と上位にいる。しかも、関西地区の大学だけをみれば十二番目、また、『帝国タイムス』二月三日版によると四二八名、五十一位。関西地区だけの順位は十六番目。さらにまた、『関西版・帝国情報』三月一日版によれば、大阪府下で一九五名、十九番目を占めている。それらの点からみても、経大の学生たちは、入る時、出る時の難関は色いろあろうけど、社会に出ればよくぞ頑張っている。大学の伝統はある時代には太く、ある時代には細いが、連続して旧制から続いている。経大の黒正イズムというか、経大イズムの伝統精神は生きているという感じですよ。

とで、大きな大学に対して、先生がたは非常に、激しいライバル心と、同時に愛校心みたいなものがあったと思うのです。その先生がたから、多くのバイタリテイを貰ったと思っています。一人ひとりの先生から、教育の情熱を肌で感じてきました。

——現在、私は教師として、また学生を送り出す側の批判を受ける立場にもおるわけですが、どこの大学でも、世にいわれている若もの像は似たり、よったりのものがあります。けれども学生を受け入れる側が、つまり大学がどういう肥料をやるかということにかかっていると思うんです。その肥料が適切ではないという批判は、甘んじて受けなければならぬと思っています。

——私は三十七年に経大に入学しました。高校時代は国立大学を目指していたんですが、七科目以上勉強しなければならぬ。そこで調べたところ、大阪に大阪経済大学があった。規模は小さいが、国公立的なよさもあった、特色のある大学だと聞いて、入学したわけです。入ったら、浪華高商から昭和高商になる時、黒正先生を中心に、学者グループで学校を建て直し、安い学費で、金持の子でなくても、勉強したいものは入学させて、やっていこうというバックボーンがあった。丁度入学した頃の経大は登り坂の時、経営学部が出来、大学院ができた時期ですが、その当時の先生がたは、京大や市大の若手の先生がたが頑張っておられた。いい雰囲気があ

現代の若もの、ひいては経大生のベケの話が続いたあとの、マルの話なので、一同ほっとした面持ちで話に聞入っていました。

## それぞれの

### 当時を振り返って

——私は二十二回卒で、昭和二十七年から三十一年の頃で、食物もまだ不十分、貧しいのが当り前の年でした。社会的、経済的ハングリーのなかで入学し、卒業は不況の真只中の三十一年、大企業といえるのは毎日新聞社と、住友銀行の二社位の求人、中企業は十五社、小企業が二社、全部黒板に表示してあったと覚えています。しかし、卒業は四〇〇人、こういう社会の貧しさのなかに放り出されたという状況でした。その点、今の学生は社会的、経済的にも余りにも豊かですが、本質は果して豊かなのでしょうか。

——私は学生時代を振り返って、一番思い出になるのは学生寮におったこと、ゼミナールに参加したこと。この二つのなかで、いい先生や友人に出会えたことなんです。

——私は四十一年の卒業ですが、私の学んだ時の経大は、新設の大学は別として、大きな大学に比べると遅れをとっていたというこ

りしました。

## これからの

### 経大に望む

——私は会社の営業部におりますが、人事関係に長くおりましたので、最近新人採用のために、学校を回っているんです。この頃、「関関同立産竜甲工」といわれているのをご存知ですか。こういうところは学生数も多くなっているし、一般的に名前が知られているということですが、私は経大を出てから古いんですが、学校の名前が売れているということも、一つの評価だと思います。売り方には色いろあるでしょうが、とにかく学校の名前を売ることだと痛感しています。

——自動車部の学生に「今、何をしていますか」と聞きますと、「ラリーの練習をしています」といいますが、それじゃ経大自動車部の特長は何かというと、「さあ」ということになる。私はいつもいっているんですが、経大にいったら、経大の自動車部に入ったら、他の大学にない何かがあるというものを作ったかどうか。例えば、われわれの会社には資料がある。しかし、時間がたてば時効になってしまうという資料なんです。そういうのが沢山ある。そういう資料集めをしたらど

うか。自動車に関して、経大の自動車部に行ったら、全部わかるというものを作ったらどうか、と言い続けているんです。たまには前向きに進み、たまには挫折しているようすが、われわれももっと力を入れてやらなければと思っっているんです。

——関関同立という語呂のいい言葉で、関西の有名私学を代弁していますが、そこを出た者がみな立派かという、決してそうではない。みな条件は同じだと思ふ。しかし、世間一般からは関関同立という言葉がでてくる。それは何か。そこを出た人たちが胸を張って、入社した企業で仕事ができる。まずそこに一つハンディキャップがつく。それは経大という名前が売れていないからだ。経大という名前を売ろうと努力しないからだと思ふ。

——今の大学は何故こういう状態になってきたのだろうか。これはわれわれの企業も同じことです。一つの会社をよくしていく場合、一つの拠点が非常によくなる場合は、この経営者と管理者と社員が一体となって、初めて大企業になってゆく。果して、現在の経大にそういうものがあるだろうかということとです。ところが今の経大の一つのポイントになってくるのはありませんか。学生はこの大学を出れば、こういうポリシーがあつて、こういうことで社会に受入れられていくんだ。たとえば、社会に受入れられなくても、自分としてどういうことを勉強してきたん

だ。そこらが必要になってくるんじゃないかと思ひます。

——今は、教員・職員ともサラリーマン化して、昔のような聖職的なものは薄れてしまっている。元気のいいのは学生だけじゃなくて、学校全体がたるんでいるのじゃないかと思ひます。地盤沈下だとかマイナス面ばかりいふのではなく、当然、反省の上で責任を踏まえながら、前向きにいい意味のツツパリみたいなものがあつてもいいじゃないでしょうか。

——大学がビジョンをもって、かくかくするという目標があれば、学生に希望、ビジョンをもたしてやったら、学生も今までと違って、少しでもいい方へ変っていくと思ふ。そういうことがとくに経大には欠けているのではないか。ここらは大学も考えてほしい。

——昔、入試の際に、総合点だけでなしに、英語の採点のいいものをとったと聞いています。これからは何か特色を出して、英語のずば抜けていいものをとり、また語学力を強める教育に力を入れて、特色としたらどうでしょうか。

——勉強したい学生のためには正規のカリキュラムだけでは不足で、先生に余分の時間をさいて頂き、先生の専門を生かして、特講コースなどを開設して、学生に社会へ出てからやれるよう素地を作つてやつてほしいものです。教育がおざなりでは、学生もおざなりになってしまいます。



——これから先の経大のことを考える場合、他の先進私学や、後進私学がうちを抜いている状況のなかで、同じような私学には負けておられないというために、経大は何をやっていくのか、やはり昭和商時代のもの、もう一度考え直して、経大の経営哲学というか、みんな一丸となって推し進めるビジョンを、どういうところへもつていくのか。その辺の判断に非常に迷いがある段階ではないかと思ふんです。

——私は、自分の子供が高校を出るまでは、大学に対して関心がなかった。子供が大学に行くようになって、入学式や、文化祭など、色いろ親として参加するようになって、やっと大学というものを考えるようになってきた。子供の大学（経大ではない）のファミリー的雰囲気というか、大変感銘を受けました。大学というところは、親の気持ちになって子供を教育してくれている。有難い気持ちにもなり、これが連帯感となり、学校に対する愛着、先輩に対する尊敬が、学生生活のなかで醸成されていくのだと教えられました。

——今、経大は大変な時期に来ているのだと聞いておりますが、第四志望でも、第五志望でもいい、一たん経大のなかに入ってきたら、経大イズムで育ててゆくのだというところ、そのなかで一番問題なのは、学長はじめ各教授が、学生に対するプロモーションに遅れをとっているんじゃないかと思ひます。やり方がまずいんじゃないかと思ひます。

のではないかと思ひます。大学の評価を全部、学生の所為にしては、学生が可哀相。トップクラスの努力がなされて、初めて学生はどうなんだという議論をしないと、学生にばかり責任を転嫁するのは、間違っていると思ひます。

——経大の未来像は、昔からいわれている融和の精神を温存して、これは僕らのバックボーンですから、この看板は降してはいけません、今の若い人にフィットするようなものに、アレンジする必要はあると思ひます。今風にアレンジしてやったら、学生も自信を取り戻し、よくなるのではないのでしょうか。

——もし、経大が落込んでいるとすれば、それはポリシー不足ではないか。言ひ方を変えれば、リーダーシップは誰がとっているんだ、ということになります。理事会に力があるのなら、大学院を作りながら、学者を育てない。何のために作ったのかと言ひたい。先生が自身に危機意識があるのかどうか。俺は経大をこういう風によくしたいんだという熱意のある人が、リーダーシップをとらなないと新しいビジョンは出てこない。叩かれても、殺されてもやるという人が、リーダーシップの中心にいないところに悲劇というか、心配な点があると思ひます。このように引張る人がいて、新しいビジョンをもち、もっているビジョンを早く前面に押し立ててやれば、私は自分の出身大学でもあるし、ユニークな大学



になると思います。ユニークな大学だと今でも思っているし、これからもユニークな大学でいてほしいと思っています。

——今でも私は経大に行くと、職員の方からも「どうしている？」と声をかけて下さる。何となく、ファミリー的な雰囲気というのはうれいすね。

——女の子が少いですね。女の子を入れるのにハンディをつけるとはいいませんが、推せん制か何かで呼びかけて女子学生をふやす。すると現代っ子の男子の受験生がふえてくれると思います。

——私のいる大学は新興大学で、単科大学という形態が似ていますので、経大を一つの目標にしているんですが、経大図書館には、経済・経営部門については優秀な蔵書があるし、日本経済史研究所、中小企業経営研究所という日本有数の評価を受けて、研究条件は非常にすばらしい。経大のいいところは是非、摂取してゆきたいと思っていますが、このすぐれた研究条件が、どう教育条件に結びついているのか。学生にどう響いているのでしょうか。すぐれた研究条件が残念ながら教育の面に生かされていない。ズレがあるように思われます。大学は研究と教育といいますが、教育の欠除した新制大学はあり得ないと思います。

——五十周年を期して

## 大学と連携を

### 強めよう

——経大の復興という言葉は余り好きではありませんが、五十周年が一つの節ですから、ここで原点に立ち返って、色いろな事を見直し、同窓会は同窓会なりに、どういふことを呼びかけてゆくのか、学校に、現役の学生に、同窓生の人たちに、こうしてゆけば、経大本来の姿に戻れるんではないか。

——例えば、大学のリーダーシップが乏しいということですが、大学のリーダーシップとは、建学の精神という前提に基づいて、やって貰わなければ困るといわなければなりません。そのためには同窓会の総会だけでなく、お互いの意見を交換する場とか、現役の学生と話し合う場、或いは大学の先生がたと対話の場を作ることですね。

——大学と同窓会が定期的に何度も話し合いをしておれば、聞きおく結果になってもいい。何度も何度も話し合えば、圧力団体にはならないと思います。同窓会費も大学が集めてくれている共同体なんだから、話し合いの出来ない筈はないと思う。

——常任理事会と教授会の話し合いは出来ないのでしょうか。個々人との話し合いではなくて、組織上、筋を通しての話し合いが必要

要で、いくら個人同志が歩み寄っても、ルールが曲がる危険性があります。ことに経大の先生がたは骨っぽい方々が多いから、同窓会から歩み寄る際、大学の筋を違えないでいくことが大切なのではないでしょうか。一匹狼的に、筋以外でいくらいいことを言っても駄目だと思えます。経大はワンマン的オーナーがいらない。教授会が合議制をとって運営している、ユニークな大学といわれている。だからこそ同窓会のあり方も、一顧も二顧も自己反省する時期に来ているのではありませんか。

——人と時間とお金を出して、五十周年記念事業の具体策を考える、話し合いの活性化する会合を作りましょう。きっと連帯感が高められると思います。

——五十周年を期して

## 学生と連帯感を

### 持とう

——今までの『澁江』の、学校創立当時の記事や、先輩の足跡などの記事は、現役の学生にも読ましてやれないものでしょうか。

——在学生にも『澁江』を手渡してやって、同窓会の存在を知らせ、反面、同窓会も現役の学生の状況を知るべきだと思います。以前の硬式野球の優勝の時の喜び。皆が湧き

立ちましたね。心齋橋筋を歩いていて、学生の写真展を見かけます。私はうれしくなって、中に入って行きます。作品に親しめるのは、何も私一人ではないと思います。

——五十周年を吉書として、卒業式に同窓会として、アクションを起こそう。学生の在学中、同窓会費を貰っておきながら、四年間、何のアクションも起していないのだから。

——また、これも一つの提案なんですけど、同窓会予算の中の学対費、ある年は思い切った、学対費を広げ、運動部および芸術部や学術会やその他独立総部に現在よりさらに増額して援助するように、枠を広げていってはいかがでしょうか。他の経費は節約しても。

——芸術部、体育会では、それぞれのOBと緊密な会合をもっている聞いています。同窓会事務局は、もっと連絡をとって状況把握する必要があるのでは。『澁江』の紙面を使って、もっとパイプを太くせねばと痛感しています。

## 同窓会の見直しも

### 連帯感につながる

——五十周年を契機として、経大をリフレッシュさせると同時に、同窓会の体質を考え直すのも、明日へ向けて、時代と共に歩む姿



勢ではなからうか。現在の同窓会の組織が果してベターなのかどうか。組織が組織として、十分機能しているのでしょうか。

——常任理事会では若僧扱いされている、われわれ新大卒生も、早、五十歳になろうとしているのに、依然として旧制の常任理事さんがリーダーシップをとり過ぎていると思いませんか。学校がリフレッシュするためにも、同窓会の体質も、実質的に若返りさせる必要があるのではありませんか。

——新大卒の理事が発言できるように、体質の改善は必要だと思います。そうすれば、大学の方でも同窓会を彦左発言と見なくなるのではありませんか。

——同窓生同志の連帯を強めるため、職域名簿を活用したり、昨年の北陸地区「就職懇談会」のように、支部相互の連携や、ツアー、講演会などのように、大阪と地方の同窓生の交流など、今後コンピュータ名簿の多面的な活用が待たれますね。

——同窓会は、学生の父兄に何かPRしたことがありますか。同窓会としてコミュニケーションが欠けているのではありませんか。これから何年かかるかわかりませんが、経大のリバイバルをやるために、情熱はまだ消えておりません。できるだけ燃え上るよう、同窓会は、OBとしての役割を果たしたいのではありませんか。経大ファミリー的なものを育て、積上げてゆくのが望ましいと思います。そういうものを学校にぶつけ、やって頂

く。大学側もわれわれに期待しているかもわかりません。それをシビアに受けて、一つ一つやって行けば、コミュニケーションができてくる。教授とのコミュニケーションも、学生とのコミュニケーションも、短期は無理。五年、十年という長い目標でやったら、できると思います。

——五十周年を契機に毎年九月三十日の創立記念日、何とか有意義に活用することを、大学や学生に提言して見ては、いかがでしょうか。

——長時間にわたってどうもありがとうございました。



出席者一同、有意義な座談会であったと感激し、最後には「澁江」の編集とは、無関係であっても、このような新大卒の話し合いの場を今後もちたいと、事務局にお願いして、散会いたしました。

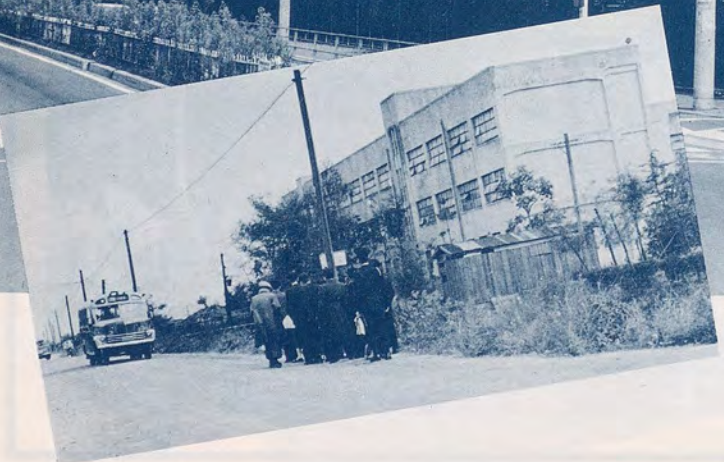
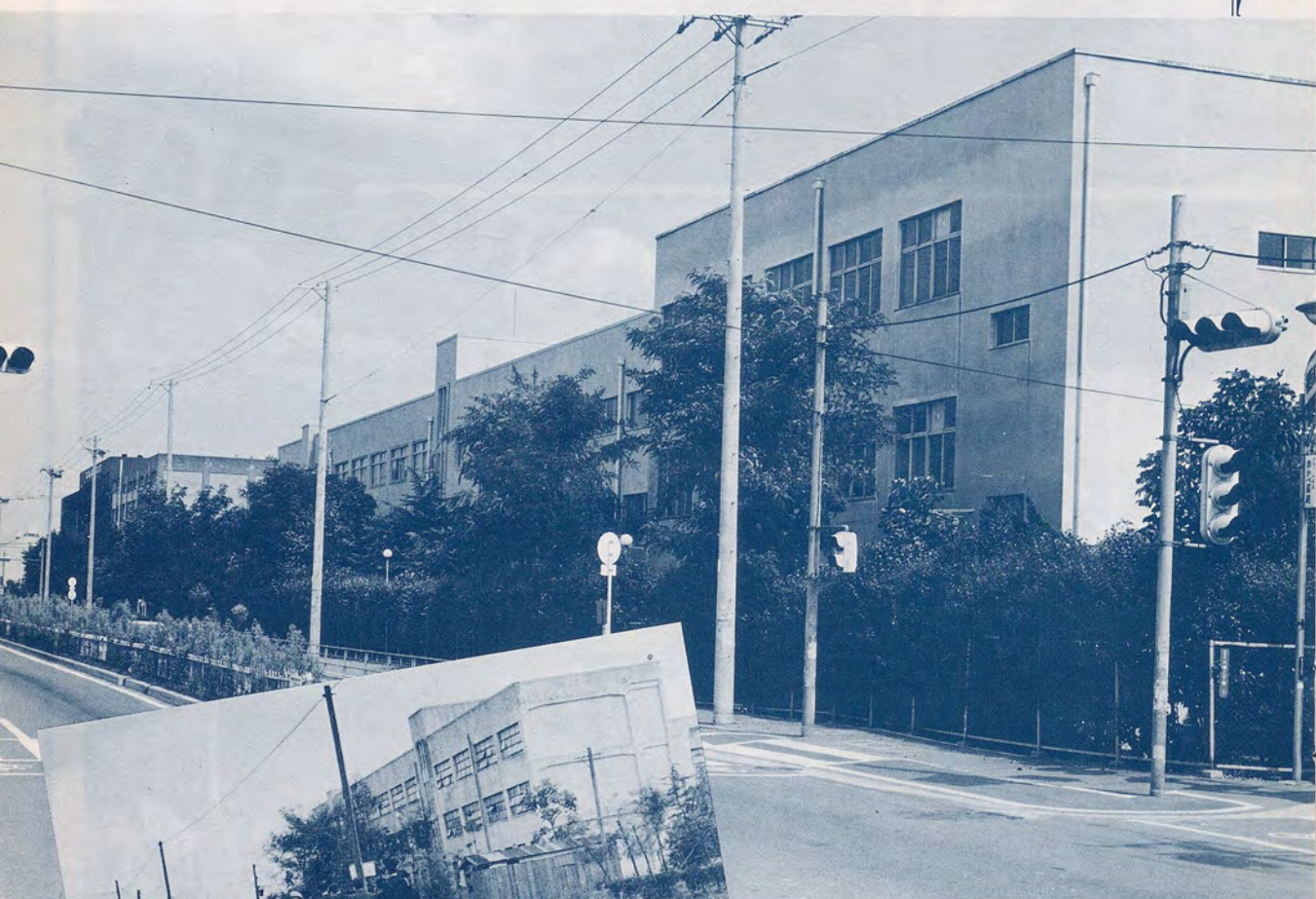
# キャンパス ナウ&ゼン

## 出会い

なにわのまち島の内に  
自由と融和の灯がともされて五十年  
津々浦々から  
生い立ちも環境も異にした  
見知らぬ青年がここで出会い  
学び、真理を探究し  
そして巣立って行った

小さな灯はいま、たいまつとなり  
山を越え海を越え  
大きな友情の輪となって広がって行く  
一人ひとりが、胸に  
さまざまな思いをこめてかよった道  
遠い日のざわめきがまだ聞こえる道

思い起そう、あの時の胸のうちを  
いま、伝えようあの青春の息吹きを  
手を組み、声を揃え、進もう栄光の道を  
友よ、新しい半世紀の扉を開こう



▲同じ位置から撮影した現学舎のたたずまい  
▼昭和11~12年頃のB館周辺



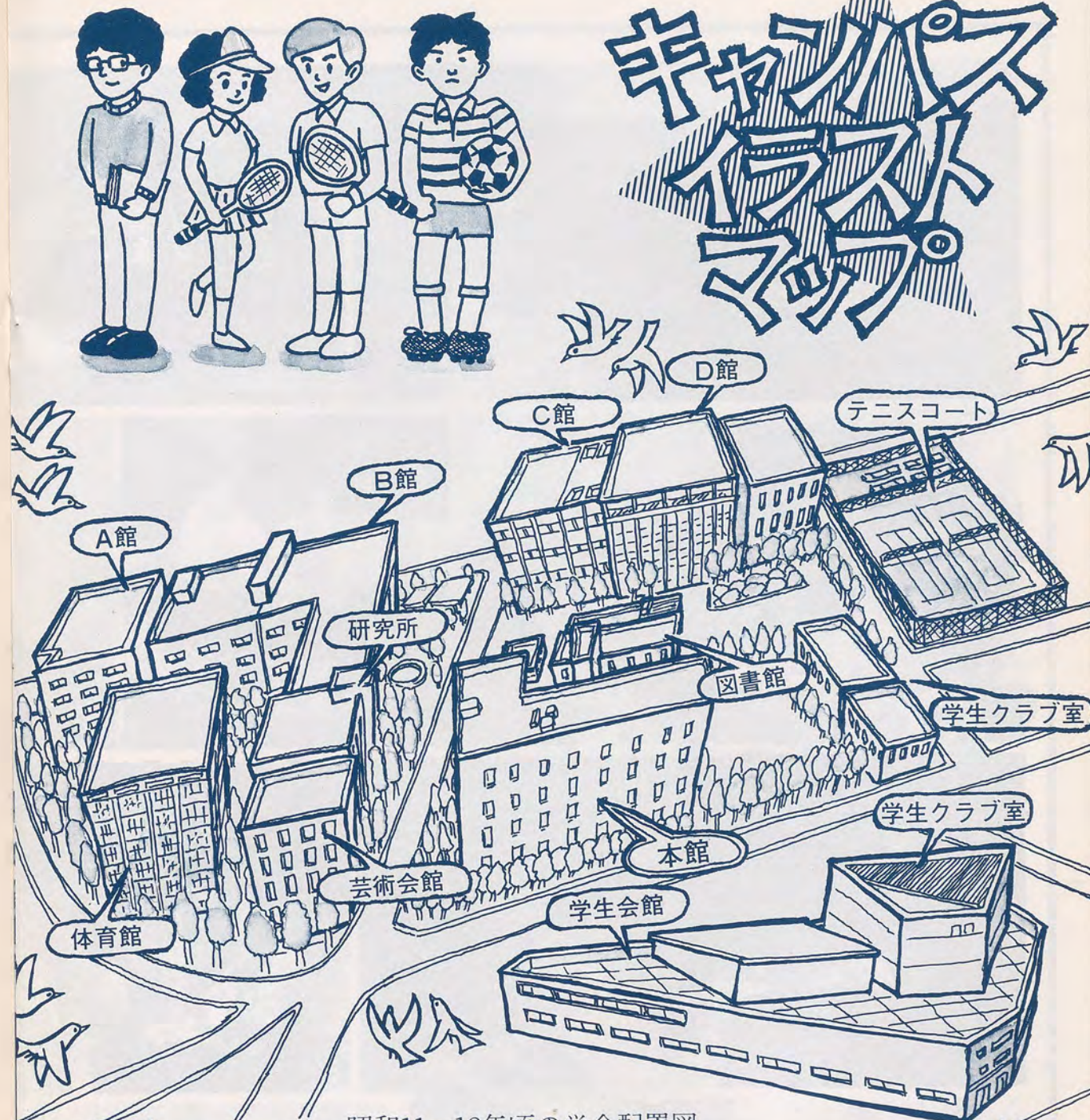
# CAMPUS SNAP

学園がすっかり表情を変えた。  
女子学生の色とりどりのファ  
ッションが行き交い、明る  
い声が学舎にこだまする。  
多様化した社会構造その  
ままの姿が、この中に見  
られる。  
学業に、クラブ活動に、  
それぞれが目々輝か  
せ打ちこむ姿は、い  
つ見てもすがすが  
しい。すべてが、  
樹々の緑と同じ  
ように、萌えて  
いるキャンパス  
のひとこま。

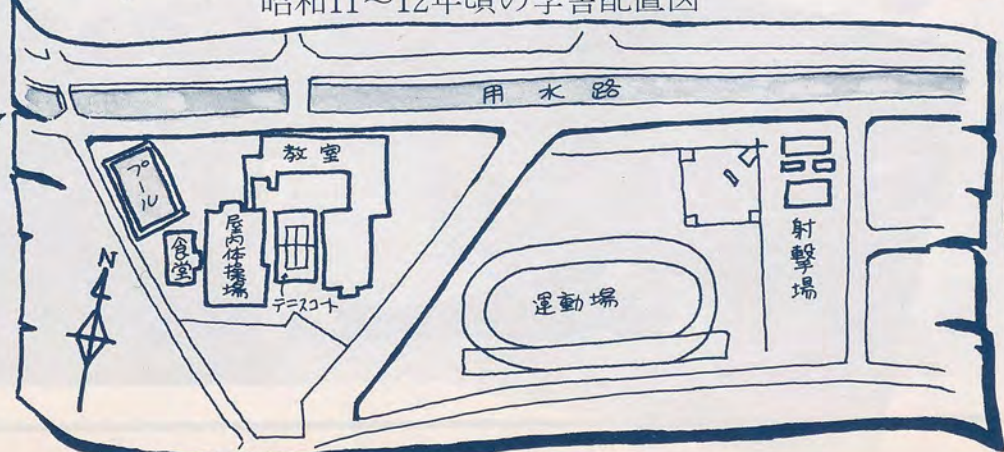




# キャンパス イラストマップ



昭和11~12年頃の学舎配置図



## ゼミ 三 短 信

### 長年の研究まとめ 終りほっと一息!

卒業生の皆さんお元気ですか。さる三月十五日、松村文武ゼミ、第四期ゼミ生十六名を送り出しました。大変まとまりのあるよいゼミでした。現在は、一部四回生十七名、三回生二十五名、二部四回生二名というところで

私は、長年の研究を「アメリカン、ネットワークの分析」と題して『大阪経大論集』にまとめました。根のいる仕事だっただけに疲れがたまっていますが、ほっとしています。皆さんのご健康とご活躍を祈りつつ、近況



報告にかえさせていただきます。

松村文武

### OB会の再編を

交通ゼミ 稲原康雄

昨年度のゼミ旅行は、ゴールデン・オキナワで南に下り、慶良間諸島の座間味へ行ってきました。天気がよいので跳び込んだ海が、あとで写真を見ると、遊泳禁止区域、水浴びしていた背後に小波を立てて潮が流れていました。その浜辺に大金を置き忘れた学生が、翌日、出帆まぎわに気付いて探しに行ったら、そのままそこに置いてありました。さて、経大は半世紀の歴史を閲しました。

### 平和教育の重要性 をあらためて痛感

われわれも多かれ少なかれ語るべき人生を生きたように思います。先日、多田喜夫先輩が二十八年ぶりに見えましたので、OB会の再編を話し合いました。この機会に旧交を温めようではありませんか。

昨年の「濑江」に私は「今年の最も重大な問題は、戦争か平和の問題だ」と指摘しましたが、果してレーガンの限定核戦争構想にみられるように、核戦争の危険が深まるにつれ、反核運動が日本、ヨーロッパ、アメリカ、ソ連をはじめ全世界的規模で盛りあがってきました。アメリカの「核の傘の下」で、日本の安全を守るといふような言い分は、実は、日本が核戦争の前線基地となり、国民が全滅する事を意味します。戦争は自然現象ではなく、戦争勢力が、彼ら自身の利益（膨大な軍需利潤など）を手に入れるため、「国を守る」とか「他国からの侵略を防ぐ」とか口実でひき起され、結局、国民に大きな犠牲を強要し、不幸のどん底につきおとします。こんなことを考えながら、私は戦争を知らない学生諸君に平和教育の重要性を痛感する今日この頃です。

井上 清ゼミ

# 『誰彼通信』

## 臨時号です

皆さんお元気ですか？ボクも体だけは大丈夫です。京都から草津へ移って一年たちました。大学へは二時間近くかかりますが、田んぼに囲まれた静かなところですよ。一番喜んでゐるのはわが長男（有高もはや三才。今年から幼稚園に通わせました）です。車も殆んど来ない道で毎日とびまわっています。また、次男は昨年十一月二日に登場し、有理（ありみち）と名乗っています。二人とも生まれる度にゼミ生にお祝いしてもらって感謝しています。元気に育ち、早くお礼の言える日を待ってやって下さい。

さて、大学では相かわらず保険論とゼミを担当していますが、このところいろいろ心境の変化もあって、学生の現状にむかってどこまでボクが近づきうるか、という気持ちで講義しています。『誰彼通信』という学生とのコミュニケーションのための個人誌を発行し、学生に批判されて喜々としています。これも、現在、一七四号になりました。また、こちらへこられましたら（草津市野村町三七九一七五二五）是非立ち寄って『通信』の批判して下さい。

今年のゼミ生は四回生九人、三回生三十六人（二つに分けました）です。四回生の一人はSF小説を書いていますし、ユニークな個性の集まりです。ユニークすぎて会社づとめが十分に出来るか心配しています。

三回生は、自分史と「文学にあらわれたる経済史の研究」をやっています。『ロビンソン漂流記』といった小説をいかに社会科学的に読むか？が主題です。

一、二回生むけの読書会も三年目ですが、今年安部公房が発刊の合図でした。では、また会える日を楽しみにして。

池野重男ゼミ

## 近況をお知らせください

OB会の幹事、中村純幸君が、今年一月、白血病で長崎医大病院で亡くなった。OB会は中村君の熱意で運営されていたので、大打撃である。昨年十二月、宮後君と山内君の二人が遠路見舞いにいってくれた。私も病床に音楽テープを送った。

新しい幹事がきまるまで、私のところを連絡先とします。諸君の近況を知らせてください。

連絡先 〒五三三 大阪市東淀川区  
下新庄六丁目三番D四〇一号

永野 仁ゼミ

# 簿記会計研究部OB会よりのお知らせ

経大OBの方々におかれましては、それぞれ各方面において活躍のことと存じます。また一方、古き良き友として同窓の方々の親交を温められていることと存じます。

私達もまた、卒業以来簿記会計研究部のOBとして、OB会において諸先輩方、また同窓との語らいの場を年一回設けてまいりました。しかし残念ながら去年は、クラブの行事日程等により会を開くことができませんでした。また今年も、例年六月開催の予定が、既にもう夏も近づきつつあるのに案内状も届かないと、OBの方々もご心配になられていたと思います。そこで、この激江の紙面をお借りしまして、本年度簿記会計研究部OB総会のご案内を差し上げたいと思います。

今年のOB総会については、理事会での話し合いの結果、これまで固定的であった六月開催という時期にこだわらず、今まで日程上の都合よりこの時期にご参加願えなかったOBの方々もご参加願えるようにと、また簿記研だけではなく、全経大OBとの親交の場



にもなりますようにと、同窓会本部事務局の協力を得ましてきたる十一月三日、五十七年総会において開催することに決定致しました。何分、初めての試みではありますが、これを期に、より一層のOB会の発展を願ひ、万障お繰合せの上、ご出席いただきますようお願い致します。

尚、当日のご案内に関しては、後日OB幹事より詳しく連絡させていただきます。

（昨年の同窓会総会（十一月三日）での簿記会計研究部OBの記念写真です）  
（第46回卒 阪倉正己記）

## 後輩の激励に

### ご来校を！

母校とは卒業生にとって、もう一つの故郷、心の古里であろうと、私は母校を思い出すごとに、若い日のあのこと、このこと、先生方のあれこれ、同級生の誰彼のことを思い出します。皆さんも経大でのありし日のことを思い浮かべられることも多いと思います。

私もゼミナールを担当してから、今期（五十七年度）で三十一年になります。過日、二十期生でなつかしい何人かの顔と声を聞いて、立派になった皆さんを目のあたりに見て、大変なつかしく、うれしかったです。

私も、幸い健康は良好で働いております。私のゼミ生の会員が、元気に社会で活躍されることに対して心から祝福の言葉を送ります。相変らず水曜日の講義ですから、後輩激励のため一度来校して下さい。

竹林庄太郎ゼミ

## 十八年ぶりの再会

### に話もはずんで

倉春会・サンキュー会の集い

七月十日（土）午後六時半、大阪北はお初

天神横の「八幸」で、昭和三九年倉辻ゼミ卒の同期生が久々に顔を揃えた。集ったもの、岩貞茂樹、大西教生、金岡正一、杉山卓、田中隆司、中田節弥、松本公望、宮山新一、横山正一、吉村文男、森本義夫、石井強一、斎尾紀の諸兄あわせて十三名。十八年ぶりの再会のこととて、話は学生時代の想い出から現在の職場、今後の経済見通しに至るまでミクロ、マクロとりまぜ四方八方賑やかに展開した。

そのなかで森本君が、十年前前大手スーパーの管理職をやめて伊丹市でコンビニエンスストア「マックス」を開店、現在支店を三つにふやして采配を振っている経営者哲学を披露してくれたが、その店名を「マックス」ときめたのには、ゼミナールで読んだ『職業としての学問』の著者マックス・ウェーバーの一つのヒントを得たという話から、やはりウェーバーの『職業としての学問』は、卒業後十八年のいまでも一同の脳裡に際鮮やかに残っているということなど話はつきなかつた。途中からカラオケも入って気分は最高に盛り上った所で気がつくといつしか午後十時半。名残りはつきなかつたが時間の制約もあり、この会を卒業年次にちなんで倉春会・三九会とすることなど申しあわせ、今夕集った諸兄から心のこもった記念品を頂戴したあと、次回の集いを楽しみに、学歌を斉唱して散会した。久々に生命の洗濯をさせていただいた夕である。

倉辻平治ゼミ

# 第10回倉春会開催

さらに大きい発展を心に誓う

昭和五十六年十一月十四日(土) 長い伝統を誇る倉春会が、梅田、新阪急ビル、レストラン・パレスにおいて開催されました。

今回は、記念すべき第十回ということでもあって、各界でご活躍の先輩諸氏が多忙中にもかかわらず、倉春会の発展のために駆けつけていただき、お手伝いの現役学生をも含めて八十余名のご出席を得ました。

会は、まず、倉春会の会長をしていただいている陶山先輩の開会の言葉で幕を開き、次に、倉辻先生の感謝の意をこめたご挨拶が。また、わが倉辻ゼミナルOBで、同窓会事務局長の比企先生の同窓会よりのお祝辞があった後、十周年を記念して、倉辻先生と長年苦楽をともにされた先生の奥様へOB一同のささやかな感謝の意をこめた寸志を贈呈し、式典を終わりました。

そして、五十六年度卒業の荒野先輩の乾杯の音頭で祝宴が始まり、出席者の口元がアルコールで滑らかにになり、それぞれのグループごとに思い出話に花を咲かせ、会は最高に盛り上がりを見せ、時の過ぎるのも忘れておられるように思いました。

この楽しく、なごやかな会も終わりに近づき、倉春会のよい慣習となった北浦先輩のエ

ールに続く道遙歌合唱、さらに現役四回生清水先輩のエールに続く学歌の合唱、そして最後は「大阪経済大学創設期に多大の貢献をされた」という倉辻先生からご紹介をかねたご指名により、牧田先輩の音頭による万歳三唱で、名残りを悔しみつつ幕を閉じました。

私が倉春会に参加させていただき痛感したことは、先輩諸氏が卒業の後も倉辻先生との親交を深めておられ、倉春会の発展のためにご尽力下さっているということでした。

われわれ現役学生も、倉辻ゼミナルと倉春会のさらに大きい発展のために頑張ろうという認識を新たにしました。

なお、末尾ながら同窓会本部よりお祝金をいただいたことに対しお礼を申し上げます。

倉辻ゼミ三回生 八田明彦

## 藤田ゼミOB会

### (敬友会)発足

#### 藤田敬三先生米寿祝賀会開かる

母校の理事長藤田敬三教授は、本年三月二十二日めでたく満八十八歳(米寿)の誕生日を迎えられた。この慶事を記念して、藤田ゼミナル卒業生は、七月四日(日)本館三階第一会議室で先生の米寿祝賀会を開催しました。当日は出席者が五十名、先生も一週間前より入念にコンディションを整えられて出席

馳走(久保富夫氏より赤飯が差し入れられた)が殆んど残る有様でした。

最後に、グリーククラブの助けを借りて、学歌、道遙歌を声高らかに斉唱するとともに、当日の出席者一同は、母校の発展と先生の今後ますますのご活躍、ご健康をお祈りすると同時に、ゼミ生がお互いに励まし合いながら、先生の学恩に報いていくことを誓い合いました。最後にまたまた先生にご無理をお願いして、全員、各期ごとに記念撮影を行い、四時すぎ散会いたしました。

なお「敬友会」役員は、次の通りです。

会長 額田吉隆(22回)

事務局 波根伸俊(32回)

幹事 西本集一(23回) 上田亨介(24回)

石田清二(25回) 米田二郎(26回)

柴田吾八(27回) 吉川重雄(28回)

伊藤弘一郎(30回) 前川洋治(31回)

逸見 啓(32回) 戸崎馨一(34回)

清水 正(35回) 大塚陽一(46回)

(他の回は未定)

また、当日小冊子「ゼミナルの思い出」前篇(藤田先生の小伝)が配布され、後篇の原稿募集が訴えられました。関係者の寄稿をお願いします。

(原稿締切)九月三十日(原稿枚数)四〇〇字詰二〜四枚程度(テーマ)ゼミ・学生時代の思い出と現在の抱負(提出先)大阪経済大学内 波根伸俊



していただき、当初十二時三十分から十五時までの予定でしたが、十六時まで一時間延長にもかかわらず、最後までお付き合ひしていただきました。

祝賀会は、西本集一氏を司会に式典がはじまり、先ず藤田ゼミ一期生額田吉隆氏より卒業生・出席者全員を代表してあいさつがあり、ついで先生のごあいさつが約三十分処生訓を含めて「講義」されました。八十八歳の今日に至るまでも母校の理事長という重責を担いつつ、また執筆活動も続けられ、なお自省される先生から出席者一同いろいろと教えられ、静かな語りの中にも脈々とした闘志を感じたものでした。次いで、比企同窓会

## 第二回北里会総会

### 先生ご夫妻を囲んで なごやかなひととき

昨年三月に発足した北里会の第二回総会を六月五日(土)に山中荘でなごやかに開催しました。

当日、先生ご夫妻のご臨席を得て、(泉谷勝美教授、松本剛教授は会計学会の為ご欠席)会則変更等短時間で議事を終り、懇親会に入りました。そして、お互いに思い出を語り合い、楽しい一時を過ごした集いでした。

北里先生からは、近況としてのお話の中で「私が今日あるのは妻のおかげ」なる心暖まるお言葉がありました。これは学生時代の記憶にある先生からは考えられない(?)様な話題であり、先生の本当の人間性に触れた思いで、これだけでも出席して良かったと感じております。

また、役員からは現在の活動報告がされました。特に、会計研究部会(中村19回)、釣部会(佐藤19回)、囲碁将棋麻雀部会(岡田20回)、ゴルフ部会(三町22回)の活躍ぶりなどが説明されました。これらの部会が確立されたことよって、出席者各々の楽しみが出来、年一回の総会だけに限らず、その都度、趣味を通じての交友を拡げるように考えておりますので、お気軽にご参加くださ



事務局長、先生の休養中ゼミ代行の山田文明氏の祝辞、出席者一同とゼミ生有志による記念品贈呈と進められ、歓談パーティーに入りました。数々の苦勞のすえ米寿祝賀会までこぎつけた波根伸俊氏より、藤田ゼミ生による「敬友会」結成が提案され、全員一致で確認、後述の役員を選出しました。さらに、出席者一人一人自己紹介と先生の希望で近況を報告することになり、多くの人が司会者の時間配慮をもとめせず、また先生のお身体を考える余裕もなかった(?)のか、在学中には考えられなかったような饒舌ぶりを発揮、大幅に時間超過となりました。卒業以来初めて母校の成長、発展をまのあたりにしての再会で話が咲きすぎてか、事務局で用意したこ

# キヤンパス・ホットライン

## クラブ活動状況

### 空手道部

- 4月 全関西学生空手道選手権個人ベスト8水野
- 6月 西日本学生空手道選手権団体3位
- 7月 全日本学生空手道選手権個人
- 10月 全関西学生空手道選手権団体
- 11月 全日本学生空手道選手権団体(関西学生空手道連盟)

### 日本拳法部

- 5月 全関西学生拳法選手権大会4位
- 9月 龍峰杯
- 9月 全日本個人学生拳法選手権大会
- 11月 全日本学生拳法選手権大会(関西学生拳法連盟)

### 柔道部

- 5月 関西学生柔道体重別選手権大会ベスト8
- 7月 関西学生柔道選手権大会
- 9月 全日本学生柔道優勝大会
- 11月 関西学生新人戦(関西学生柔道連盟)

## 体育会

### 剣道部

- 4月 大阪大会 個人予選落ち
- 5月 全関西学生剣道選手権大会個人2位
- 6月 大阪府新人戦
- 7月 全日本学生剣道選手権大会
- 8月 大阪大会 団体
- 9月 全関西学生剣道選手権大会(大阪府学生剣道連盟)
- 11月 関西学生合気道演武大会
- 12月 全日本学生合気道演武大会(関西学生合気道連盟)

### 合気道部

- 7月 関西学生少林寺拳法大会
- 不明 近畿大会
- 不明 全日本学生大会(関西学生少林寺拳法連盟)

### 少林寺拳法部

- 関西六大学野球春季リーグ
- 関西六大学野球秋季リーグ(関西六大学野球連盟)

### 硬式野球部

- 3月~4月 近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦 優勝
- 6月 全近畿地区大学準硬式野球選

### 準硬式野球部

- 7月 関西学生少棒大会
- 不明 近畿大会
- 不明 全日本学生大会(関西学生少棒連盟)

### 硬式庭球部

- 8月 全日本大学準硬式野球選手権大会
- 11月 東西4リーグ王座決定戦(近畿地区大学軟式野球連盟)
- (近畿六大学準硬式野球連盟) 1位
- 4月 関西学生庭球選手権大会 春
- 5月 大阪毎日庭球選手権大会
- 6月 大阪学生大会
- 7月 関西学生庭球選手権大会 夏
- 8月 全日本学生庭球選手権大会
- 10月 関西学生庭球選手権大会 秋(関西学生庭球連盟 3部2位)

### 軟式庭球部

- 4月 大阪学生優勝大会
- ダブルスベスト8
- 大阪学生対抗戦
- 団体2位
- 5月 関西学生春季リーグ戦 2部優勝
- 関西学生選手権大会
- ダブルスベスト32
- 関西学生リーグ戦入れかえ
- 1部昇格
- 6月 関西学生シングルス選手権大会 2位、3位
- 7月 西日本学生選手権大会



今回ご出席になれなかった方は、来年もご案内しますので、是非一緒に楽しみたい。  
 なお、会員の消息、住所変更、部会加入、その他ご意見は左記へご連絡下さい。  
 また会う日を楽しみに……  
 〒534 大阪市都島区御幸町一丁目二二五  
 電話〇六一九二一〇九六五 越川 昇

## 第二回松原和男ゼミ同窓会(53年度A講座)

カラオケ・マジシャン・名所めぐりわきあいあいの二日間

五月二日、三日、岡山、三光荘において、第二回松原ゼミ同窓会を開きました。先生をはじめ約半数のものが参加し、再会を喜び、近況や思い出話に花を咲かせました。  
 五月二日、午後三時半、岡山駅に集合。その日は、岡山出身の二人の車に分乗して、日本三名園の一つ後楽園に行きました。約一時間、皆で記念撮影をしたり、緑いっぱい庭園を雑談をかわしながら散策しました。  
 その後、三光荘へ直行。三光荘は旭川のほとりにあり、岡山城と後楽園がひと目で見渡せまします。午後六時から宴会が始まり、個人の近況を話したり、カラオケで歌いまくったりで、にぎやかに過ごし、九時までの三時間が短く感じられたほどです。その後、マジシャンを楽しみ、それが終わった後も、部屋に帰って、夜おそくまで、語り明かしました。話題を二、三紹介しますと、アメリカ留学の決った仲間の話、今回出席できなかった仲間の近況などです。その夜は話が尽きず、夜明けまで、話こんでいたものもいたようです。



五月三日、岡山の名所めぐりをしました。まず、鷲羽山へ。車で約一時間で到着です。瀬戸内の島々をながめながら、名勝鷲羽山の遊歩道を散歩して、記念撮影を済ませ、わきあいあいのうちに過ごしました。その後、第二の目的地、倉敷美観地区へと向いましたが、そのころから雨が降りだし、だんだん雨足がはげしくなり、車で倉敷の町を通過するだけで終わりました。午後一時半、昼食をとりながら今後の同窓会の開催のことや、幹事を誰がするかを話し合い、二年後の再会を誓いました。そして、午後三時、岡山駅で解散しました。  
 なお、次回幹事は大阪出身の松井と中野にゆずりました。今回参加できなかった人も、二年後の同窓会には、ぜひ参加して下さい。  
 (幹事、在本、定本記)

8月 全日本学生選手権大会  
10月 関西学生秋季リーグ戦

関西学生新人選手権大会  
大阪学生新進優秀大会

11月 大阪学生選手権大会  
1部6位

(大阪学生軟式庭球連盟)  
(関西学生軟式庭球連盟)

### サッカー部

4月～5月 関西大学サッカー選手権大会予選リーグ 4位

5月 関西大学サッカー選手権大会決勝トーナメントベスト8

7月 大阪商業大学との定期戦

9月 関西学生サッカー秋季リーグ戦

10月～11月 天皇杯関西大会  
(関西大学サッカー連盟 関西1部リーグ4位)

### ラグビー部

10月～12月 関西大学リーグ戦  
(関西ラグビー協会Aリーグ4位)

### ハンドボール部

4月～5月 関西学生春季リーグ戦 3位

6月 関西新人ハンドボール大会

7月 西日本学生選手権大会

9月～10月 関西学生秋季リーグ戦

11月 全日本学生選手権大会

1部リーグ3位  
(関西学生ハンドボール連盟)

### 卓球部

4月 関西学生春季卓球リーグ戦 1部6位

関西学生卓球新人大会  
団体ベスト16 ダブルスベスト8 シングルベスト8

5月 関西学生卓球選手権大会  
ダブルスベスト16  
シングルベスト16

6月 西日本学生卓球選手権大会  
ダブルス3回戦進出

7月 全日本対抗卓球大会  
シングルベスト32

8月 全日本学生卓球大会関西予選

9月 関西学生秋季卓球リーグ戦

11月 全日本学生卓球大会

2月 全関西学生卓球選手権大会  
大阪選手権大会  
(関西学生卓球連盟1部6位)

### バスケットボール部

4月 関西学生バスケットボール新人戦 ベスト8

5月 全関西学生バスケットボールトーナメント 2回戦敗退

6月 西日本学生バスケットボールトーナメント大会 ベスト16

7月～8月 関西学生バスケットボール下部リーグ戦

### 戦国体予選

11月 近畿学生ボクシング連盟  
トーナメント戦

(近畿学生ボクシング連盟4部リーグ5位)

### 陸上競技部

4月 大阪インカレ

5月 関西学生春季大会

6月 西日本インカレ  
東経戦  
大阪選手権

8月 関西学生ジュニア近畿選手権

9月 日本選手権

10月 全日本学生

11月 関西学生秋季大会

12月 関西学生駅伝

1月 全日本学生駅伝  
(関西学生陸上競技連盟1部5位)

### バドミントン部

4月 大阪学生選手権大会  
団体2位

5月 春季リーグ戦1部4位

6月 関西学生選手権大会  
個人シングルスベスト4  
ダブルスベスト8

7月 西日本学生選手権大会

8月 関西新人大会

## 旧昭和 high school 剣道部員が

### 感激の再会

梶村 文弥 (8)

いささか話はさかのほります。昭和五十五年の同窓会総会の席上で一年先輩の紀伊さんに会い、当時の剣道部顧問だった故奥村日出男先生とお話をする機会がございました。その際「久しぶりに昭和 high school 時代の剣道部員が集まることのできればうれいなあ」ということが話題になりました。

それからしばらくして、奥村先生の訃報を聞き、愕然とするとともに哀悼の気持を深めたわけでありました。

さて、昭和五十六年を迎え、何とかこのことの実現を、と紀伊さんからご連絡を、いただきました。そのためには、まず、当時の部員の方々の消息を尋ねることから始めなければなりません。ほとんどお手伝いもできぬまま、紀伊さんはご多忙の中を一生懸命名簿作りに取り組みました。その甲斐あって、次第に整ったものとなりましたので、相談のうえ、十月四日(日)、

神戸市の六甲荘で第一回大阪経大(旧昭和 high school)剣道部OB会の開催にこぎつけました。

当日は、受付を設けるほどのこともないとロビーで待つていたのですが、四十年振りでお目にかかる方も「やあ久しぶり、元気では何より……」と堅い握手をすれば、もうすぐさま青年剣士の昔に立ち返り、時が瞬間に逆流したようにさえ思われました。

それぞれお忙しいのに、東京から、山口から、九州の島原からも集まっていただけでした。

懇親の宴では、卒業から、戦中・戦後から今日まで激動の時代に生きた人生の歩みを各自紹介し合いました。県剣道連盟理事長をしてられる方、七段教士で団体や、その他の大会に現在も出場しておられる方、日本の一剣士を二人も育てられた方などもおられました。もともと好きな剣道を通じて強いきずなで結ばれた者同士のことゆえ、



奥村先生の温顔に接することができなくなりました。誠に残念に思いました。もちろん、戦死その他で物故された諸兄に対しては、哀惜の情をだれも強く抱いたことはいまでもありません。

そして、大阪経済大学剣道部OB会としての発展と大学剣道部振興の援助についても歩み出そうと話し合い、再会を約して散会しました。

さて、このたびご通知できなかった皆様には大変失礼をいたしました。なにとぞご寛容ください。関係者の方々は、次の両名のいずれかへご連絡をいただければ幸いです。そして、次回には一層多数のご参加が得られますようご協力をお願い申し上げます。

記  
紀伊達男(七回卒)

梶村文弥(八回卒)

深い感慨に浸りながら敬談は果てしなく続きました。

つらかった練習、厳しさの中に楽しさ一杯の合宿、昭和十四年度全日本大学高専大会で決勝戦に進み、同志社大学と大接戦の末、惜しくも準優勝に終わったこと、定期戦や各種の大会等で本当にすばらしい活躍をした昭和 high school 剣道部の数々の思い出など、尽きぬ話に時間の経つのも忘れるほどでした。

なお、師範の土田博吉先生はご壮健で、大阪府剣道連盟理事長としてご尽力されておられます。当日は、おりあしく、重要な大会の責任者のため、やむなくご欠席になりました。また、

インカレ  
11月 秋季リーグ戦  
関西学生バドミントン連盟1部4位

### 自転車部

〈レース班〉

5月 関西学生新人自転車競技大会  
6月 関西学生自転車競技大会  
近畿ロードレース大会  
7月 全日本学生自転車競技大会  
(インカレ)  
10月 西日本選手権大会  
11月 全日本学生チームロードレース大会  
(関西学生自転車連盟)  
〈サッカー班〉

5月 関西学生春季サイクルサッカーリーグ戦  
6月 関西学生新人サイクルサッカー選手権  
7月 関西学生サイクルサッカー大会  
10月 関西学生秋季サイクルサッカーリーグ戦  
全日本サイクルサッカー選手権  
12月 全日本学生サイクルサッカー選手権(インカレ)  
(関西学生サイクルサッカー連盟)

### 山岳部

4月 道場百丈岩R・C・T  
6月 六甲ロックガーデンR・C・T  
仁川R・C・T  
9月 六甲R・C・T  
10月 六甲全山縦走  
12月 金剛全山縦走

### アイススケート部

10月 西日本ショートトラックスケート競技大会  
近畿府県民スケート競技大会  
11月 国体予選  
12月 関西学生スケート競技大会  
団体9位 個人7位、8位  
(関西学生氷上競技連盟)

### ゴルフ部

4月 関西春季2部校リーグ戦5位  
関西学生男子一次予選  
2人通過  
8月 関西学生インカレゴルフトーナメント  
10月 関西学生秋季2部校リーグ戦連盟杯  
2月 連盟杯  
(関西学生ゴルフ連盟2部リーグ5位)

### 競技スキー部

5月 全関西春季節外競技会  
総合7位  
10月 全関西秋季節外競技会

1月 全日本学生スキー選手権大会  
大阪府スキー選手権大会  
3月 全関西学生スキー選手権大会  
(大阪府スキー連盟・全日本学生スキー連盟・全関西スキー連盟)

### カヌー部

5月 瀬田川レガッタ  
6月 大阪府民大会  
大阪学生大会  
8月 関西選手権  
関西学生選手権  
全日本学生選手権

### 自動車部

4月 全関西ダートトライアル大会  
個人優勝 団体13位  
6月 全関西自動車運転競技大会  
8月 全日本自動車整備大会  
予選、本選  
10月 全関西ダートトライアル大会  
11月 阪神定期戦  
3月 全関西自動車運転競技新人戦大会 団体6位  
(全日本学生自動車連盟関西支部)

### ヨット部

5月 関西ヨット春季新人選手権大会  
S級5位、A級10位  
6月 関西ヨット個人選手権大会  
5位  
7月 関西ヨットインカレ大会

11月 関西ヨット秋季新人選手権大会  
(関西学生ヨット連盟)

### 洋弓部

4月、5月 関西学生アーチェリーリーグ戦2部Bブロック6位  
7月 国体予選  
8月 関西学生アーチェリー個人選手権  
9月 府民体育祭  
10月 千島杯  
関西学生アーチェリー新人戦  
3月 全日本インドア大会  
(関西学生アーチェリー連盟2部Bブロック6位)

### 重量挙げ部

10月 関西学生ウェイトリフティング選手権  
11月 全日本学生ウェイトリフティング選手権  
全日本新人ウェイトリフティング選手権  
関西学生ウェイトリフティング連盟1部  
西日本学生ウェイトリフティング連盟1部  
全日本学生ウェイトリフティング連盟3部

## 吹奏楽総部

### 年間行事

4月5日 入学式演奏  
4月6、8日 新入生歓迎演奏会  
4月21、23日 全日本リーダーズ・キャンプに参加  
5月3日 広島フラーワー・フェスティバルに参加演奏  
5月8日 関西合同演奏会  
(神戸文化ホール)  
5月16日 大阪市立大阪城音楽堂オープンニング・コンサート  
6月9日 全日本バンド・フェアに出演(神戸文化ホール)  
6月12日 朝日放送主催「ヤング・アイドル野球大会」に参加演奏  
(阪神甲子園球場)  
7月12日 第14回定期演奏会  
(大阪厚生年金会館大ホール)  
7月17日 大阪市音楽団主催たそがれコンサート  
7月31日 愛知大学吹奏楽団と第12回交歓演奏会を開催  
8月27日、9月2日 夏季合宿  
(国立三瓶青年の家)  
10月 大阪ダイヤモンドシティ・カーニバルパレードに参加演奏  
10月 応援団乱舞祭に参加

## 放送部

10月19日 関西学生バトン・フェスティバルに参加  
(森の宮青少年会館)  
11月3日 御堂筋カーニバルパレードに参加演奏  
12月1日 ウィンターコンサート開催(尼崎市総合文化センターアルカイクホール)  
3月1、3月6日 春季合宿  
(淡路国立青年の家)  
3月6、8日 関西学生吹奏楽連盟リーダーズキャンプに参加  
3月15日 卒業式演奏  
3月26日 京都産業大学と合同練習に参加  
わが局は、学内における「放送」中心として、エネルギーに活動しています。そして学生放送としての使命を自覚しつつ、みなさんに親しんでいただける「放送」をと、日々努力しています。  
主な活動は、定時放送の他モニター会、放送祭の開催、ラジオドラマ等の作品制作、年二回の合宿学内催物の技術協力、それに楽しいコンパ、合ハイ、合コン等幅広く活動しています。もちろん、日常のアナウンス、機材使用などの基礎練習も欠かすことのできない活動です。定時

## 芸術会

放送では、政治・経済から人生における諸問題に対し、クラブ員全員が積極的な試議を重ね、中立性の高い放送になるように日々努めています。

### 軽音楽部

この春に、新入部員、三十七名を加え、総勢九十五人という大所帯となりましたが、部長、辻尾浩二を中心に、頑張ってきました。ジャズ系のメンバーは、毎日、午後、七時頃まで練習を重ね、ロック系のメンバーは、練習室こそは一つしかありませんが、各バンドとも、授業のあい間をみて、練習を重ねて、六月三日、芸術会主催、ミュージックフェスティバルに参加。そして六月二十七日には、先輩方の御支援と、広告をいただきました関係各位のお陰をもちまして、第十八回ライトミュージックコンサートを、無事、終了することが出来ました。このコンサートをもちまして、幹部交替をし、十八名の四回生の方が引退され、十七名になりましたが、新部長、大月康夫を中心に、頑張っています。

ですので、よろしく、お願い致します。

それでは、現在まで、及び、今後の、参加・主催行事を列挙しておきます。

昭和56年  
6月21日、於 厚生年金会館  
第17回ライトミュージックコンサート  
8月23日  
サウンド・イン・宝塚  
大学対抗ビッグバンドコンテス  
ト出場  
8月27日  
第12回山野ビッグバンド ジャズコンテスト初出場  
10月30日、11月4日  
第33回大樟祭に参加  
11月21日  
関西軽音楽連盟主催、フルバンド合戦出場  
12月11日 於 御堂会館  
昭和57年  
6月3日  
芸術会主催  
ミュージックフェスティバルに  
参加  
6月27日 於 読売文化ホール  
第18回ライトミュージックコンサート  
8月4日、8月6日

82 サマーライブ・イン・宝塚  
第3回大学ジャズコンサート出  
場  
8月14日～8月15日

第13回 山野ビッグバンド  
ジャズコンサート出場  
12月5日 於 パナナホール  
第3回ウインターコンサート開  
催予定

### ギタークラブ

この春新入部員が十六人にも及び、部員一同意気揚々と張り切って  
おります。

五月二十一日(金)に大谷女子大  
学とのジョイント・コンサートを開  
催いたしました。春休み、ゴールデン  
・ウィーク時に合宿を行ない、日  
曜・祭日をもつづし練習に励んだか  
いもあり、大成功をおさめました。  
六月三日(木)のMFでは、短い  
ステージ時間ではありましたが、部  
員一同集中し、「いいステージ」を  
心がけ、うちこみました。

六月二十七日(日)には第三回O  
B総会を心斎橋「大成閣」にて行な  
いました。OB、OGの方々には学生  
時代の思い出話にはなをさかせら  
れ、現役部員はクラブについて、ギ  
ターについて先輩の方々から色々  
聞き、多々感銘するものを得まし

た。

今、部員一同十一月十八日(木)  
に森の宮ピロテターホールで開催致  
します第十六回定期演奏会に向け  
て、各自、パワー充電しておりま  
す。八月の夏合宿、十一月の強化合  
宿、厳しい日頃の練習を経て、必ず  
大成功を収めようと決意しておりま  
す。

コンサートを成功させるためだけ  
でなく、今後とも「クラブの和」  
「人と人との和」というものを、も  
っとも大切にしていきたいと思  
っております。

#### 年間行事

- 4月14日 新歓デイスコパーティー
- 21日 新歓コンパ
- 5月12日 芸術会ソフトボール大会
- 21日 経大&大谷女子大学ギタ  
ージョイント・コンサ  
ート
- 6月3日 第十八回M・F
- 6日 芸術会主催新歓コンパ
- 13日 対邦楽ソフトボール大会
- 20日 一回生合ハイ
- 27日 第三回OB総会
- 28日 一回生部内発表&総括
- 8月23日 部内発表
- 24日～31日 夏合宿  
(鉢伏高原)
- 9月4～6日 リーキャン
- 10月30日～11月4日 学園祭

11月6日～9日 強化合宿

18日 第十六回定期演奏会

### マンドリンクラブ

わがマンドリンクラブは、昭和三  
十八年に発足し、伝統をまもりつつ  
今日にいたっております。

今年のクラブ行事といたしまし  
て、五月七日大阪学生マンドリン連  
盟演奏会、六月三日芸術会主催ミ  
ュージックフェスティバル参加、また  
新しい試みとして、サマーコンサ  
ートin'82を経大ホールにおいて開  
くことができましたことは、部員一  
同の大きな励みとなりました。そし  
て十月二十三日第十七回定期演奏会  
を、森の宮ピロテターホールにおい  
て開催する予定です。

まだまだ未熟なわたしたちです  
が、少しでも我クラブを御理解して  
いただけるよう頑張っていくつもり  
です。今後ともよろしく願ひいた  
します。

### グリークラブ

グリークラブです。我がクラブ  
は、今年で創部二十八年目を迎え、  
勉学の余暇を利用して、より高度な  
合唱音楽の創造を求め日夜練習をつ  
み重ねています。ところで今年度の

活動内容といえますと、

- 4月5日 入学式出演
- 6月3日 第18回ミュージックフェ  
スティバル
- 13日 大阪府合唱祭
- 7月3日 ジョイントコンサート
- 帝塚山学院女子大学 四天王寺国  
際仏教大学 大阪経済大学
- 10日 大学フェスティバル
- 10月24日 関西合唱コンクール
- 12月11日 第18回定期演奏会

など多数のステージを持つことと  
なりました。その他三月の末には春  
合宿、八月の末に夏合宿など持って  
技術の向上のために練習にはげみ、  
また他大学との交流のために春と秋  
に合同ハイキングとかコンパなども  
行なっております。

このように今年度も十二月に行な  
います定期演奏会に向け、がんばり  
たいと思います。

### 邦楽部

我が邦楽部は現在、部員数二十九  
人で、その内五人が女子部員です。  
今、我々は来たる十一月十九日の  
第十六回演奏会に向けて頑張ってお  
ります。  
と言うのも、この演奏会で今まで  
我々の練習してきた成果を発表する  
場であるからです。

そして、それには、今年入部した  
ばかりの一回生も出演しますし、四  
回生にとっては、最後のものになる  
ので、部員一同、この演奏会を成功  
させたいと思っています。

また、八月二十五日からは、能登  
の方へ合宿に行きました。  
練習だけでなく、部員一同の親睦  
も兼ねているこの合宿で、部員のそ  
れぞれが何かをつかんで帰って来た  
ことでしょう。

### 吟詠部

一年間の総決算とも言える演奏会  
を良い物にしたいと思います。

一月には、毎年恒例となっている  
部員一同の初詣に出かける。そし  
て、三月の末には、春合宿(四泊五  
日)ぐらいで大阪近郊へ出かける。  
四月は、余り練習らしい練習はな  
い。この時期は、新入部員獲得と新  
入部員教育に力を注ぐ。五月に入っ  
て新入部員教育の一つとして、新入  
生歓迎合宿(二泊三日)に出かけ  
る。五月には、ミュージック・フェ  
スティバル参加のため練習に明け暮  
れる。六月の末には、前期の最大目

標である、岡山大学吟詠部との交歓  
吟詠発表大会めざし、部員一同けん  
めいに練習に励む。この発表大会が  
終ると前期の活動は、終了する。七  
月は、夏休みとなるわけだが、夏休  
みの活動としては、まず夏合宿(六  
泊七日)信州方面に出かける。そし  
て全国学生詩吟連盟のキャンプ(二  
泊三日)連盟の関西支部キャンプ  
(二泊三日)芸術会リーダースキヤ  
ンプ(二泊三日)に出かける。そし  
て大阪府連合会吟士剣者決定競吟大  
会に参加する。これが主な夏休みの  
活動である。

後期に入ると、十月末の学内単独  
吟詠発表大会めざし、日夜猛練習に  
励む。この大会が我が部最大の目標で  
ある。十一月末には、年間の最後の  
大会である全国学生詩吟連盟関西支  
部大会が行なわれる。この時期に此  
花区長杯競吟大会に参加する。十二  
月には四回生追出しコンパが行なわ  
れ、一年間の主な行事が終了する。

### 演劇研究部

我が演劇研究部の歴史は、かなり  
古いのですが、何故か部員数は少  
ないのです。しかし、少人数ながら  
他クラブに負けないくらい精力的に  
活動しています。

春には、映画研究部さんと合同で

行ないます「ごくつぶしの夕べ」。  
これは年々活発になっており、芸術  
会の恒例行事になっております。  
夏には、(これは三、四年前から  
始まったのですが)地方公演を行  
なっています。この地方公演は、一  
回生の初舞台の場として、芝居を学  
ぶための公演に活用しています。  
そして、秋には、メイン行事であ  
る定期公演を行ないます。この時は  
燃えます。クラブ員全員が燃えま  
す。すばらしい芝居にしようとし  
て。すごい団結力です。

### 美術研究部

我々は美術研究部である。美研と  
いえば、最近かなり肩身が狭く、弱  
少の、無気力ノの無活動ノの、など  
と取沙汰されているが、今年の美研  
は変わった。減点切符制度を導入。  
部会・行事への出欠を明確化すると  
共に、アルバイト登録や罰金によっ  
て部員にかかる画廊代を少しでも軽  
減するのが目的である。

七月十三日から京都市立美術館に  
て大学美術連盟展がよおされるの  
で、部員は大忙し。

八月末からは奈良で夏合宿、四泊  
五日の予定。前期試験も終わる頃、

大学祭の準備が始まる。シンボルタ  
ワー・シンボルピクチャー模擬店の  
班に分れて活動。大学祭の間は芸術  
会館2Fにて公募展開催。広く一般  
の人の作品を募って展示するのだ  
が、近年人気芳しくなくなってきた。  
十一月は秋期部展。幹部交代は  
大学祭の終了と共に行なわれるが、  
三回生は未だ部室に出没するので、  
秋期部展への出品も多い。二月には  
追い出しコンパ。三月に春期合宿。  
今年の新入生、十四名という破格  
の人材を得、二回生は気力・技術共  
に向上の一途、三回生もそれなりに  
頑張っている。一応、皆次の日本文  
化を担わんとする連中ばかりである  
から、お仕事があったらまわして  
ください。

### 茶道部

茶華道部同好会としてクラブが発  
足し、現在で十九年目をむかえるこ  
とができました。クラブに昇格され  
た当時は、練習場所も道具もなく大  
変苦勞されたそうですが、現在はそ  
の先輩方が残していかれた道具も、  
他大学の茶道部にひけをとらないほ  
ど揃っていますし、茶室も大学から  
作っていただき、以前とは比べられ  
ないほど練習面は恵まれています。  
現在、部員は四回生六名、三回生

# 軟式(準硬式)野球部OB会遂に熱烈発足!!

山中良夫(19)



本学の軟式野球部OB会がなかった、といえど奇妙に思われる方もあるに違いない。昭和二十三年に同好会、同二十四年には部として認められ、続いて二十五年には近畿六大学連盟を組織し、以来三十数年、全日本優勝を含む華々しい伝統を誇りながら、組織立ったOB会がなかったというのには一つの理由があった。それは、当部がその創設に当たり、真の学生スポーツのあり方を探究する為、何ものにも煩わされることなく、学生のみによる自主的なクラブ運営を行うことを強く打ち出した為であり、この方針は、また、近畿六大学連盟の方針でもあった

からである。われわれOBは、このような理由からOB会の設立を見合わせながら、陰に陽に、現役諸君に協力してきた。しかし、近年に至り、東京、京都、関西等他リーグとの関連で、全日本学連より近畿リーグにもOBに依る理事会の設立が迫られ、その当然の結果として、本学にもOB会を設立せねばならない時期に至ったのである。これに呼応するように、現役諸君も大いに健闘して、本年度は春秋二シーズン連続して完全優勝(十勝〇敗)を遂げ、四リーグ王座戦に出場、西京極球場のセンターポールにわが経大旗が、早稲田、日大、同志社の旗と並んでへんぽんと翻ったのである。

さて、十一月二十一日、土曜日、午後六時、所は山中荘大広間、四十六名の出席者によって、発会総会が開会された。舞台を飾る懐かしい優勝旗と、輝くトロフィーを背景に、まず、OB会規約が承認され、続いて、役員の名が行われた。会長には、昭和二十九年、全日本優勝時の主将、谷邦夫氏が選ばれ、

- 〈OB会役員一覧〉
- 会長 山中良夫(19)
  - 副会長 三浦邦夫(21)
  - 理事 宮本武和(29)
  - 理事 坂出伸一(24)
  - 理事 山田勝彦(27)
  - 理事 稲田敏修(30)
  - 理事 斎貞文(30)
  - 理事 荒井徹治(33)
  - 理事 古井秀人(36)
  - 理事 川見富夫(38)
  - 理事 橋本功(40)
  - 理事 鈴木尚(43)
  - 理事 土井史郎(45)
  - 理事 山口淳一郎(48)
  - 理事 沼田壯一(20)
  - 理事 芝田一(28)
  - 会計理事 高濱精一郎(19)
  - 事務 梅田武文
  - 事務 上田慧
  - 事務 北村統(18)
  - 事務 牧田安夫(19)
  - 事務 高濱精一郎(19)
  - 事務 山中良夫(19)
  - 事務 谷邦夫(21)
  - 事務 三浦邦夫(21)
  - 事務 宮本武和(29)
  - 事務 坂出伸一(24)
  - 事務 山田勝彦(27)
  - 事務 稲田敏修(30)
  - 事務 斎貞文(30)
  - 事務 荒井徹治(33)
  - 事務 古井秀人(36)
  - 事務 川見富夫(38)
  - 事務 橋本功(40)
  - 事務 鈴木尚(43)
  - 事務 土井史郎(45)
  - 事務 山口淳一郎(48)
  - 事務 沼田壯一(20)
  - 事務 芝田一(28)

二名、二回生二名、一回生七名と、近年では部員数の面ではいいのですが、茶道に対する考え方が昔の部員と異なっています。昔は純粹に茶道に関心をもたれていたようですが、現在は、部員同志の信頼関係、縦のつながりで部活を行っている状態です。

練習は、五月から七月までと、後期は、十月から十二月までで週三日(月、水、金)です。時間は、九時二十分に準備して十時二十分から練習開始、五時三十分練習終了、反省会となっています。

一回生の練習は、正座、歩き方、道具の扱い方など点前より精神面、礼儀面の鍛錬が中心になっています。

二・三回生は一回生のときの復習及びより高度な点前を練習して、四回生は主に下級生の指導となっています。

まだまだ小人数で未熟ですが、茶道部和経会が今後二十年、三十年と発展していくため、部員一同いっそう努力していきます。

8月 夏季合宿(瀬戸市宝泉寺)  
10月 大樟祭参加 野点  
11月 18回秋季単独茶会  
12月 追コン  
昭和58年  
3月 卒業茶会

我が芸術会写真部は、諸先輩方々の御蔭をもちまして、今年の役員で三十三代目となりました。今後、末長く写真部を続けていけるよう役員一同努力しております。

さて、現在部員は二十八名と非常に少ないのですが、少ない分だけ充実した活動をしております。写真部としてただ単に写真の本質を追求するのではなく、部員相互の親睦を深めたり、他クラブとの交流を深めたりもしています。年三回、各自の撮った写真を持ち寄って批評し合う月例会。今年新たに始めたテーマにのっとって写真を撮る写真を見る会。学祭展示と部員相互の親睦を深める長期夏合宿。各部員の年間最高作品を展示する部展。そして四回生による写真部員としての最後の写真展―卒展。等々数々の活動をしておりま

## 芸術写真部

## 映画研究部

今年予定  
8月26日~30日 夏合宿  
(鎌倉・横須賀)  
10月~11月 学祭展(学内)  
11月25日~30日 部展  
(心齋橋ビルゼンギヤラリー)  
12月6日~12日 卒展  
(心齋橋ギャラリー)

映画を愛するものにとって、映画とは本当にかけがえのないものです。特にすばらしい作品に出逢えた時の感動は、他の何ものにも代えることができません。そしてどちらかと言えば、マイナーな自主製作映画に、時として我々は商業映画以上に感銘を受けることがあります。今年も新入部員が二十八名にもなり、六月十六日の「ごくつぶしの夕べ」においても大成功をおさめ、部員一同非常に満足しております。

こういった自主製作映画を創っている人間にとって、その作品が完成した時の喜びは、本当に言葉では語り尽せないくらい感慨深いものです。これからは皆様に満足していただけるような、自主製作映画を一本でも多く創り続けていきたいと思っております。

## 落語研究会

は〜い! 皆さんおなじみの落語です。まあ、うちのクラブ紹介といっても、そんなたいそうな活動はありません。ただ、みんなが集まって「うだうだ」言って遊んでいるだけです。晴れている日は外で日なたぼっこをして、光合成をしています。そうでない時は、麻雀やっています。

おかげで卒業までには、麻雀は、どこに出しても、はずかしくない腕前になります。しかし、そんな我々でも真剣に落語にとりくむ日があります。それは、毎年恒例の大樟寄席と冬に行なわれる経大上方落語会です。この時はやはり、みんなちよっとマジになって練習します。それから学園祭の時はやはり、いつもヒマな自分たちも、全くヒマがなくなるくらい司会や芸人として動きまわります。まあ、こんなもんです。でも、うちのクラブはとにかく明るく、楽しく、バカバカしく「何をやってもシャレやんけん」をモットーに日夜遊びほうけております。まあ、こんなもんですわ。



# 事務局から

## 便利なコンピュータシステムの名簿です

同窓会独自でシステム化したコンピュータによる会員名簿の管理体制が確立しましたのでたいへん便利にご利用いただけます。左記の通り六種類のアウトプットが可能です。

- 一、郵便番号による都道府県市町村別会員名簿作成
- 二、ゼミ別会員名簿作成
- 三、卒業回数別会員名簿作成
- 四、クラブ別会員名簿作成
- 五、業種別会員名簿作成
- 六、封筒用漢字ラベル作成

したがって、何か合されるためにDMを出される時、あるいは右に該当する事項が発生した時は事務局へご相談下さい。

現在、事務局では原則として十月上旬に一回インプット(会員名簿の修正事項)とアウトプット(各支部

用原簿と澁江送信用ラベル打ち出し)を行う予定です。

それ以外のご用命は、正式に費用見積りをして実費をいただく予定でありますのでご了承ください。

なお、会員各位におかれましては住所変更、呼称変更、勤務先変更、所属部課、役職異動、電話番号変更などの諸変更がありましたら、この「澁江82」に折り込んでありますハガキをご利用のうえ、変更手続をして下さい。コンピュータシステムは、テープ自体の変更を必要としますので、ご協力をお願いいたします。また、このコンピュータを大いに活用下さい。ご用命をお待ちしております。

## 「澁江」郵送料にご援助を

昭和五十七年度予算をご覧いただくとおわかりいただけるように、本年度の澁江編集費は一、二〇〇万円という同窓会全予算の約三分の一を占める巨費が計上されております。これは郵便料金値上げに伴う郵送料増加の結果です。

毎年、発送部数が新会員の増加により約二、〇〇〇冊ずつ増えていくことになり、この状態が続きます

と、来年は、仮に、郵便料金の値上げがなくとも、郵送料だけで約五百九十万円という数字が想定され、同窓会全予算に及ぼす影響が大となります。

つきましては、同窓会の主要事業の一つである「澁江」発行が、この郵送料の値上げを理由に従来のものより質、量ともに低下しないために、会員各位のご協力をお願いする

## きつとお役に立ちます

### 同窓会名簿

限定出版につき残部僅少  
お早くお申し込み下さい。

- ・一冊代金五、四〇〇円(送料込み)
- ・お申し込み方法
- 同封の郵便振替 銀行振込み
- 郵便為替 現金書留
- 宛名 大阪市東淀川区大隅二二二
- 一八
- 大阪経済大学同窓会事務局



次第です。

同封郵便振替あるいは現金書留、銀行振込など、いずれの方法でもけっこうですが、事情ご賢察のうえ、会員各位のご援助をお願いいたします。

なお、ご援助いただく金額には制限はございませんが、会計事務処理上、切手によるご援助はご遠慮下さい。よりよい「澁江」発行継続のためにご協力下さいますようお願い申し上げます。



## 好評の文鎮が少しあります

同窓会で製作いたしました文鎮がまだ少し残っています。

「とてもよくできています」と好評で、飾りにもよく机の上においてもおくだけでもよく、また、子供さんの習字用にも好評です。



ご希望の方は現金書留で五百円ご送金下さい。送料は本部負担です。

## レコードが少し残っています

タイチクで製作いたしました、学歌、学園歌、追遠歌、第一応援歌、第二応援歌、選手送歌をA・B面に吹き込み、原譜、歌詞折り込みのドーナツ盤のレコード「惜春の賦」がまだ少し在庫があります。

ご希望の方は、五〇〇円を現金書留でご送金下さい。送料は本部負担です。

「大へんよくできています」と好評です。在庫のある間にお買い上げ下さい。切手による送金はご遠慮下さい。



## 経大マーク入りキーホルダーが少しあります

立派なキーホルダーができました。特に若い人には「カッコイイ」と好評です。ぜひお買上げ下さい。一コ、一、〇〇〇円です。(送料本部負担です。)ご希望の方は折返しお申込み下さい。学生に好評ですから売り切れのおそれがあります。



なお、銀行振込をご利用の際は  
三和銀行上新庄支店  
普通預金口座番号九三九三三七  
大阪経済大学同窓会

## 同窓会総会ごあんない

とき 昭和57年11月3日午前11時から

ところ レストラン・パレス

会費 お一人¥5,000—

新卒者に限り ¥2,500—

お誘いあわせのうえ、ご参集下さい。ごちそう、記念品もたくさん用意してあります。

一回、二回、三回、  
四回、五回卒業の  
先輩にお願い。

大阪経専同窓会報・第一号の編集後記に「かつて発行されていた、同窓会誌」は戦争のあらしにいつしか押し流され、年を経ることすでに十年……（昭和二十四年三月十一日M.F.生）とありますが、昭和高等商業学校発行、編集者、発行（中村清次郎）、印刷所・共同印刷（株）、昭和十一年八月三十一日発行「会報」第一号は、山本正俊氏(3)のご厚志により同窓会本部で保有することができました。

つきましては、この昭和高等商業学校発行の「会報」の第二号および第三号を探しています。

第一号が昭和十一年八月三十一日発行ですから、一回から五回までのご卒業の先輩で、この会報をお持ちの方は、ぜひ事務局へゼロックスしたものでもけっこうですからご寄贈下さい。

そうすれば、これで全部そろい、復刻も可能になりますし、母校の五十周年記念の一助にもなると思われまふ。古い書類を探していただき、ご協力下さいますようお願いいたします。

新刊紹介

- 上島 武著『模索する現代社会主義』世界思想社 81年5月 213頁
- 鈴木 亨著『生きる根拠を求めて』三一書房 82年4月 374頁
- 成瀬 洋著『第四紀』岩波書店 82年5月 269頁
- 中小企業経営研究所 経営経済 18  
昭和57年3月 153頁  
定価一、一〇〇円
- 中小企業における不等価交換について……平 実、「小売商業・サービス業務集積地域」の環境と景観……竹林庄太郎、都市型中小企業における技術開発力の分析 3……檀上邦夫、土佐（高知県）和紙業の展開過程……高城寛、商業近代化地域計画の策定事業……浜木 泰
- 中小企業経営研究所 竹林祐吉著  
わが国における戦後ボランティア・チェーンの生成と発展

- （調査報告 第5冊）  
昭和57年3月 72頁  
定価六〇〇円 千二〇〇円
- 本書は当業界について多数の診断を行い、また著書を世に出している著者が、新たに戦後のわが国ボランティア・チェーンの発生・発展をできるだけ現実にそくして把握・体系化することによって、ボランティア・チェーンへの評価の盛り上がりを図った書である。
- 経営研究所 渡辺大介著  
管理会計の発展  
（研究シリーズ 第5冊）  
昭和56年12月 64頁  
定価五四〇円 千二〇〇円
- 本書は、過去の事実を歴史的顺序に並べるといふ方法ではなく、本質が一定の形式をとって現象するという発展観に立脚して、管理会計の発展の説明を試みている。ゼロベイス予算、予算と行動科学の交渉および予算の公開という最近の諸問題についても、管理会計の本質を根拠にして、

小生は、今春三月、大阪経済大学理事会および同学会のご好意により『マルクス信用論の解明』と題した著書を上梓させていただきました。これは、小生が昭和四十三年に大阪経済大学の金融論担当に就任して以来の研究成果をとりまとめたものです。

そもそも、マルクスの信用論あるいは金融論は、『資本論』全三巻のなかでも最も難解な部分として知られているところです。というのも、ご承知かとも思いますが、『資本論』の第二巻、第三巻は、マルクスが一応自分の研究を完成させて出版したものではなく、未完成のままに残されていた草稿を、マルクスの死後友人エンゲルスが編集して出版したのですが、マルクスの信用論が述べられている第三巻第五篇の部分はとりわけ完成度が低く未完成的のままであったのを、エンゲルスが苦心して編集したのですが、それでも尚マルクスの論旨を辿ることさえきわめてむずかしいものだからです。

このマルクス信用論の内容の分析検討は、漸く



〈自著紹介〉  
『マルクス信用論の解明』を出版

伊藤 武

昭和三〇年頃になって学界でとりあげられ盛んになってきた部分で、マルクス経済学界のなかでも比較的新しい分野で、学界ではいまなお一致した定説が存在しない分野でもあります。わたくしは、その昭和三〇年当時学生でしたが、『資本論』を勉強して、まったくくんぶんかんぶん分らなかつたことが、その後なんとかして解明したいと思うようになった最大の理由でありました。そこで、本学に金融論を担当することになって以来その研究に専心してきてたわけですが、それぞれの時点で最も重要だと思われる点を論じた論文を発表してきましたが、漸くマルクス信用論の全体的な解明に到達したのではないかとこの頃確信が生まれてきたので、これまで発表してきた論文を集大成して上梓したわけです。その内容については直接本を読んで検討していただくほかにないわけですが、わたくしとしてはこれまで下されてきた誤った解釈を正し、マルクスの経済学体系のなかで信用論の積極的な内容を解明しえたのではないかと一応自負している次第です。

その現象過程を論述している。

記念講演と論文集出版される

倉辻、玉置先生の古稀をお祝いして

倉辻平治、玉置保両先生は、本年三月末で七十歳の定年を迎えられました。両先生の紹介は卒業生の皆さんには不要かと思われませんが、倉辻先生は昭和二十四年以来、三十余年にわたって本学と共に歩んでこられ、玉置先生は十年余りでしたが、大学紛争直後の重大な時期から長年学長職をつとめてこられました。

その両先生の定年、古稀を記念して学内では、講演会と記念論文集の出版がなされました。講演会は、三月三十日、本学の大会議室で行われ、教職員はじめ多数の出席者を前に、倉辻先生は「五十年をあとに」と題し、玉置先生は「言論の自由と不当労働行為」について、各々一時間余り、研究・教育者としての

回顧を含んだ含蓄のある講演がなされました。つづいて、藤田理事長より祝辞があり、鈴木学長より『古稀記念論文集』（大阪経大論集）特集号、五二〇頁）が献呈されました。式典の後、場所を移して記念パーティが催され、二時間余り楽しい歓談がなされました。

なお両先生は、現在も特任教授として、元気に教鞭をとられ、研究の総仕上げをなさっておられますが、今後ともお元気に活躍されることをお祈りし、長年のご苦勞に感謝したく思います。

倉辻、玉置教授古稀記念論文集を含む『大阪経大論集』（年六回、年額二、〇〇〇円）のお問い合わせは本学庶務課までお願いいたします。

# 初めての東京大会で再会 熱海で八期生同窓会開催

「来年は東京で集まろう」を合言葉にお別れた昨年大阪大会に引き続いて、今年は、去る六月五日～六日、熱海・かじか荘本館（第二十七回卒、高野正敏氏経営）において第八期生同窓会を開催いたしました。

当日は、幸い、薫風肌心地よい好天候に恵まれ、中島先生および磯野同窓会会長のご臨席を得て、全国各地（九州、四国、中国、近畿、北陸および地元関東）から同期生三十五名の皆さんが、久しぶりに懐かしい顔をそろえられ、近年にない爽りの多い大会となりました。

世話人一同大いにやりがいのあることを感激いたしました。

思えば、卒業以来四十年を過ぎた今日まで、本当に、色々のことがありました。誠に苦勞の多かつたことと思えます。そして、お

互いに今まで生き残ったことが不思議にさえ思えてなりません。せめて、年に一度位は盃をかたむけ、夜を徹して語り合える機会があってもよいのではないかと、いう率直な心の雄叫びが、これからは毎年、そして、今年初めての東京周辺での開催になったのだと思えます。

願わくば、これを機に、毎年好時期、好場所を選び開催したいと思いますので、まだ会えぬ友を一人でも多く誘い合わせて、元気な顔を見せてもらいたいものです。

本会に、残念ながら、体調悪く、あるいは、所用のため参加出来なかった方々から、それぞれ近況短信が送られており、ご出席の皆さんには披露いたしました。

最後に、本大会開催にあたり同窓会本部事務局からの絶大なるご支援をいただきましたことに對し、また、世話人の方々の数回に

# 同期会



わたる準備打合せ会合に貴重なお時間をご提供いただきましたことに対し、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。  
母校ならびに同窓会のますますのご発展と諸先生方、同期生の皆さんのご多幸を祈念いたします。  
(岡田清記)



## 酒の肴は思い出話

### 六年振りの十二期生会

十二期生会の起源は、米軍の占領下で社会、経済の不安定であった昭和二十三年、桑津兄のお世話により宝塚「相生楼」において第一回目の会合をもち、お互いに生ある喜びを確認しあったときでした。

以来、回を重ねること約十回に及んでおりますが、今回は、昭和五十六年十一月十三日（金）午後六時から、お馴染みの「山中荘」において六年振りに開催いたしました。

当日は、恩師藤原先生をはじめ同窓会本部から磯野会長、萩原先輩が出席され、また、同期生諸兄も広島、高知などからも馳せ参じて、総勢二十八名が出席して盛会でした。

会は桑津兄の開会の辞ではじまり、藤原先生からは学校の近況を、磯野会長からは同窓会の活動状況のお話があり懐かしくもあり、また、楽しくもありました。

その後、会席料理を味わいながら同期生諸兄の近況を含めた自己紹介や思い出話を肴に盃を交わし合い旧交を暖めました。

会がクライマックスに達したところで終宴の時刻、来秋の再会を



約し、学校、学園歌の斉唱と大経大の万歳を三唱して、名残りつきない会場に余韻を残しつつ、暖か

## ひとみ 二三期同期会の集い なぜか亭主の話、花咲かず

昭和五十七年度一三期は東京・大阪が呼応するかのように花も盛りを過ぎた四月に、それぞれ開催しました。

△東京 四月十七日（土）  
六本木 蔵

花の盛りも過ぎた（自称？）十一年が一年振りに集合。「蔵」は小さいながらも落ち着いた、和風建築の料理店。日本料理の伝統を生かし、西洋料理のよい点も採り入れた、目にも美しい新日本料理が、しゃれたうつわに盛り出されてくる。

いつものメンバーに、今回は珍しく大阪から松田（大塚）泰子さんが加わり、「いやァー、しばらく何年振りかしら？」と歓声が飛び交う。仕事をもつ人はその忙

いものを信じ、一層の友情と愛校心をお土産に帰路に着きました。



しさを、子どももつ人はその受験や結婚を語り、亭主の話はなぜか、もうあまり出ず。

会后、みんなで喫茶店「貴奈」へ移り、ここでまた談笑ひとしきり。久野（梶原）芳子さんが、昨年収先生と渡仏され、半年近くパリ滞在（朝日ジャーナル五、一四号より「日本遠近」と題して、目下連載中）されたのに、そのおみやげ話を余り引き出せなかったことのみが惜しまれたけれど、楽し



い集いのひとときではあった。（小駒葉子・三好地栄子記）

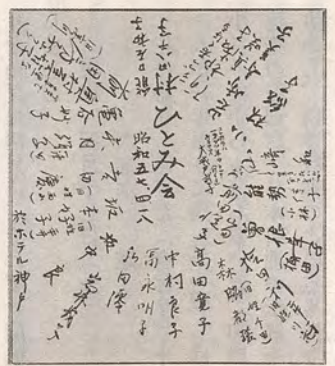
△大阪 四月十八日（日）  
神戸 ホテル神戸

場所は、風見鶏に近いこの町の山手、ホテル神戸の大広間。遠く奈良、京都、大阪からなつかしいお顔が次々と揃い、またなかには卒業以来、初めての方もあり、受け女史（奥村・能口・能勢）は大感激。会食に続いて山崎女史の巧みな司会に誘導され、一同次々と近況報告。その頃には氣勢も一段と上がり、能勢が滞英時代の思い出話——女王とビートルズの国——を披露、あと大城戸・阿部女

### 第3回 同期とは一味違う集い 12回、15回 四期合同同窓会

八月二十一日、阪急グラントビル内、都市文化センターで、第3回、12—15回四期合同同窓会が開かれました。各回十数名、総勢四十四名が参加、卒業後はじめて出

会う方もあって、華麗でにぎやかな一夜となりました。戦中、戦争直後、窓ガラスの破れた殺風景な校舎で過した私どもは、十三、十四回の女子学年を合



史の寸劇——昨秋の香港旅行の一コマ——報告で、爆笑につぐ爆笑、かつての経専時代に一度に戻ってしまった。帰りは三々五々港町の散索にすぎし、また来年の再会を約して散会。来年は京都地区が担当。今から楽しみに。

め、上下学年との結びつきが強い学年でした。卒業後三十五、六年経た今日でも、顔をあわすと学生時代に逆もどり、昔も今も混りあって話が尽きないのが不思議です。一年下に入学してきた男子学生（十五回）を姉さんぶってかわい

がったこと、一年上の十三回女子学年はしっかりしていて個性的な人が多かったこと、十四回の私たちは「とりえ」はないけど優しかった（？）こと、十二回の大先輩は当時、近よりにくいほどまぶしく偉大だったこと……。席上、十五回のおじさんから「お姉さん」と呼ばれると悪い気はしないし、まぶしかった十二回生と話をするとやはり緊張するという具合です。同期の集まりとは一味違う話題がひろがる楽しい集いでした。

松川氏15をはじめ、百野氏12、中山氏15（西宮広田神社宮司）のすばらしく若々しい独唱に感心したり、溜め息が出たり、一同揃って学園歌を合唱する頃には、お酒も適当に入っていい気持でした。そのあと道遥歌の歌唱指導をうけましたが、これはむつかしくてダ

メー、ちょっとびり年齢を感じたのです。

会場は毎回酒井氏15のお世話、料理は吉兆におられた板前さんの腕になる和食の立食パーティー、二次会までセットしてあるという行き届いたサービスぶりに、心から幹事さんと酒井氏に感謝します。席上あまり楽しいから毎年やろうとの声も出て、黒田氏15たち幹事さん大弱りの一幕もありました。比企事務局長のご出席で、一段と花をそえて頂きましたことを感謝して書き添えます。

（文責 柴田14）



四、二十回同窓会の役員選出（常任理事を除く）

- 五、記念撮影
- 六、立食パーティー
- 各人の近況報告
- スナップ写真の撮影
- 七、学歌斉唱
- 解散 十五時三十分

当日の進行は、さっとこんなところであるが今少し発端から、その模様を紹介してみたい。

☆☆☆☆

### 総勢十八名で出発

経大同窓会総会に出席するたびに、二十回生の結果が悪いと先輩諸氏のご叱責を受けること再三。その度に肩身の狭い思いも度重なり、理事三人が相寄り、まず、集まれるものだけでも出発をと一大発奮、今回の呼びかけとなった。その思いが通じたのが、思わぬ顔振れが一人また一人と馳せ参

うれしいことに、藤原、梅田、竹林庄、井手諸先生方もお忙しい時間をさいてご臨席いただき、話

驚ろかされた 諸先生の若さ！

じ、遠くは九州、北陸から遠路はるばるやって来てくれるものもあり、定刻過ぎには十八名が文字通り二十八年振りの顔合わせとは相成った。

十二時三十分、一応は、会の形式をとって開会。まず、川野常任理事より今回の趣旨を熱っぽく説明があり、二十回生の結果を、今日の参加者全員で輪をひろげてゆきたい旨、呼びかけの言葉のあと、

## 甦える学生時代 第20回卒業生 二十八年振りの集い

とき 昭和五十七年三月七日

（日）

集合 十一時三十分  
開会 十二時三十分

ところ 経大同窓会ホール  
ご来賓 藤原、梅田、竹林庄、井手各先生（順不同）、比企同窓会事務局長  
同窓生 十八名

次第 一、今回の会合趣旨説明  
二、来賓諸先生のコメント、ご挨拶  
三、会計報告と今後の運営について

ご来賓諸先生方より、一人づつ、経大の近況、先輩諸氏の各界での活躍振りについて説明があり、果ては二十回生にもっと結集をとのげきまでいただくことになった。しかし、その内容もさることながら、諸先生方のお話し振りにはわれわれも一同が驚かされた。老いてますます盛ん（誠に失礼）というか、熱弁また熱弁、若いものわれわれが圧倒される勢いで、同窓会の意義をコンコンと説



かれるに至って、今さらながら、われわれは若さを失いつつあったのではないかと感じさせられることしきりであった。

これからこうして行こうとの考えまとまる

つづいて、今回および今後の会の運営面について山村常任理事より提案があり、了承を得た後、二十回卒業生同窓会の運営委員選出の動議が出され、「お前やれ」、お前こそやれ」となかなか決まらず、やっと理事側よりの提案で西仲章治、打出清、井上貞夫、小村敏一、中嶋将雄の五氏に決定した。そして、同窓会事務局長比企先輩より同窓会旗の寄贈を受けていよいよ結束の意気が高まってきた。

今回出席できなかった諸氏にも今回の記録を送って意識昂揚を図ると、各人が知る限りの同窓友人に呼びかけ、十一月三日の同窓会本部の総会に二十回同窓生が、さらに結集するよう協力することを申し合わせて、一応正式の議事を終った。

ここで動議があつて、二十回にちなんで、今後われわれの会を

「ハタチ回」にしてはとの意見があり、全員拍手で賛同して小休止に入った。

楽しみの時は流れて

はや昼食時とつづくに過ぎて全員腹ペコではあったが、せっかくの機会ゆえ記念撮影をということ、出口氏の名？カメラマンによって全員勢ぞろいでパチリ。

直ちに立食パーティに入る。

ここで各人が自分の近況をそれぞれに報告。ユーモラスあり、真

面目ありで雰囲気もますます盛りになる。学生時代からマメな小林敏一氏がポラロイドカメラでその模様をパチリ、パチリに全員大喜びのうち、時はいつの間にか流れてそろそろお時間。全員が肩を組みあってドラ声張り上げて学歌大合唱で、残念ながらのお開きとなった。

名残り尽きぬまま、やがて三々五々、十一月三日の再会を約して、懐かしい思い出にひたつた一日はその幕を閉じた。（吉村記）

## 情報交換等に多大な成果

### 商業建築研究懇話会

次成果を挙げつつあります。

何卒今後共、同窓会の諸兄弟の御協力、御鞭撻の程お願い致します。

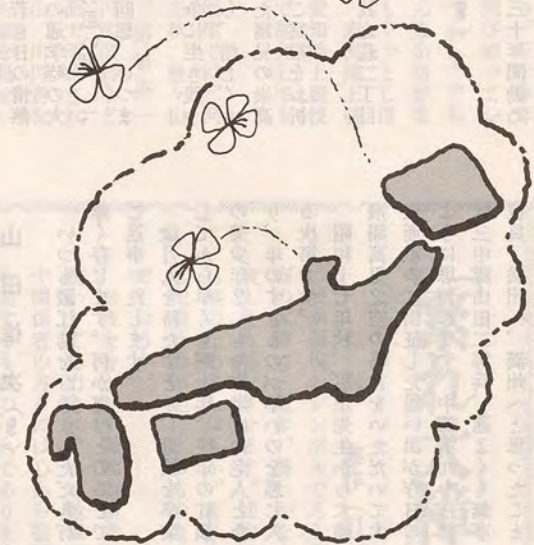
（第八回卒 柴田 記）

事務局長 足立武敏（第八回卒）

先号の澱江誌上で、本会の設立趣旨及活動状況等を掲載していただきましたところ、予想外の同窓生諸兄のご賛同をいただきました。有難うございました。

現在会員数も増加し二〇名を数えるに至り第四回卒の山添先輩をはじめ、第四十七回卒の松藤君等と幅広い会員諸兄を迎えまして、会員相互間の情報交換及関連するビジネス活動等、逐

# 北から南から



## 大西 隆 蔵 (3)

第三回卒業生で年二回、新年会と旅行会を毎年続けている。「呼友会」の旅行が、今年も旬日に近づいて、何となく心楽しい。昨今、久しぶりに会う友、珍らしく今年も参加する友、東京地方からも数名参加とか。学窓を巣立ってから四十数年過ぎてもまた集って昔と同じように話し合える懐かしい顔のみるだけでも心が潤う。

私のように停年を迎え「毎日が日曜日」の生活を送り、迎えているものにとって、まだ第一線で活躍中の級友諸氏の話聞くこともまた心楽

昔の思い出を辿って越えてきたことどもを懐しむ心と。

写経の筆を休めて五月雨の庭をふと見ると、南天の木の花先から若芽が一杯両手を伸している姿に若い季節の息吹きを感じる心と。

終章に近づいた人の心の綾糸は次々とその頁を重ねて行く。

近況を拙文に託して、日頃から「澱江」の編集と育成に労を尽しておられる諸氏にお礼かたがたお便り申しあげる次第であります。

## 遠藤 米 雄 (6)

卒業と同時に満州飛行機に入社。一年後に現役で満州、虎林、第一四三連隊に入隊。予備士官学校を経て、任官と同時に南方戦線に転属、ラバウル、ビルマと転戦、九死に一生を得て、二十一年に六年ぶりに故国の土を踏んだわけです。以後、電機会社、フェリー会社と歩み、現在、神崎電機富岡工場における原材料及び製品受入出荷業務を受け持つ会社経営の一端を担って、元気で頑張っている今日此の頃です。

同窓会の益々の発展を祈ります。

## 三好 悌 彦 (6)

六回卒、神戸在住の三好です。六回と言えば、六十三歳内外、現役からはもうすでと思われるでしょうが、ドッコイ皆それぞれに元気で活躍しております。神戸近住を含めて、いつでもひよいとお会い出来る友人は、順不同で、土手勤次君、西山良之君、戸田秀親君、大西進一郎君、山崎祥一君、中田富雄君、能本欣一郎君（淡路）、長谷川平八郎君、中島公夫君、野草昇君、柏木孟君（病気で卒業はあと）、もっと書き

たいが神戸近郷と言えないので残念ながら割愛。同窓会神戸支部総会も、七月十日（土）、パワーサイドホテル五階で開かれます。六回は皆がんばってますよ。永眠された本保羨男君、松村隆雄君、柏木得二君の霊に黙祈を捧げます。林穰吉君と近頃連絡がありませんが元氣かしら？

秋 元 淑 男 (7)

一昨年、チッソ（株）子会社を退職し、個人にて樹脂ならびに同二次製品販売の商社を経営いたしております。

## 稗 田 正 太 郎 (8)

五月一日、朝からしっとりとした春雨の庭のボタンの花を眺めながら、美しいこの花も小雨にたたかれ、美の謳歌もあと二、三日の哀れさを、ふと煙草をふかしながら考え込んだ。広い地球のかたすみ、大都會に集まる人間、お互い富と榮誉と自負心を競い合い、喜怒哀楽のさいはては死という絶対の運命のはかな

さしみ感じる年頃になった―日記より―

昨今は、子供三人のこと、孫四人のこの雑念より逃避行の仏壇への読経に時を過す時、静かな心境に入れる。釈迦「念仏の衆生をみそなわし給う」とは、かつて渋谷高師の講義の一節、今になって解ったような気になる。

愚息三人と離れて、女房と二人きりの年金生活にはまだまだ早や過ぎることは承知でも、体力的に人並について行けなくなった悲しさ。たまには読書、目下、庭いじりや日曜大工のまねごと、体力造りに余念がない。時間と間をもてあますにおいては誠になげかわしい次第。だが、一方、心の奥には今なお若き日の情熱は残っている。旧じつの通学時の大隅通りの追憶、交友との思い出、二、三の好きだった講義の回想、いつまでも懐しく楽しい。

今日、幸いにも、戦争に生き残った幸せをかみしめながら、惜しくも物故され御仏とられた諸兄の崇高と名譽をたたえ心より冥福をお祈り申しあげます。

### 飯田 秀二 (9)

昭和五十五年三月に三十年間勤め

役員などおも仰せつかり、三十余年にわたり随分あちこち飛び廻っておりますが、今の職についてからは、とても時間的にそんな余裕がないので、今では世話役もぐっとしぼり、日本陸連の評議員、東海上競技協会理事長、および愛知陸上競技協会副会長の役目だけで勤弁してまわっています。

この名古屋近辺の十回生では、河盛富三、中川進、加藤正秋、榎山山誠、石川保治（尾鷲）、馬場英一（岐阜）、青山鈺三、川田武彦君などの諸君が健在で、各方面で活躍されていますが、馬場、青山、川田君を除いては毎年同窓会にも顔を見せ、十回生だけの二次会は、口達者を論客揃で中々にぎやかです。

わが家から五〇メートル離れていない所に、一級下の青山貞二君と二級下で私の弟の翠高明が住んでおり、ともに東海銀行のOBで、それぞれ傍系会社の重役として活躍しております。

私ごとですが、長男は東海銀行の本部に勤務しており、ごく最近、隣へ引越して来たので、休みごとに二人の孫を乗せてドライブするのが、ゴルフとともに私の大きな楽しみの一つです。二男の母校のグラウンドに近い一津屋のダイキン工業に技術屋として八年前から勤めており、阪急

た兵庫県尼崎市公立小学校を退職しました。健康で働けたことを感謝して居ります。

退職後は自分の人生をすすめて行くつもりで、在職中に不動産の勉強と経験をたずねて参りました。現在は、年金と不動産所得で生活しております。私のような昭和系高商出身者は、現在の大阪経大の出身者と知らない人が多いようです。（アルバイト先での話です。）当然のことと思いますが……。

### 山田 信次 (9)

いつも濠江誌をお送りいただき有難く存じます。何か書けとのことでご返事いたします。

歳月人を待たずとか、母校を卒業してから早くも四十年。往年の紅顔の美少年？ も今や半ばの老人となり、年のすぎるのが早いのかを感じ入る次第です。

昭和十七年秋、黒正先生から大鷗飛翔萬里之空の格言をいただいて大東亜戦争に出征した思い出が昨日のように思われます。中部第九十八部隊三中队山田二等兵、運よくも無事復員。満州へ、満州へと思ったこと

は夢のまた夢となり、兄の戦死により家業の蒲鉾屋を継ぐことになりました。

以後三十五年、今や社長以下四十人の小さな蒲鉾屋の親方または社長として自営をやっております。

これまで何回か同窓会にも出席しておりますが、見るたびに立派な建物ながら、今昔の感で一杯です。そして欠点を探すなら、宣伝が足りないような気がいたします。戦後創立の各大学が学校の存在を強く宣伝しているのに比して少し淋しいように存じます。母校がますます発展する様子をわれわれの耳目にもっと表していただきたいと感じております。単位同窓会にはたびたび出席して交流を深めております。

### 翠 忠明 (10)

われわれ十回生が卒業したのは昭和十八年九月で、すでに三十九年前のことになりますが、私はその年の十二月二十五日に岐阜の部隊に現役として入隊し、すぐに南支へ送られ、そこで三カ月の初年兵教育が終わり、経理部甲種幹部候補生に採用され、広東における六カ月の経理教

育を経て南京陸軍経理学校に入校し、二十年五月に同校を卒業後、直ちに内地に帰り、名古屋陸軍糧秣支廠勤務となり、そこで終戦を迎えました。

南京の経理学校では同級生でサッカーのキャプテンをしていた大谷一三君や一年先輩の西沢敏夫氏と一緒にしました。

引続いて、長年にわたる区画整理の経験者ということで、名古屋市の外郭団体である財団法人名古屋土地区画整理協会の副会長を命ぜられ、専任の責任者として、法人の経営や事業の推進に席の温まる暇もなく、元気で、東奔西走しております。

なお、私は前から陸上競技をやっていた関係で、戦後、陸上競技会の審判や運営を手伝っているうちに、地元の大大会はもちろんのこと、オリンピック、アジア大会、国体など全国各地の主要な大会にも引張り出されるようになり、加えて、全国的な組織をはじめ各種スポーツ団体の

## 「繁れ大樟」

楠 喜作 (21)

我が母校のシンボルである校庭の大樟は、近年、勢いがなく衰えさえ感じさせます。建物の日隅のためでしょうか。それとも栄養分の不足によるものなのでしょう。

日夜を分かたず母校の運営に携わりご尽力されている教職員や関係者の方々には心から敬意を表するもの一人でありますが、日頃、母校について感じていることをせんえつながら若干述べさせていたただきたいと思えます。

大樟大のカラーは外観を追求のではなく、地味で堅実なのが特徴だとされています。しかし、これだけでは数多くある大学の中で大樟大だけが取り残されてしまいうる気がします。時代の流れにとり残されないうちの方法はいろいろあるうかと思えます。校地の移転や学部の新設等、次元の高い話はさておき、実現が容易で可能であると

思われることを二、三提言させていただきます。

まず、「大樟大」の名を世間知ってもらうことが第一です。学問の府として品位を保ちながら積極的なPRが必要で

か。かつて、野球部が関六で優勝した直後に開催された同窓会総会の席上で、玉置前学長先生は「私はあらゆる会合で大樟大の生い立ち等を話しPRに努めているが、ある時、相手さんから先に、野球部で優勝した大樟大さんですね……」という意味のお話をされたことを思い出します。

知名度を高めるためには、例えば、広報活動の充実、学外での学術講演会の開催、通信教育講座の開設、各種学校の経営、タレント教授の導入等々がありますが出来れば広告代理店に系統的なPR企画をさせてはどうでしょうか。

また、五十年という長い輝かしい歴史を持つ母校ですが、その母校の教職員の中に経大の卒業生が果して何人いるのでしょうか。経大が燃えない一つの原因がこの辺にあるのかも知れません。故郷や母校を愛さないものはいないと思えます。もし、かれらが活動してくれば、母校の発展のために、ひと味違った情熱を注ぐであろうことを確信します。

以上述べさせていただいた他に、更に、良い施策があるでしょう。要は何かをやらねば、このまま寂け閉じこもっていつかは、じり貧だと言いたいのです。

大樟大の受験生を増加させるために、新興の大学に追い越されないために、名実ともに社会に認められて、学生が引く手あまたに受け入れられるために。私達、同窓生は関心を持ち、母校を盛り立てようではありませんか。

大樟の緑が甦り成長する姿を黒正殿先生はきっと見守って下さるものと思えます。

京都線の南茨木駅の近くに住んでお

ります。ところで、わが家は名古屋  
で有名な東山公園、平和公園に接し  
た新興住宅街にあります。名古屋  
オリンピックの主会場が隣に出来る  
ことになっていたので、静かな住宅  
環境を壊されるのを悩んでいました  
が、オリンピックが幻に終わったので  
この面ではホッとしております。

さて、長々と卒業後の動静や近況  
をつづりましたが、長いことご無沙  
汰している数多くの旧友に元気でい  
ることのお便り代わりにさせていた  
だきます。

### 川合 伊和夫 (11)

左記のところに勤務致しております。

大和高田市大字市場三五五(株)

セイコー社常務取締役

来年は六十歳になり、年金受給の  
年齢となりました。

家族は家内と二人きりです。娘  
(昭和二十五年生)は和歌山へ嫁  
ぎ、息子(昭和二十七年生)は嫁を  
もらって独立。孫の顔を見るのが楽  
しみとなりました。

同窓会も出席せず誠に申し訳ありま

せん。ただ、会誌「澱江」を見るの  
が待遠しいです。

### 今井 親義 (11)

三十二年間に亘り勤務しました大  
和製鋼(株)を去り昭和五十三年十月よ  
り現職に勤務しています。戦時下の  
学窓を急ぎ果立って離れた学友其の  
後健在ですか「澱江」にドンドン投  
稿して近況を知らせて下さい。

上り下りの新幹線の車窓に寄り添  
い現在の立派な学舎を目の前に見  
て、当時の下駄履通学を偲び感一入  
です。

社会に出て黒正校長の頑張りイズ  
ムは私の座右の銘であり、これが学  
舎で得た私の唯一の資産です。

### 松 永 仁左久 (11)

同窓会名簿よりの無作為抽出で投  
稿の機を得、先ずは、編集部へ奮闘  
を謝し、同窓会の発展を祝します。

思えば、約四十年前、浅沼師の主  
幹統率による学内新聞班に属し、班

## 「硬式野球部の活躍に 母校発展の兆を觀た」

田中 伸幸 (34)

母校創立五十周年の伝統は世  
に数多くの人材を送り出し、広  
く社会に貢献、活躍させている  
ことを誇りとしております。私  
も社会人となり、早や十五年目、  
社会の中堅人として、母校の活  
躍を顧みる機会を持たたことを  
喜びに思っております。

母校のことは、常々、心の中  
にたむろして離れたことなく、  
母校を卒業したことを、常に、  
「感謝」と「誇り」に思ってお  
ります。時折新聞のスポーツ欄  
や、週刊誌に見る「大阪経大」  
の文字を見つけて、喜びと誇り  
に、心を躍らせております。

さて、私が総合的な活躍を未  
だ見聞しておりません。私が言  
及するまでもなく、世間の母校  
への評判は下向するばかりであ  
ります。学校当局や諸先輩の鋭  
意努力は何十年間も実らないの  
でしょうか？ 母校は、黒正先  
生が創立されて以来、五十才を  
迎えるようとしております。その  
間、新興大学の台頭、「関関同  
立」の活躍に比べ、母校の学術

関係は無論、スポーツ関係に於  
いても取り残されております。

定員増、新学部増設、学生、教  
授陣の質の向上、大学院卒業生  
の母校での教鞭の希望への道な  
どの諸問題は一つとして未だ  
実現されたことを聞いておりま  
せん。私学としての経大が、将  
来発展、活躍する為の具体策  
を、本当に、真剣に理事会、教  
授会、同窓会で取り上げられ、  
実行されているのでしょうか？  
わが母校、経大は学校当局や教  
授会だけの経大ではなく、今や  
数多くの人達の経大であるはず  
です。

歴史がただ古いというだけ  
はだめです。母校の発展や活躍  
がないのは一種の社会悪でもあ  
ります。母校の発展こそが、わ  
れわれ卒業生の誇りでもあるは  
ずです。今こそ一致団結して母  
校発展のために努力すべき時で  
あると確信します。

そんな折も折、硬式野球部の  
関大での優勝、明治神宮大会へ  
の出場は近年にない母校への希  
望の明りと誇りを感じました。

員七七八名で、起稿から始まり、広  
告とりはもちろん、編集、校正、印  
刷、発送まで勉学の余暇を縫いつ  
つ、空腹を抱え奔走、今さらながら  
走馬灯の感。(以上回顧)

昨秋、十一月中旬、大阪・山中荘  
での十一期生会。全くの盛会、なか  
でも庄巻は、身体不自由な榊原君の  
自己紹介を代弁せし桑津君の友情を  
超越したる行動に居ならぶ諸兄しば  
し沈黙、その間終始微笑をもって懐  
しむ榊原君、思わず両君に送った大  
喝采、強い絆に結ばれた人生の一端  
を垣間見たことであった。(以上感  
激)

次第に寄する年波、いかにして不  
自然な食生活から逃れ生き長らえる  
か？ を考えるようになり、少しで  
も世間に役立つべく、自然、健康食  
品の製造・販売に参画、あと少し活  
躍出来そうです。(以上近況)

### 二宮 朗 (12)

私たちは昭和十八年四月に昭和高  
商に入学。一年半余りは平穩な学生  
生活でした。私は大阪市東区の親せ  
きの家に下宿していましたので、毎  
日新大阪電車で上新庄駅で降り学校  
までの道程を歩いて通いました。当

時は学校の付近は田圃が多く、小さ  
な川が流れており、休講の折、時々  
のぞいた喫茶店のようなものがあっ  
た記憶があります。以来、一度も行  
ったこともないのですが、昔のたた  
ずまいが懐しく思い出されます。

その後、戦争の激化とともに、勤  
労動員で工場で働くことが多くな  
り、大阪の湯浅伸銅所で働いている  
頃、昭和二十年三月の大坂大空襲で  
罹災し、九死に一生を得ました。し  
かし、すぐ学徒動員で召集入營。高  
知で終戦を迎えました。以来、老父  
母のいる田舎で中学校教師の職につ  
いてから三十五年、ようやく定年を  
迎える年齢になりました。時間のゆ  
とりがあるようになったら機会をみ  
つけて母校の新しい姿を見に行きた  
いと思っています。

母校および同窓会の発展を祈って  
います。

### 沢井 千代子 (13)

「澱江」をいつもなつかしく読ま  
せていただいております。  
卒業してから三十余年。その間、  
一昨年、十余年寝たきりになりまし  
た母を送りまして、現在は、私も体

さらに、関西六大学の分裂に  
みる、「関関同立」(世間がつけ  
た名称)の異常なまでの誇りは  
すでに一流新聞でも取りあげら  
れ、硬式野球というスポーツだ  
けの世界にとどまらず、大学と  
いう総合的な伝統と誇りとが、  
教育界にまで繰り広げられた事  
実として考えるべきでしょう。

彼らの目的はスポーツの代表と  
なっている硬式野球部を使いイ  
メージをアップさせ君達とは違  
うのだ、という異常なまでの誇  
りから出たものだとも推測されま  
す。

そのことは次の事実でも証明  
されるでしょう。経大での関六  
の優勝の時、何んと多くの経大  
卒業生が、今まで誇りと希望と  
をともに失いかけていた人達ま  
でが、「私も経大卒です」と名乗  
りあげた誇りの大切さを母校の  
理事会、教授会、同窓会の方々  
は、どう受け取られてますか。  
「母校の誇りと希望を関六での  
活躍に見た」と声高らかに叫び  
たいと思います。

学校当局へお願いいたしま  
す。「文武両道」という昔から  
の言葉通り、学術関係のみなら  
ずスポーツ、芸術はもちろん、

学外活動は、特に、母校の名譽  
と誇りとを各人各様、胸に抱き  
頑張っているものと確信いたし  
ます。われわれもわが母校に誇  
りをもって日々、社会の一員と  
して活躍しております。母校を  
愛する同窓生は、すべて母校発  
展のためにはいかなる努力もお  
しまないで協力するでしょう。

母校のイメージをアップさせ  
るため、「地味さ」、「謙虚さ」  
も程々に、得るべきものは得  
て、世間に広く、高く評価され  
るよう、さらに、一層の発展を  
期待し、将来に向けて活躍あら  
んことを学校当局、教授会、同  
窓会にお願いします。

最後に、硬式野球部の関西六  
大学連盟への新加盟の決定は、  
目に見えないが、経大のイメー  
ジをアップさせるのに大きく貢  
献したと思います。また、今後  
の活躍は、学校当局、同窓生諸  
君の応援にあると思えます。  
「関関同立」の誇りに負けるこ  
となく、新興大学にも追い越さ  
れることなく、学術面、スポー  
ツ面の両道において、誇りの持  
てる優秀な根性のある人材が、  
母校より社会へ数多く輩出され  
ることを期待しております。

調が悪く、ほとんど京都を出ることもなく、弟夫婦とともに、過ごしております。

入学が昭和十九年、卒業が昭和二十二年の戦中、戦後のあの時期、諸先生から受けました講義、お人柄、いつまでも私の心から離れません。皆様にも、お会いできてよかったです。思っております。

母校の発展を心より念じております。

### 中山 隆 (15)

先の西宮支部の同窓会に出席しましたが、八木支部長の西宮市長当選後初の会で、八十名をこえる出席があり喜ばしいかぎりでした。

近頃は各処で大経大卒業生の活躍を耳にすることが多くなり、私が卒業した頃と比べ雲泥の差があり、今後ますますの発展を期待しております。

私の勤務しています広田神社は阪神間唯一の元官弊大社で、毎年阪神タイガースが必ず参拝するので有名ですが、昨年十月十二日夜放火により本殿を焼失しましたが、ご神体はご無事、拜殿、社務所も無傷であったことは不幸中の幸でした。

### 三浦 重男 (18)

おかげをもって小生、健康にて頑張っております。ご休心の程を……。大学の発展を心から切望いたします。

併せて皆様方各位のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

申し遅れましたが、年を経ることに大学が思い出されるようになりました。もう一度ゼミを受けて勉強したい気持です。

### 花宮 両一 (20)

二十回卒学年次の同窓会に出席して……。

三月初旬、久方振りの友人の電話に呼び出され、九州より夜汽車に揺られて、早朝大阪着。

卒業以来初めての母校訪問として、これも三十年ぶりに大阪駅前よりバスの人となる。駅前はもちろん街並の変っていることは予測していたが、天六周辺では方向さえわからなくなる。経大前で下車……。母校の変わり様に、おのほりさんよろしく、うろろう……。やっと校門でなつかしい記憶にある顔と出会い一安心。

八木先輩(西宮市長)をはじめ市民の皆様のご協力によって二年以内に復興することとなり着々準備を進めています。なお、皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 矢田(城戸)喜夫 (18)

一、永年東京駐在で営業部門にりましたが、数年前から神戸の本社に復帰しております。

非鉄金属精錬業種の太陽鋳工(株)の役員をしており、傍系の東邦金属、日本精化(株)にも関係しております。

二、関西を離れていましたので、同窓会には不義理し申訳なく思っております。

三、納所氏(日産火災) 田中氏(日立金属) 岡田氏(太陽神戸)のほかに岸上氏(上組)等と親交があります。

四、鮫島氏のご栄進を新聞で知り、上京の際、一度拝肩の機を得たく思っております。

久方ぶりの恩師の、友人の顔、声、くせ……。三十年の時を忘れた楽しいひとときでした。この様な和気あいあいの師弟関係が続く経大であってほしい。その想いを持って十二時間の帰途の旅人となった。

### 間 敏幸 (21)

一、二年半前、四十八歳の抵抗で脱サラし独立しました。サラリーマン生活は二十四年間でした。現在、経営コンサルタントとして東京・神田に事務所をおいています。独立の厳しさを充分に味わっている最中です。三年間はまずしんぼうが必要といわれていますから、あとしばらくという状況です。

一、母校の発展は噂として聞く程度です。しかし、関西の名門校として着実に実績をつけていることを誠に喜ぶお慶び申し上げます。

平常は同窓会のことでも忘れていますが、出来れば縁を深くしておきたいと考えないではありません。しかし、遠ざかれば遠ざかる程関係がないことになってしまいますので、このへんのところをむつかしいところ

## 東京 漁火

### 西山 昭吾 (16)

東京で「こんないい店見つけた」。それが「炉端焼 漁火(いさりび) 八丁堀店」である。

和牛のたたき、信州の馬刺をはじめ幕の内、天ぷら定食、刺身定食、漁火弁当などなど一品からエコーミーコース、会席コースにいたるまで日本料理なら一切おまかせを!!。お一人でも、アベックでも、また、団体でもご心配なくご利用下さい。九州特産のむぎ焼酎「玄海」の盃を傾けるのもまた一興でしょう。

会合には、是非、漁火をご利用下さい。「幹事さん、もうご心配はいりませんよ!!漁火がすべてお引受けいたします」。ご希望があれば「カラオケ」も準備しております。

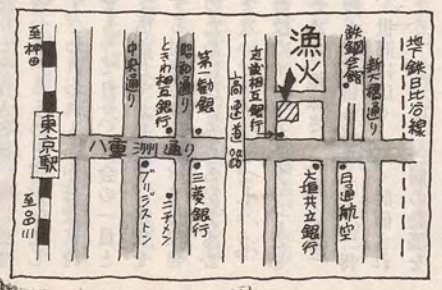
一度ご利用していただいたら、また次も……ということになるよう従業員一同心がけております。「論より証拠」

ご来店をお待ちしております。電話も「ここが一番苦にならない」(五五二一九二七七)で、これが当店の総てを表現しております。

また、本店の「さぬきうどん店酒屋 漁火」も八丁堀店同様お引立下さい。

営業時間は十一時から二十二時までです。ただし、日曜、祭日は休ませていただいております。

同窓生の皆さん。漁火八丁堀店へお電話下さい。商売抜きで公私とものお世話をさせていただきます。



## 見拝店のお生の窓同

私の今の仕事からいっても、母校の発展は大変望ましいことです。どうか出席し易い動機をつくって下さい。お願いします。

### 中村 昭吉 (21)

同窓会の諸兄にはお変わりございませんか。小生、厳しい環境下にある鉄鋼関係の営業マンとして頑張っております。

学生時代には硬式野球部員として活躍しておりましたが、昨年の同部の成績が気になります。もう一度初心に立ち帰って、立派な成績を残すよう頑張ってください。後輩も当社野球部で活躍しておりますので念のため。

### 上野 和夫 (21)

ご指導いただいた諸先生を初め同窓の諸兄にはご健健でご活躍のことと存じおよび申しあげます。戦後の学制改革直後の時期でした

が、精一杯の学生生活が懐かしくきたときも忘れることが出来ません。

地元大阪で伸銅品(管・板・棒・線等)の仕事をしております。複雑な社会経済事情のもと寸時も気を抜くことが出来ない毎日です。ご用の節にご連絡下さい。

母校のますますのご隆盛を願ってやみません。

### 森田 利一 (22)

卒業してはやくも二十六年、いつのまにか中高年と呼ばれる年代に入りましたが、まだまだ三十代の気力で頑張っております。

さて、簡単に近況報告から申し上げます。

一、小生、高層ビルが林立する大阪駅前のマルビルに勤務しております。ホテルあり、ファッション店舗ありで、毎日、多くのヤングギャルに刺激されて、おしゃれにも気をつけております。

二、母校も着実に発展をとげ、評価を高めていることはうれしい限りですが、なお時代の要請を先取りするような学問の府として、学部の増設や充実を期待いたしております。また、五十年、六十年といった



節目を利用して世間に大阪経大を広く知らしめる行事があってもよいのではないかと存じます。いかに良い品でも宣伝が必要なことは現代ではやむを得ないと思います。また、大阪の都心近くに同窓会クラブのようなものがあれば、情報交換や相互の絆を強めるのに便利かと思えます。

三、大阪マルビルにも同窓生が三人おられます。仕事の関係で仲々一堂に会することができませんが、友情をふかめそれぞれに頑張っておりす。

終りに、濠江当事者の皆さんのご苦勞を感謝申し上げ、ご健勝をお祈り申し上げます。

川口啓一(23)

学校を卒業して九十二年勤務していた日本道路公団鳴門フェリーが、昭和五十三年六月、事業閉鎖して以来四年、あわせて二十五年。その間いろいろなことがあり、現在、デリカ・テッセン(惣菜)の会社で営業主任という肩書きのもとに走りまわっています。免許証を取得して以来十四年余、全然必要なく今迄やって来ましたが、今年から車に乗っ

て頑張っております。

近くに大型流通店があり、そこに、最近、惣菜部の長として、わが経大卒業の後輩が、これまた、頑張っております。毎週注文をくれるので、その日に会えるのが楽しみといった現在です。

土井基次(23)

一、近況。元気で仕事に励んでおります。

二、同窓会および母校へ希望。「濠江」が、年々、内容が充実して、よく判りますので感謝しております。

三、同じゼミの連中で、一度、集合しようとして、日産化学(株)福岡支店の林安之君と話し合っておりす。

最後に、経大同窓生のご健祥をお祈りします。

山口輝雄(24)

同窓の皆様にはご壮健にますます

下宿に帰るや、夕食もそこそこにお田道場へ駆けつけて習った合気道。私にとっては、思い出を語るも、近況を報告するも、この合気道なくしては出来ません。合気道部二十年の伝統の中、百数十名のOBが数々の思い出を残し卒業してゆきました。

なかには、野村君(四十四年卒)、本沢君(五十年卒)のように内弟子となつて、関西地区各大学の師範代として活躍しているものもいます。それぞれの分野で、部活動四年間に培われた根性と忍耐力で頑張っています。唯一つ残念なことは、部員第一号の新早君(四十年卒)が、療養のいかなく昇天されたことです。衷心よりご冥福を祈りたいと思います。

さて、私自身、現在、毎日、夕方六時から八時まで、広島県立体育館の合気道講師の一員として、稽古指導に励んでいます。そして、五日市町町会議員の島村君(四十四年卒)、呉の上野君(四十八年卒)、それにまた、福山地区の指導には六代目主将の藤井君(四十四年卒)等経大OBが仕事の合い間に駆けつけて協力してくれています。

このように、合気道は、私の心の古里であり、よりどころであり、よき後輩達に恵まれたことが自慢の種でもあります。毎年新しい芽がふき、花が咲きながら、経大合気道の

幹は益々たく成長してゆくことでしょう。

二、同窓会広島支部は、佐々木支部長のご尽力により、毎年盛大に総会が催されていますが、三十〜四十歳代の参加が少なく残念です。広島近郊におられる方は是非一度参加して下さい。多分、二度目からは、万端を練合せても出席されることと思えます。

それから、私自身の体験でもあるのですが、転職、転勤、転居等により住所移転をした時を機に同窓会と縁遠くなつてしまひ。行方不明者となる人が多いと思います。(私も同窓会に出席しておりながら、本部では行方不明者の一人になっていました。)連絡をしない本人の責任でもありませんが、つい忙しく、まして、利害関係がないだけに、同窓会への連絡を忘れてしまうのが人の常です。せつかくの貴い縁を生かすためにも、色んな案をもちより、検討していただきたいと思ひます。

母校の発展と同窓会の強い結束が、今後より一層経大健児の意気を盛んにしてゆくものと確信します。今後ともよろしくお願い申し上げます。

すご活躍のことと拝察いたします。

神武景氣のまっさかりの時期に社会人となり、黒正イズムを念頭にひたすら前向きに仕事に取り組んで二十数年が、光陰矢の如く過ぎ去りました。おかげさまで、大きな怪我や病氣にもならず、子供も育ち、ようやく平穩な生活ができるようになりました。

人生峠も半分以上を踏破したようです。やがてくる高齢化社会で余生を送るについての思案をはじめている今日この頃です。

母校も、年々、その名声が高くなり、キャンパスも立派になり、大変心強く感じています。一層多くの優秀な後輩が育つことを期待する次第です。

末筆ながら編集部の皆様のご努力に深く感謝申し上げます。

追伸。演劇研究部OBの皆様。いかがされていますか。お伺い申し上げます。

山中克吉(27)

いつも「濠江」をお送りいただきありがとうございます。卒業して、

早や、二十一年がたちました。この間、西へ、東へと転勤を重ね、現在、島根県松江市に居住しております。

家族は、子供の学校の都合で、妻と息子(高一)は大阪に在住。小生と娘(高三)は松江市で暮らしており、目下、家族は分裂状態です。小生は囲碁とゴルフでストレス解消を図っていますが、来年度受験の娘の精神状態が気になる昨今です。

古谷貞雄(28)

一、思い出と近況。昨年十月、大阪中之島公会堂で「合気道部創設二十周年記念演武祭」を行いました。タイムトンネルのように、筆を運ぶうち、学生時代の思い出が戻ってきました。

ディキシーランド・ジャズの魅力にとりつかれ、トランペットを手にバンドを組み、旧本館二階の講堂を借りて練習し、同窓会の招きで演奏旅行に行ったのが昨日のようです。(同期生のトロンボンの根本君、クラリネットの河野君、ピアノの片岡君、それにリズムセクションの後輩諸氏、皆さん元気ですか。)そして、

同窓生のお店拝見

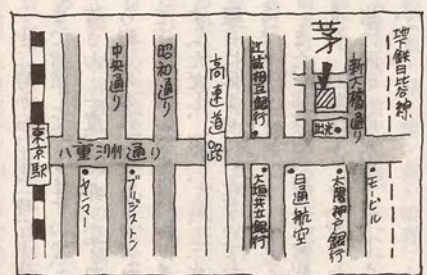
東京 茅



小林 佳彦(25)

「とんかつ茅」ののれんをくぐる。マスター(小林佳彦氏25)が愛想よく迎えてくれる。カウンターに止まり木が十二、これがこの店の雰囲気象徴している。家族的雰囲気そのものが「茅」の特色である。マスターとカウンター嬢一人。人間疎外の多い今日の飲食店の中でマン・ツー・マンそのものがこの特色を生み出しているといえる。店の規模、マスターの人柄の良さが、自然にお客同志をいつの間にか旧友にしてしまうのもこの店の特色である。

経大卒の常連客には服部00、西山16、鮫島18、城25、青井30などの諸氏がいる。



営業時間

昼十一時から十四時まで  
夜十七時から二十一時まで  
夜の営業時間ともなれば、マスター自身が客と一諸になつてグラスを傾ける癖がある。これぞ誠に経大の融和の発露?ではなからうか。  
「茅」のとんかつは東京で一番うまいとマスターがいうんだから間違いない。とんかつ専門店「茅」へ一度、是非、立寄つて、「茅」自慢のとんかつを食べ、マスターとともにグラスを交わしてみませんか。

先日、京都の友人の息子さんが大阪経済大学に入学したとの報せを受け、二昔前に母校で学んだときのこと、先生方や友人たちのことがなつかしく思い出されました。

妻が「是非あなたが学んだ学校に連れて行ってほしい」と申しますので、近日中に訪ねてみたいと思っております。

小久保 寿夫 (31)

同窓会誌「澁江」編集の皆様のご協力により母校の様子がわかり、なつかしく思われ、感謝しております。

名古屋の中心地、栄町に勤務のため郊外からの満員電車には悩まされます。昭和四十年卒業時から現在の勤務先に就職して十七年が過ぎ、その間、五カ店を経験し、現在本店で本部機構の仕事についております。当地へこられた時はぜひ立寄って下さい。

今後とも同窓会の発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈りして日ごろのご無沙汰をお詫びします。(倉辻ゼミ生)

算、と種々の障害があるため、会への出席もできません。

右のような次第ですが、同窓会に関するご連絡はいただきたく存じます。今後ともよろしく。

四十二年三月(三十三回)卒の鈴木正里ゼミの皆さん。同窓の島村精一君が本文のような現況で闘病中です。ぜひ激励してあげて下さい。そして、一日も早い本復をともに願いたいと思います。

(同窓会本部事務局付記)

東村 正義 (33)

卒業してから早くも十五年がたちましたがわたくしは毎日仕事に精を出しています。

学生時代は自由だったのでなにかにつけて青春の思い出があります。同期生も今は立派な社会人として活躍されていると思います。

上田 紘昭 (33)

卒業して十六年目を迎えておりま

久保 富夫 (31)

入学案内に「履習届提出に際し、語学の平均点記入欄には卒業後も担任の教授ご存命中の平均点であって入定されし場合は(例えば)一〇〇点、マイナス七点、すなわち九十三点、異国の地で苦勞している場合は一〇七点)、田舎で百姓一揆もおこさずに農業して、便りが無い人は毎年四点づつ差引くこととする」と印刷すべし。十年経ると赤字になりますので、入学する方は胆に銘じて勉学に励まれたし。全国広しと言えども、こういう掟になりますと、全国の大学で大阪経済大学が始めてになります。ご香料を送ってきた人は一回だけ引きません。

黒正巖先生、奥村日出夫先生、合掌。

島村 精一 (33)

昭和五十四年四月、勤務先にて事

すが、母校に向いたこともなく、同窓生の皆様方ともご無沙汰いたしました。

母校の近況は、ご送付いただき「澁江」を通じて知ることができ感謝の気持ちで懐かしく拝見いたしております。

私は、現在、不動産の仕事をしておりますが、心身の鍛練にと、ささやかながら空手道場を設け日々努力いたしております。

田村 福三郎 (34)

卒業後十余年が過ぎましたが、本学の発展を心よりうれしく思っております。

現在、府立鳳高校の教諭として若者とともに汗を流しつつ頑張っております。教員生活も十年を過ぎ、一節を乗り越えたことを実感として捕え、また、教育のすばらしさ、むずかしさを痛感しております。今後、心を新たに、より以上に頑張っております。期待しております。

同窓生のお店拝見

三宮 やわら鮎

野中 茂 (37)

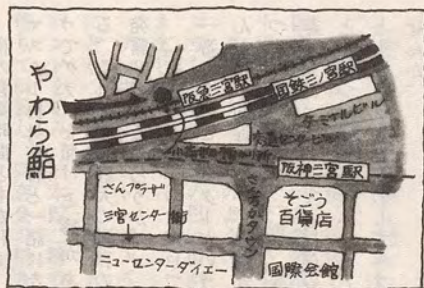
神戸の三宮駅を降り歩いて一分。「やわら鮎」のれんをくぐる。「さっしやと」、威勢のいい声が迎えてくれる。

ネタの新鮮さと職人の腕のよさに惚れての常連さんが多いが、場所柄と高架下という気安さから家族連れも売物も多い。家族的雰囲気も売物の一つである。お値段が手頃であるのも、また、魅力の一つである。「やわら鮎」の名物「蒸しアナゴ」は活けアナゴを自慢のタレで一時間ほど煮込んであり、パクリと口にはおぼるとアナゴの柔かな身と甘さがすうっとけ、とろっと口の中に広がる。他には「茶さん」や「山菜寿司」なども評判がよい。

故による負傷(頭部)のため、記憶喪失にてご要望に答えられません。現在(入院リハビリ)福祉施設にて

十二時から二十二時三十分まで営業しておりますので、皆さん一度、是非、「やわら鮎」のれんをくぐってみて下さい。お待ちしております(ただし、第一、二、三火曜日は休ませていただいております)。

また、姉妹店の阪急三宮駅北の「二鶴すし」も「やわら鮎」同様、可愛がって下さい。



訓練後)授産施設にて社会復帰のため通所訓練中です。右半身麻痺・失認症・失書・失

徳永 覚 (34)

神戸市へ就職以来二十年がたちました。

経大の同窓の仲間も年々増え、今では、約五十人。年に二、三回懇親会を催しています。

私の所属する市長室秘書課には同期の富井昭博君もいます。

神戸市では、昨年のポルトピア博が千六百万人の入場を迎え、成功裡に終り、一九八五年には学生のオリンピック・ユニバシアード神戸大会が開かれます。全国の経大の仲間の皆さんのご来神をお待ちしています。西口ゼミの方、近況お知らせ下さい。

安井 秀明 (36)

一、岡山県庁土木部建築課勤務です。

二、最近、母校の格が低下しているのではないかと残念に思っております。もっとPRにも力を入れるべきです。

三、小生、あまり支部総会等に出

席しませんので詳しくは知りませんが、一人は倉敷市役所、一人は三井生協に勤めています。

坂本 俊行 (37)

私の小松市は、加賀百万石、前田藩の領地にて、古くから伝統工芸の盛んな地域である。その内でも全国的に「九谷焼」は広く知られているが、九谷の歴史およびその価値観については余り知られていない。一般的に、金彩色の作品を九谷焼と思われている人々が多い。九谷焼は南加賀地方の大聖寺藩の九谷の村より一六五一年一七〇〇年頃に発祥し、五彩(朱・緑・紫・黄・紺青)と四彩(緑・紫・黄・紺青)とに分かれ、総じて「古九谷」と呼ばれている。

前者は、唐および古伊万里風で、後者は、主に狩野派によって器全体が絵具により塗りつぶされているところから、時に「青手古九谷」とも呼ばれている。その意味では、九谷焼は、上絵色絵磁器であり、その分野では、世界最高クラスの美術的価値あるものとして谷川徹三先生を称賛している。その後、吉田屋窯、若杉窯、小野窯などが江戸末期から明治初期にかけて再興九谷として発展

し現在に至る。  
金沢に来られましたら兼六園のとなりの石川県美術館で、特に「青手古九谷」の幽女性を鑑賞していただきたいものです。  
大経大OBの方で陶磁器に興味をもたれている方は是非ご一報下さる。

### 吉野正清(38)

交通事故により長期の通塞生活を続けていましたが、最近少し健康を回復し、近くの会社にお世話になっております。先のこととはどうなりませうか、天命を待って、人事を尽くすべきか……。

同窓会名簿を見ますと、各氏が各界において活躍の様子、うれしく思います。  
母校の文化・スポーツ活動のより盛んになることを期待します。  
では、同窓生の皆様、お達者で。

### 小池邦久(38)

私も大学を卒業して早十年。当時、母校も大学紛争の嵐が吹きあ

れ、キャンパスも騒然としていました。が、われわれの仲間には非常に問題意識が高く、政治論から恋愛論まで夜を徹して話し合ったものでした。  
学問の自主独立、そして真理への探究を謳う学歌の心は今でも私の胸の内に生きています。

経大も、またそこに学ぶ学生も初心を忘れず飛躍して行って欲しいと思います。私にもやがて三歳になる息子がいますが、彼にも私の学んだ大経大、経済学部への進学を夢みる昨今です。

### 山本幸一(38)

私は「経大」を四十七年に卒業。そして、約五年後に、税理士登録をし、「人件費や物価はどんどんあがりよるのに、わしらのもうけはとんと増えよらん」という中小企業の社長さん達を相手に六年過ごして現在にいたっています。

およそ十五年を振りかえってみて、最も良き出来事と思えるのは、税理士の登録と結婚でした。しかし、それとは別に、六十年代後半から七十年代前半にかけての、あの大学生生活の楽しさが思い出され、そし

て、それが、ほんの数年前のことにように思われます。

とにかく、そのような思い出を作ってくれた「経大」よ。ありがとう。私の娘もお世話になるかも……。

### 今沢義夫(38)

一、自営(飲食業)の為、日曜、祭日も関係なく営業しておりますので、同窓会には卒業後一度も出席したことがありません。誠に申しわけなく思っております。

二、新聞にて経大の活躍を見ており、母校のますますの活躍を期待しております。

三、卒業して十年。連絡は余りとっておりません。ただ、同窓会名簿に知人が不明者の欄にのっていると残念でなりません。

### 小山(高原)純子(38)

毎年、「瀬江」をお送り下さいましてありがとうございます。  
数年前に、一度、載せていただきましたが、今回も依頼があり、うれしいような、恥づかしいような気分です。

関東にきて八年になりますが、大阪に住んでいたのが六年を超えていたし、郷里も関西のためか、いまだに関東の味にはなじみず、大阪時代が懐かしいです。

オバQの仲間、山路さん、本田さん、松岡さん、私とそれぞれ二児の母になり、今は年に一度の年賀挨拶程度ですが、お互いに子育ても一段落しましたので、いつかお会いできる日を楽しみにしております。

最後になりましたが、母校の発展と同窓生の皆様のご活躍をお祈りいたします。

### 青木(村上)麗子(39)

卒業してはや九年。いつの間にか三十路を迎えてしまいました。

現在、二歳と九カ月になる一人息子にすべての自由を奪われて、学生時代の友人とも、もう何年も会って

いません。近況を知るのは年賀状だけとなって、さびしいかぎりです。  
最近の不況で、繊維、眼鏡の工場の倒産が多く、明日は我が身と思わななくてもありません。

### 津田浩志(39)

いつも何かとお世話いただきご苦労様でございます。

昨年十月、期するところがあり転職しました。相変わらず忙しい日々を過ごしております。しばらく、仕事中心で過ごしてきた結果、山もごぶさたしていましたが、先日、快晴の御在所岳で快い汗を流しました。卒業後十年目、同窓の人々もそれぞれ一、二児の父親に大成長?

大平君(寺嶋)のお子さんは今年小学校に、高橋君のお子さんは何年生になられたのかな、横川君の純ちゃんも元気かな、折をみて一度、全員集合」といきたいものです。

### 渡辺捷平(39)

世界で、今、公務員批判が行なわ

れている時ですが、私の職場は三Kの一つコマとのかかわりのある職場である為、非常に厳しい状況であります。日本の食糧の自給率向上の為に頑張っております。コマは日本人の食糧の基本主食です。このコマは百%自給できる体制ですが、それもやはり、国政として三十有余年とられた成果だと思えます。  
同窓生の皆様。コマの思い出をもう一度考えてみてはいかがでしょう。

### 若林邦夫(39)

昭和四十八年に卒業してから鶴岡で有名な岐阜市に住んではや九年。その間、二回の転勤を経験し、現在、コンピュータのプログラムを担当し日夜頑張っております。

今はコンピュータの時代といわれるように、種々様々のメーカーがあります。いろいろな会社にコンピュータが採用される時代になりました。小生、今、その一端を担っております。しかし、人間の使い方は第では、良くも悪くもなるのもコンピュータです。

岐阜といえは、鶺鴒で有名ですが、小生、すぐ近くにいる割には、

## 同窓生のお店拝見

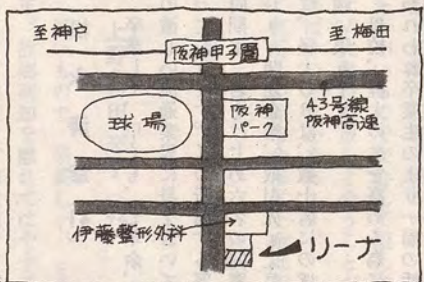
### 甲子園 リーナ

#### 藤原(中沢)時子(14)

ゴージャスなインテリア。ムーディーなライティング。カウンターでは誰が歌うのか、このお店を象徴するかのような八代亜紀の「船歌」がカラオケののって流れている。大阪の北の新天地でグラスを傾けているような雰囲気のあるお店。何か家族的な温かさ、和やかさを感じるお店。それが「リーナ」である。

甲子園球場からぶらぶら歩いて五分。甲子園に来られたときは是非一度「リーナ」の雰囲気にはたつて下さい。美人のカウンター嬢ともお待ちしております。

喫茶タイム  
八時から十九時まで



のご健闘をお祈り致します。

#### サバータイム

十九時から二十四時まで  
なお、経大卒業生に限り二階の和室(プライベートルーム、三十人は集会できま)をご利用いただくようにしております。

「百聞一見に如かず」。甲子園の「リーナ」のドアを一度押してみして下さい。

阿部 孝康 (40)

仕事を終わって帰ってみると郵便箱に大阪経済大学同窓会からの懐かしい葉書があり驚きました。同窓会誌「澱江」に昨五十六年度も掲載させていただきました。皆さんそれぞれ立派な文章なので、読み返してみても、様々の人生を歩んでおられることを感じました。私は、卒業後、農業を継がず学校の事務の仕事に就いています。母から「孝康は病気がかりして不幸な青春を送ったのに、不思議なこと高校・大学と順調に進学でき、今は小学校の事務の仕事が出来るんじゃないけん、ありがたいと思っ

石川 公久 (40)

この四月にわれわれのいる(株)山善・名古屋支店に新しい後輩が入社してきた。奈鬼羅君というスマートな若者だ。これで私の知っている同志の人は、西島先輩、同期の米田君の三人となった。

わが社、(株)山善もオイルショックからきた危機を乗り越え、年々、もち直してきて、日々の仕事量も増え、それにつれて帰宅時間も遅くなるこの頃です。

同窓会開催の案内状は毎回いただい

横山 次郎 (40)

何もかもが自由であった時が学生時代であったとするならば、現在の私は三十代に入り、何もかも責任が伴ってきている。今年も、新入社員が入ってきた。

八年前、私も、入社早々、今の私と同じ歳の人に仕事を教えてもらった記憶がある。あの頃と同じ時代背景ではないが、春になると江口の里の洗心荘の二階から見えた鯉のぼりを思い出す。

山口 寛一 (40)

卒業して早や九年がたちました。暑くて暑くて講義に身が入らなかつたこと、寒い冬、長い道程を震えながら上新庄の駅まで歩いたこと、トンバラそばをよく食べたことなどなつかしく思い出されます。

母校の名を新聞などで見つけた時、「澱江」が送られてきた時などうれしくてたまりません。「澱江」に望むところは、なつかしい先生方のお写真をもっとのせてもらいたいことです。また、もっと新聞にも大経大の名が大きくのるよう、スポーツ面でも、もっと活躍してほしいと思います。

私の在学中は、学生運動華やかなりし頃で、壁に「大阪警在学」などと書かれていたものです。二度とそのようなことがないよう心から祈っております。

松 永 清 彦 (41)

卒業して、早くも、七年余、競争の激しい流通業界に身を置いて頑張っております。私の所属する部にも同期生三名をはじめ六名の同窓生がおり、関連企業、取引先も含めれば、経大OBは、数十名にのぼり心強い限りです。

母校、経大の名を高める為にも、われわれ卒業生のより一層の活躍とともに、学校当局の努力をお願いしたいものです。

浜田(幸策)ゼミの諸君いかがお過ごしですか。近いうちに、一堂に会して、楽しかった学生生活を思い出し語り合おうではないですか。最後に、母校のなほ一層の発展をお祈り致します。

元 吉 勇 (41)

昭和四十六年卒業と同時に九州耐火煉瓦(株)(本社、岡山県備前市)に入社、現在、愛知県東海市にある名古屋営業所に勤務しております。

九州耐火煉瓦は鉄鋼業界、ガス業界、その他に耐火煉瓦等を製造販売している会社です。

在学中は珠算研究部に所属しておりました。

一 井 博 (41)

経大を卒業して七年が過ぎました。諸先輩、後輩のみなさまもお元気で過ごされていることと思います。

私は、卒業後、九州へ帰り、スーパー業界に入りましたが、サラリーマン生活に飽きたらずに、将来、オーナーになるべく修行の道を歩いています。将来は、福岡に帰り、永住、自営の道を歩くべくがんばっています。後輩諸君も経大の名に恥ないように努力していただきたい。

妻 鹿 安 善 (41)

一、今年やっと五月三日に三十歳にして結婚できました。銀行間の競争は激化していて、ボーナス預金獲得で走り回っています。

二、同窓会名簿があったらいいと思います。

母校の名は新聞でときどきみますが、野球などが負けていると残念に思います。

三、同窓生で同じ職場に入社した人は五人程いますが、皆元気で働いています。

横 山 学 (41)

卒業後、何回か挫折感を味わいましたが、わがままで世間知らずの私

仕事を通じて思う事。仕事柄多種多様な人達と会い、苦勞もありますが、対人関係は「誠意」が必要だと痛感しています。其の他所感。在学時は殆んど勉強らしき事はし

図書館より卒業生の皆様へ

卒業後も、図書館を利用することができます。

図書の出貸

学部卒 三冊 一ヶ月間

複写サービス

一枚 二十円

院 卒 十冊 一ヶ月間

尚、電話による資料についてのお問い合わせにもお答えしますので、ご利用ください。

今後とも、経大図書館の充実に協力をお願いいたします。

卒業後、何回か挫折感を味わいましたが、わがままで世間知らずの私

卒業後、何回か挫折感を味わいましたが、わがままで世間知らずの私

小 松 正 樹 (42)

昨春秋に転職し、この春には奈良県の王子にある研修所でひと月離れ

英文タイプ部の完全なOB名簿がいまだに出来ないまま日が過ぎてい

上野(村田)充子 (42)

早いもので、卒業して、もう六年。故郷高知を離れてはや十年がたちます。現在は、和歌山で、義父の海事代理士事務所を手伝いながら子

育てに追われている毎日です。

先日、所用で、久しぶりに大阪に行き、電車の中で学生達を見て自分達もあだだったのか、となつかしくなりました。

また、倉辻先生にも随分長らくお目にかかっておらず、倉春会にもご無沙汰続きなので残念にもお目もありません。

一歳の息子を、大きくなったら、経大に入れようなどと主人（柴山ゼミ、四十二回卒）と話したりして、時々、学生時代を懐かしみつつ、情性で生きてはいけなさと自分自身に言いさかせている今日このごろです。

### 佐々木 幹 夫 (42)

金銭を扱う仕事ですので心身共に大変つかれますが、自分の為、妻の為、ひいては大経大の為に頑張りたいと思っています。私を含めて大経大出身者六名。全員各支店で頑張っているようです。今後も次々と後輩が入庫してくれるよう期待しています。

新聞を見るたびに、野球部の結果が気になっています。関西六大学で

常に、Aクラス入りするよう祈っています。「質・量」共に着実に発展

されて、日本中に「大経大ここにあり」を示してほしいのです。

五月十六日(日)に結婚しました。お近くへお越しの節はお立ち寄り下さいませ。

### 向 井 良 輔 (42)

私は、現在、鳴滝第一小学校で先生をしています。教師になって六年目。今、子供を相手に悪戦苦闘中といったところ。今年も男子十六名女子九名の計二十五名の子供がいます。他の学校にくらべると人数が少ないので、面倒がよくみれ、その点は助かります。卒論指導をしていた山本晴義先生もお元気ですか。よろしくお伝え下さい。

### 山 神 文 昭 (42)

皆様にはいかがお過ごしでしょうか。卒業して、早や、六年。現在、愛児もすくすく育ち、家庭に、仕事

に、充実した毎日を過ごしております。

学生時代の自由奔放な生き方を全く失うことなく、頑張っていることいつも考えております。職場は、緑に囲まれた素晴らしい環境で、中学生のエネルギーに圧倒されながらも、教育の一翼を担うものとして、満足できる仕事をしており、最後に、先輩、後輩諸氏のご健闘を祈願しております。

### 吉 田 武 司 (43)

先日、わが職場に現役の経大生がアルバイトに来て、月日の経つのが早いと思つづく思いました。

### 森 脇 範 之 (43)

卒業して早や五年がくれ、六年目に入りました。私は、池田銀行に入行して三田支店に配属になり、その

まま三田支店にて勤務しております。

市内の同級生、また、大学のクラブの同級生も次々と結婚しましたが、私は銀行という所に勤務しなかなかなか預金ができず、いまだ独身貴族の身であります。

銀行では、現在、組合の下部組織、青婦人部々長として本業以上に組合活動の方も忙がしく、なかなか大学のOB総会等に出席できてませんが、銀行でも経大のOBが年一度経友会を開いており、それに出席して大学時代の話をし、大いになつかしく思っています。

### 松 浦 敏 貴 (44)

経営経済研究部O・Bの皆さん。お元気でしょうか。最近、O・B会にも出席できずじまいで申し訳ありません。現在、但陽信用金庫の寮住いですが、今年も二名の後輩が入寮し、二十名の寮生中、経大出身者は五名になりました。残念なことながら、学歌や追遥歌を歌えない者が多く、さっそくレコードによって歌の練習をしました。金庫のクリスマスパーティー等で、関学や同志社の連中が校歌を誇らしげに歌うのを見て

苦々しく思っていた小生は、今年こそは、「経大健児ここにあり」と、

学歌や追遥歌を熱唱したいと思っています。有名私大と言われる大学は、その校歌や応援歌によっても世間にその存在感を植えていきます。経大の発展とともに、これらの歌も広まってゆき、経大同窓生の心の糧として、苦しい時、うれしい時に歌われ続けることを願います。(まだ歌えない人はぜひ「惜春の賦」のレコードを買って歌えるようになって下さい。)

### 堀 内 秀 樹 (44)

経大を卒業してから、早いもので、四年の月日がたちました。卒業と同時に地元(かつらぎ町)の役場に入り五年目になります。税務をずっと担当しており、現在、固定資産の係を受け持っています。行政改革がマスコミを賑わせている中、財産を中心とした地方自治行政は新しい局面を迎えていると言えます。これからの世代を担う一人として、また、行政マンとして恥かしくないようにがんばりたいと思っております。また、地元の青年でグループを作

### 三 浦 義 弘 (44)

第四十四回卒業の平ゼミ、経済学部十二組の皆さんお元気ですか。

私は、社会人となり、五十五年二月に結婚し、昨年四月には子供も生まれ、本年八月には二人目が誕生の予定です。職場に、家庭にと忙しい毎日をご過ごしていますが、是非一度大阪で皆さんと顔を会わせる機会を持ちたいと考えています。また、皆さんも近況をご一報下されれば幸いです。

最後になりましたが、皆さんのご多幸、そして、ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。

住所 岡山県邑久郡邑久町庄田一三三二

## 国際化時代の中小企業の理論と情報

# 中小企業季報

経済の国際化時代にふさわしい今後の中小企業のあり方を示す論文  
解説および書評  
中小企業に関する文献目録  
年間購読料 ¥2,000 (〒とも)  
バック・ナンバーあり (〒別)  
1972年~1974年 1冊200円  
1975年~1982年 1冊300円  
お申込み先 中小企業経営研究所

### 山 口 安 彦 (44)

私は、現在、中野リサイクル運動市民の会という資源を再利用で見直そうという団体とタイアップして、リサイクルショップをつくらうと思っています。六月オープンの予定です。関西には関西リサイクル運動市民の会があり、リサイクルという運動は神戸・大阪は全国でもはえぬきの地域ですが、名古屋を中心とした中部地方ではまだまだという状況です。まだまだ使えるものをゴミにしませんか？

### 山 崎 雅 史 (45)

私は、現在、ファッション家庭雑貨商品(テレホンカバ、ノブカバ、トイレマット、バスマット等)のメーカーに勤務しております。本社は私の実家のある和歌山県海南市にあるのですが、本年四月より転勤で東京に住むようになり、妻と子供(一歳)と三人で、マンション住いをしております。

編集後記

今回藤田理事長のメッセージは頂戴できなかった。目下入院ご加療中、皆様方に呉々もよろしくのご伝言。ご回復を切に祈ります。

昭和七年生まれの人は、今年で満五十歳になります。経大の卒業生でいえば二十回(二十九年卒)から二十一回(三十年卒)がこれに相当します。

母校経大も、今年創立五十周年を迎え、大きな年輪になるとともにこれを契機として、なお一層の発展を目指しています。

新制大卒のわれわれがニューリーダーとしての自覚とほこりをもつて、母校・同窓会に対する無関心派に呼びかけたり、また、在学生、ご父兄に対しても幅広く訴え、協力しあつてともに発展してゆくことを、心から訴えるものであります。

本号では、新制大同窓生による座談会を企画いたしました。明日の母校・同窓会に対して、熱気あふれる意見・提案がとび交い、今後の施策に幾ばくかの寄与ともなれば、幸甚のいたりです。

本誌の制作に当たり、大学の教職員や多くの同窓生のみならず、ご協力を頂きました。衷心よりお礼申し上げます。

創立五十周年を次の足がかりとして、母校の発展を切に祈ります。  
編集部長 川野 群平

毎日セールス活動を行なっておりますが、経大在学中に所属しておりました落語研究会で身につけたユーモアを武器に、得意先を笑わせながら、楽しく仕事をしております。

しかし、残念なのは東京にいと、気が狂いそうに大好きな阪神タイガースの試合を見る機会が少なくなったということです。東京からタイガースの優勝を折っておりますので、大阪にお住まいの皆様、タイガースの応援をよろしく。

山脇和彦(45)

母校を巣立って三年と幾月。

自宅から二時間かかって上新庄へ通った四年間。D館で春の日差しを浴びて昼寝したひととき。クラブハウス前の広場でソフトボールに汗を流した日々。大樟祭でオールナイトの映画を見た夜。二二〇円のCOP定食で腹を満たした毎日。コンパで肩を組んで逍遙歌を歌い続けた日。学生時代の思い出は尽きません。みんなすべてが、今となっては、青春そのものでした。

現在は商品取引所の職員として頑張っています。経大では、ユースホステルクラブに所属し、精神的、肉体的に自分自身を磨き、社会人になってからも、その名残りで全国各地を旅し続けています。

また、毎年、お正月に、同期生(十二人)一同、一泊二日の旅行に出かけ、旧友をあたためることにしています。

後輩諸君、勉学に、クラブに励んで下さい。そして、関六で、もう一度、幻の「優勝」を実現して下さい。経大OBの社会でのご活躍と母

清水善正(46)

卒業して九二年が過ぎ、地味な農業関係の仕事とはいえ、ようやく軌道に乗り出したところです。

そこで、大学生活のことを懐しく思い出す余裕もできてきました。いつも後悔するのは、卒業アルバムを持っていないということです。恥になりませんが、大学、一、二年の時、アルバイトと、麻雀、パチンコにうつつをぬかし、単位不足のため四年を二回やりました。留年中は、もちろん、友人もできず、できれば、ゼミの仲間と写っているはずの卒業写真だけでも手に入れたいのですが、どなたかお願いします。尚五十二年四月と五十四年三月の岩井ゼミ生です。よろしく。

学歌

作詞 秋本吉郎  
作曲 柴田南雄

- 1. 大淀の 水は春ゆく ゆたかな春だ 芽立つ葦原 緑が沁みる この若さ 希望は明るい 蒼穹かけて 永遠の青春 みなぎる学園 大阪 大阪経済大学
- 2. 大樟の 蔭は裕々 夏風そよぐ 学徒師弟が 幹負いもちて 諸汗に 確かと植えた 融和の象徴 繁れ自由の 花さく学園 大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正 巖  
作曲 水野康孝

- 1. 商都の東北灘江に 臨みて高く聳り立つ 我等が昭和学園は 産業日本を双肩に 担うて進む若人の 力の糧の広野原
- 3. 黒煙天をひた蔽ひ 船車どよもす八衝を 静かに臨む学園は 科学日本の究明に 生命を注ぐ若人の 心の花の咲く園生

逍遙歌

作詞 中村行男  
作曲 松川圭一

- 1. 此処 城北に迎えたる 紺碧淀の春の夢 惜春の賦のただよえば 薫風静かに流れ来て 逝きし苦節の十余年 歴史は吾等に教うなり
- 2. 水や濁れる人の世に 真理求めて遊ぶ子の 友愛久遠に変わるまじ 汝が悲しみに我は泣き 吾が喜びに君や舞う 惜みて励め我が青春を

澱江 1982

発行日 昭和57年10月20日 編集 澱江編集委員会  
発行所 大阪経済大学同窓会 〒533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話 (06)328-2431  
印刷 凸版印刷株式会社 〒553 大阪市福島区海老江3-22-61 電話 (06)454-3257

經  
市